

東京都高齢者福祉施設協議会 利用者支援検討委員会

職員のやり甲斐アンケート 報告書

～介護職員302名のメッセージ～

職員のやり甲斐アンケート結果報告にあたって

現在、高齢者施設では人材の確保・育成・定着が大きな課題となっています。

平成 25 年度の介護労働実態調査結果では、介護の仕事を選んだ理由として 54%の方が「働き甲斐のある仕事だから」と回答していました。では具体的にどんなことにやり甲斐を感じているのでしょうか？この部分をひも解くことにより、介護職という存在を見つめなおすとともにこれからの活動に対する多くのヒントを得られるのではないかと考えました。

今回の調査では現場の最前線で働く介護職員の皆様がどのような思いや考え、やり甲斐を感じて日々の仕事に取り組んでいるのかについて「生の声」をお聞きすることを目的として、東京都高齢者福祉施設協議会の特養・養護・軽費の会員施設 525 施設に配布し、皆様のご協力のおかげで 302 名の介護職員からご回答をいただきました。

アンケート結果を見ると、多くの施設で厳しい状況におかれていることは事実ですが、それでも多くの介護職員が厳しさの中でもやり甲斐を持って働いていることがアンケートから伝わってきました。また、これからの介護の仕事に関してもたくさんの思いやご意見をいただくことができました。

同じ介護職 302 名の声を集め、思いを見える形にまとめたことにより、共通した課題や魅力というものが見えてきたと感じています。

今後これを精査していき、介護の仕事の魅力や課題を発信していく取り組みを他の委員会とも協力して行っていきたいと考えています。

皆様の施設におかれましても、今回のアンケートを是非参考にさせていただき、労働環境の改善や人材確保・育成・定着についての今後の取り組みを進める一助としていただければ幸いです。

お忙しい中アンケートにご協力いただきました施設長ならびに現場の介護職員の皆様に心よりお礼申し上げます。

平成 27 年 2 月 10 日 社会福祉法人東京都社会福祉協議会
東京都高齢者福祉施設協議会 利用者支援検討委員会委員長 平林ちよ子

【目次】

やり甲斐アンケート結果報告にあたって

アンケート調査概要…………… 1

調査集計結果…………… 2

自由記述（介護職員からのメッセージ）

Q1-2 事業所の理念に共感できるところ…………… 11

Q2-2 この仕事をしていて良かったと思うこと…………… 19

Q3 この仕事をして自身が、変化したと思うこと…………… 29

Q4 普段の仕事で大切にしていること…………… 38

Q5 職場で人間関係を円滑にするために工夫…………… 48

Q6 将来の目標…………… 57

Q7 高齢者福祉に興味を持っている若い世代へのひと言…………… 64

Q8 国・東京都・東社協への意見・要望…………… 74

Q9 介護の仕事が今後こうなったらいい等の意見…………… 85

「職員のやり甲斐アンケート」アンケート調査票…………… 99

利用者支援検討委員会委員名簿…………… 102

【調査概要】

1 目的

介護職として現場の最前線で働いている人を対象に、介護の仕事にどんなやり甲斐を感じていて、どんなことを考え、頑張っているのかを聞き、介護職全体のイメージ向上につなげる広報活動等に活かしていく事を目的とし、本調査を実施した。

2 実施期間

平成26年10月10日～平成26年10月31日

3 対象及び実施方法

介護職員で経験は問わない。施設の判断で1名～3名

FAXで東京都社会福祉協議会東京都高齢者福祉施設協議会の会員施設に送付し、FAXで回答を返信してもらった。

4 調査書配布先

東京都社会福祉協議会東京都高齢者福祉施設協議会の全会員施設 525施設

<内訳>

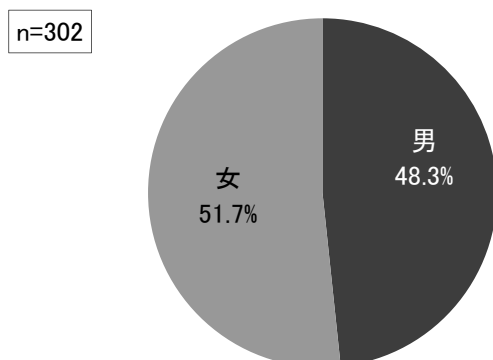
- ・特別養護老人ホーム 447施設
- ・養護老人ホーム 34施設
- ・軽費老人ホーム（ケアハウス） 44施設

5 回収状況

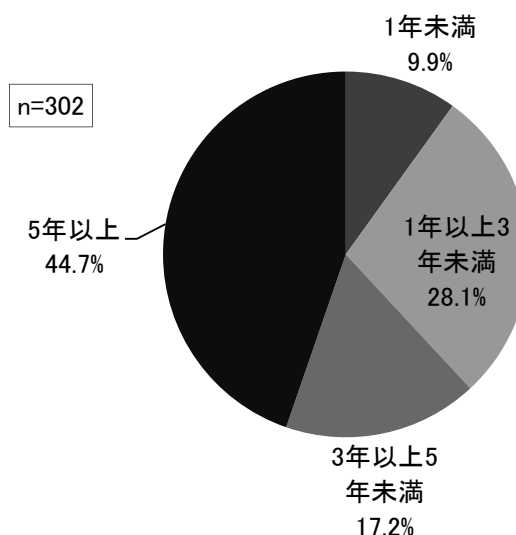
302名

【回答者概要】

・男女比

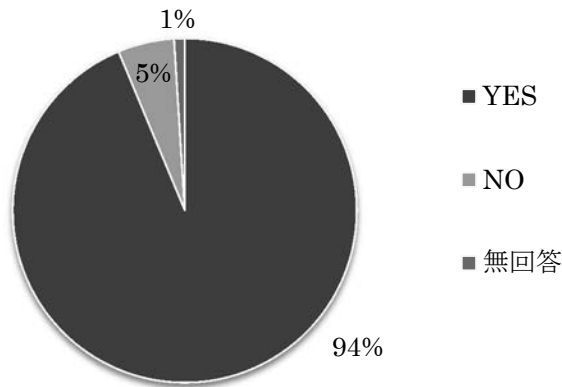


・勤務経験年数

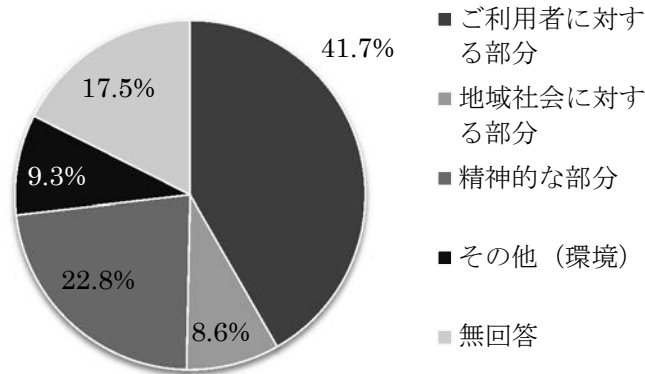


【調査集計結果】

Q1-1 事業所の理念を理解していますか。



Q1-2 共感できるところは、どんなところですか？



【キーワード】

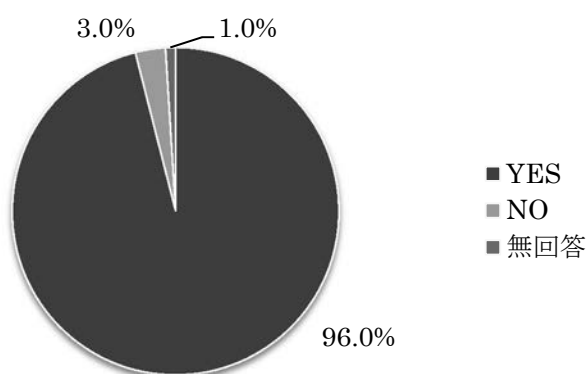
- ・ 地域貢献
- ・ 利用者主体
- ・ 人権尊重
- ・ その人らしく生活を送っていただけるよう支援していく
- ・ 利用者の個別性の尊重
- ・ 働く者として個人及びチームとしてのケアの追求

【考察】

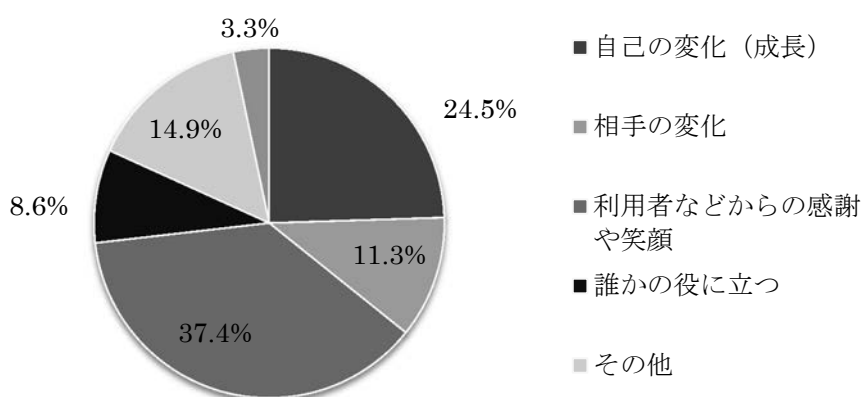
94%の人が事業所の理念を理解している、という結果に。理念に共感できる場所としては、利用者に対する部分を挙げる人が多かったほか、地域社会への貢献や、「誠実」「真心」といった人としての在り方などの理念に共感している人もいた。

自由記述全文は11ページ

Q2-1 この仕事をしていてよかったと思うことがありますか。



Q2-2 どんなところですか？



【キーワード】

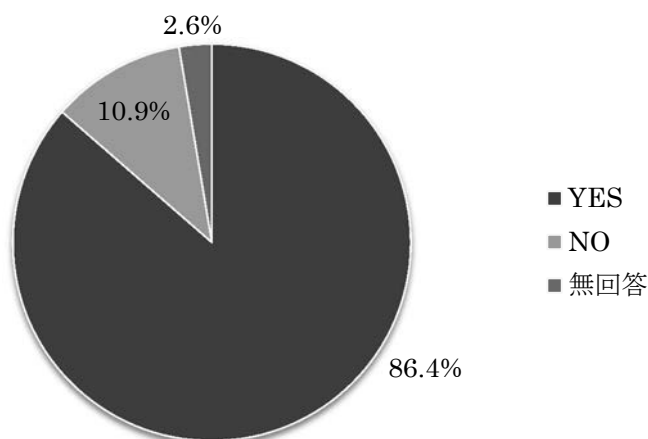
- ・ 誰かの役に立てる
- ・ 利用者からの感謝と笑顔がもらえる
- ・ 様々な人との関わる体験が学びになる
- ・ やり甲斐を感じられる
- ・ 人の最期のケアに携わり、生きる意味を考えることができる
- ・ 人とかかわることで得られる喜び（体験）が素晴らしい
- ・ 毎日が充実しているところ
- ・ 人に優しくなれるところ

【考察】

96%の人が「この仕事をして良かった」と思うことがあると回答している。自由記述から垣間見えるのは、人は人に学び、人は人に癒されるのだということ。人とのかかわりが多い高齢者福祉の仕事は、多くの励みと喜びがあるのだということが伝わってくる。

自由記述全文は19ページ

Q3 この仕事をして自身が、変化したと思うことはありますか。



【キーワード】

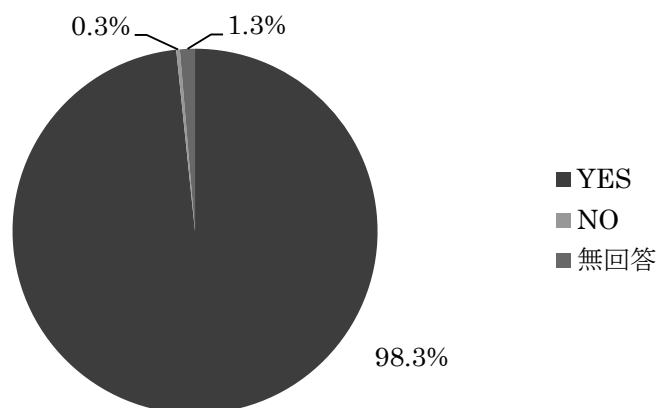
- ・人への感謝の気持ち、思いやりの気持ちを強く持てた
- ・相手の立場に立って考えるようになった
- ・心が穏やかになり、人に対して優しくなれるようになった
- ・礼儀正しくなった
- ・両親を大切にしようと思うことが増えた
- ・我慢強くなった
- ・根気強くなった
- ・人間としての幅が広がった
- ・責任感が強くなった

【考察】

86.4%の人が、高齢者福祉の仕事をはじめから「自分自身が変化した」と感じている。人と真正面から向き合い、生死の係わりや家族を理解することなどを通じて、人として成長できると感じている。人生経験豊かな高齢者をチームで支える高齢者福祉の仕事は、人間的成長の機会につながっているようだ。

自由記述全文は29ページ

Q4 普段の仕事で大切にしていることはありますか。



【キーワード】

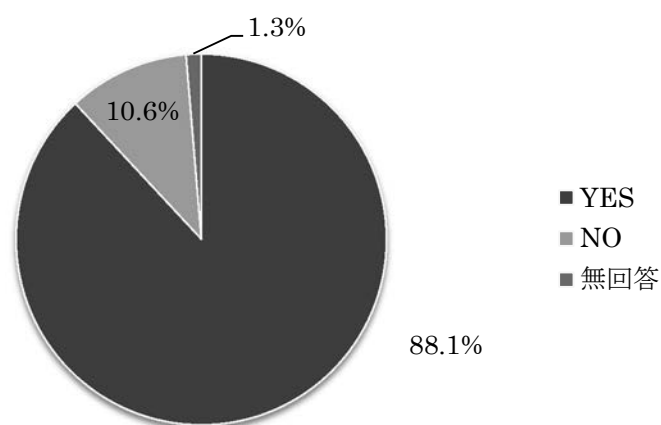
- ・利用者に笑顔で丁寧に接する
- ・安心・安全な生活環境を創る
- ・目配り・気配り・心配り
- ・報告・連絡・相談（ホウレンソウ）
- ・明るく、元気にあいさつをする
- ・コミュニケーションとチームワーク
- ・利用者に対する傾聴と受容
- ・尊敬の念
- ・礼儀正しくなった
- ・一期一会と思い、その時を大切にする
- ・どんな時でも、利用者様の前では明るく元気に笑顔でいる
- ・自分自身も楽しみ入居者も楽しいと思ってもらえるよう考えている

【考察】

実に98.3%とほとんどの人が、普段の仕事で大切にしていることがある、と回答している。コミュニケーションや笑顔など、どんな仕事にも共通していえることのほか、「傾聴と受容」「尊敬の念」など高齢者福祉ならではのキーワードもあがっている。

自由記述全文は38ページ

Q5 職場で人間関係を円滑にするために工夫していることがありますか。



【キーワード】

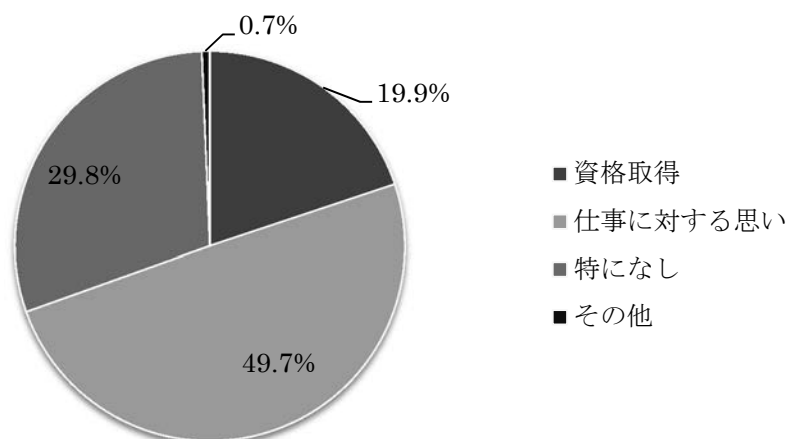
- ・スタッフへの配慮
- ・コミュニケーションを大切にして、多くの人と話す
- ・こまめな声かけ
- ・悪口は言わない。聞かない
- ・笑顔で元気よく
- ・感謝の気持ち
- ・明るい挨拶を心がける
- ・職員間での報・連・相

【考察】

Q5とも重なるところがあるが、コミュニケーションや笑顔などを挙げる人が多かった。「NO」と答えた人のなかには、笑顔とあいさつは当然のこととしてやっている、と記述している人もいた。

自由記述全文は48ページ

Q6 将来の目標がありましたら教えてください。



【キーワード】

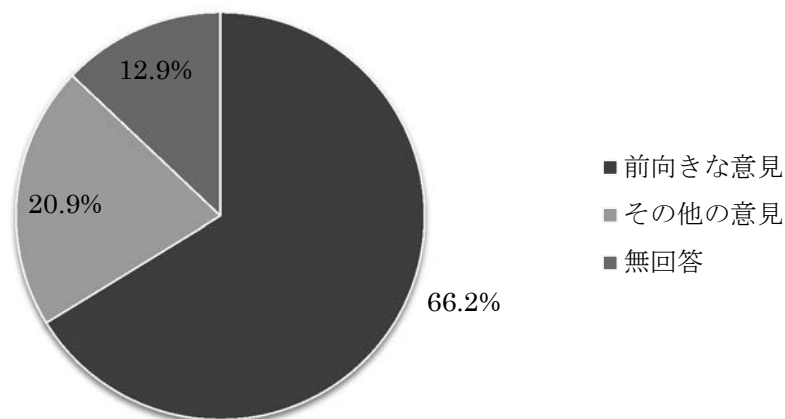
- ・資格を取る
- ・介護福祉士
- ・社会福祉士
- ・介護支援専門員
- ・施設長になる
- ・日本一の施設
- ・故郷に自分の入りたい施設を造る
- ・体が許す限り介護職で頑張る
- ・住んでる地域の福祉に貢献
- ・介護職で年収1000万円

【考察】

介護福祉士や社会福祉士、ケアマネジャーなどの資格を取りたい、という回答が多かった。定年まで介護職として働きたい、など現場志向の目標を掲げる人も多い。また、将来は施設長など経営に携わりたいという回答もあった。なかには、理想とする施設を自分でつくりたい、など独立・起業を志している人も見られた。一方、3割近くの人が「特になし」と回答しており、「目標が持てない」などマイナスの回答も少数ではあるが存在した。

自由記述全文は57ページ

Q7 高齢者福祉に興味を持っている若い世代への一言をお願いします。



【キーワード】

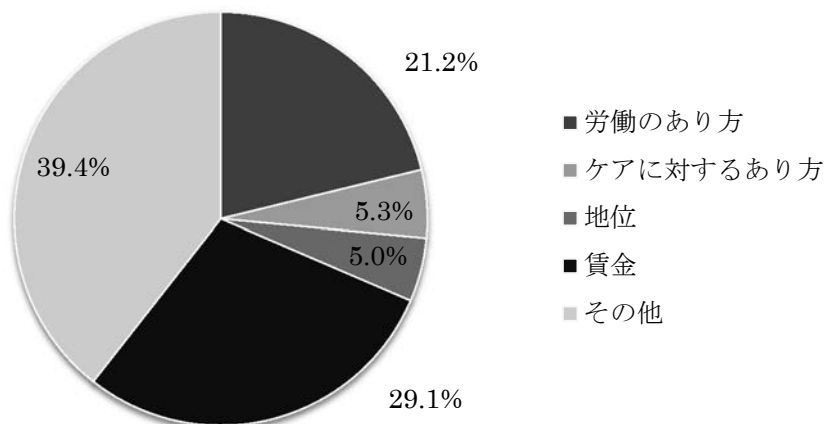
- ・大変だけど、やり甲斐のある仕事です
- ・人生の大先輩から多くのことが学べる魅力ある仕事
- ・いくつもの可能性と夢がある
- ・介護の現実を見て働こう
- ・大変でも1つずつチャレンジしていこう
- ・若い世代の皆さんが、「働きたい！」と思う世界になるよう、頑張ります
- ・3Kと言われているが、それ以上に学ぶことや、経験、得るもの・事が多いです
- ・まずは、飛び込んでみて感じて下さい。楽しいですよ

【考察】

7割近い人が、若い世代へ前向きなメッセージを送ってくれた。大変なことも多いものの、その分やりがいもあると話す人が多い。一方、理想と現実のギャップにすぐに辞めてしまう人も少なくないようで、命を預かる責任ある仕事ゆえ、覚悟をもってこの業界に入ってほしいという声もあった。

自由記述全文は64ページ

Q8 国・東京都・東社協への意見・要望をお書きください。



【キーワード】

- ・働きやすい環境づくりを
- ・介護職の処遇を改善して
- ・若い世代へのイメージアップ
- ・社会的地位の向上

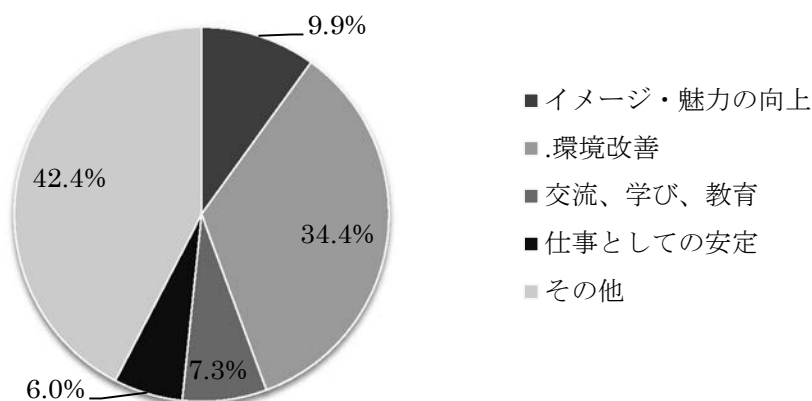
【考察】

利用者が重度化する一方で人材確保が困難になり、人手不足を感じている声が多かった。余裕のある職場とするためにも、手厚い人員配置を必要としている。その前提として、介護職員の地位向上、賃金アップを求める声が多数集まった。

どうしてこの介護業界で働く人がいないのか。介護人材難の背景として、次世代にとって、「低い給料」「職業としての地位が低い」などイメージが悪いことが考えられる。たとえば、介護の必要性を小中高生に教育することはどうか。また、弱すぎる国家資格を改善し、職業的地位の向上を図ることも必要だろう。そして、給与改善により、具体的収入金額提示により人生設計ができるようにすることも大切だ。待遇改善を図ることで、十分な人員を確保し、労働環境の改善にもつなげていく。それにより、地域に十分な介護サービスを提供することで、現役世代の介護退職を防ぎ、社会的損失をなくして行くことが求められている。

自由記述全文は74ページ

Q9 介護の仕事が今後こうなったらいい等の意見がありましたらお書きください。



【キーワード】

- ・大変さばかり注目されているが、介護の素晴らしさを伝えたい
- ・一人ひとりのスキルアップ
- ・介護職の地位向上
- ・人員増
- ・給料アップ
- ・ゆとりある職場でゆとりある介護をしたい
- ・移乗介助のためにロボットがあれば
- ・家族参加型。ボランティアでも良いので家族入居者
- ・小学生のなりたい仕事ランキングにランクイン
- ・家族、入居者、職員がチームとして成り立つ

【考察】

Q8の国・東京都・東社協に求めていることの先にあるものとして、未来の介護の仕事のあるべき姿について、たくさんの熱い思いが寄せられている。

(ぜひ、自由記述の全文も目を通していただきたい。)

介護の社会化を目的にして実施された介護保険制度であるが、15年がたち深刻な財源不足、人材不足に直面している。やりたい介護ができないという介護職たちの呻吟が、聞こえる。職員満足は、利用者満足に直結する。その確信は、介護職の誇りでもある。

キーワードはゆとりである。人的ゆとりさえあれば、利用者も自由にのびのび生活でき、笑顔あふれる現場になる。

介護のあり方も、家族参加型や「地域包括ケアシステム」の中での施設の役割を発信する必要を訴えている。

制度の限界に対して、家族と利用者そして職員がチームとなって取り組むことや、介護ロボットあるいは福祉機器を活用し、職員にも利用者にも負担が少なくなることを望む声は、これからの介護を示唆しているのではないだろうか。

そして圧倒的な願いは、介護職の地位向上である。そのために現場からの発信が重要であり、今回の「やり甲斐アンケート」を多くの場面で活用頂くことを期待している。

自由記述全文は85ページ

【自由記述】 ※原文のまま掲載しています

Q1-2 事業所の理念に共感できるところは、どんなところですか？

【ご利用者に対する部分】

- ・お一人おひとりに対しての、細やかな支援を追求しているところです
- ・ユニットケアで、ある程度入居者様の要望や希望を聞いてあげられる
- ・おいたるものに樂園たるべし
- ・お一人お一人の当たり前の生活、その方らしい生活を支援するにあたって、「7ゼロ」という具体的な方法を示して実施しているところです
- ・「すべてはご利用者、ご家族、地域のために。職員の成長のために」 ご利用者はもちろんですが、ご利用者に関わる人全てのために、行動する、存在しているという点
- ・利用者が生活しやすいように介護すること
- ・利用者主体
- ・「生きがい支援」…様々な活動を通して、利用者様が楽しく、充実したひとときを送って下さるよう努力しているから
- ・入居者の方をお客様としサービスの提供をしている
- ・喜ばれるサービスの提供を行う
- ・利用者主体 人権尊重
- ・利用者を中心とした施設運営
- ・利用者の立場によりそおうとしているところ
- ・「利用者様のかけがえのない人生の“今”を最大限に充実させることを支える…」という言葉に共感します
- ・入居者様が安心して生活してもらう事で私達地域の方々も安心して笑顔ですごせると感じるから
- ・安全、安心のサービス
- ・利用者様の安心安楽のケアに対して、共感出来る所
- ・ご利用者様 1人1人の個性を尊重するところです
- ・個人の生き方を尊重しているところ
- ・相手の事を考え、気持ち良く感じて頂ける事を施設全体で取り組んでいる所
- ・利用者考えた職員も向上心の持てる理念なところ
- ・入居者 1人1人の可能性を信じ、サポートしている
- ・入所者のそれぞれが、社会を築いてきた人生の先駆者として尊重され〜というくだりがあり、その気持ちを持って仕事にのぞんでいます
- ・その人らしく、生活を送って頂ける様支援していく
- ・利用者中心のサービスの提供
- ・利用者さんの気持ちになって対応する。尊厳をまもる
- ・入居者の夢や希望の実現に向けて、施設全体で取り組もうとしているところ
- ・一人一人に合ったサービスの提供、地域貢献

- ・利用者の人格を尊重し利用者の立場に立ったサービスを提供する
- ・個人の尊厳を尊重しているところ
- ・ご利用者様が自分らしく、ご利用者様中心の生活を送れる
- ・入居者様一人一人の尊厳を尊重しているところ
- ・一人一人に沿ったサービスとご家族様と共に信頼にお声を聞きこたえる。職員は一致協力し笑顔で質の高いサービスを提供するところ
- ・思いやりや、いたわりに満ちた生活援助
- ・利用者の立場になって考える
- ・利用者の目線で考えられている
- ・社会的立場の弱い方々に対し誠意を持ってかわらせていただく点
- ・入居者様が笑顔で快適に過ごせる生活環境を提供するという事が共感できます。入居者様、1人1人に合った介護、生活環境作りを職員間で話し合い対応しています
- ・特に利用者様の笑顔を大切にす事に対し共感できます
- ・御利用者様、御家族がどう考え、どう生きたいか？を尊重している所
- ・一人ひとりを見た介護の提供を行うところ
- ・その人らしい生き方の作り直し 病気や障害で失った日常の生活を職員のサポートによって取り戻していく。※介護する側が主になりやすいためその考え方は共感できる
- ・利用者、家族一人一人の視点に立ったサービスの提供を心掛け、実践している事
- ・その人らしい生活支援を特に心がけている
- ・利用者の安心と安全を守るゆとりある生活支援をする
- ・安全で安心出来る介護について。当たり前の事だが、ご利用者の方は1人1人違うので、誰にでも、全ての方に安心してもらえる介護というのは大変良いと思います
- ・その人らしく生活できるよう支援していくことが大切だと思う
- ・その人らしい生活支援、敬老の心
- ・利用者様はお客様だということを常に心におき丁寧な介護をしていくこと
- ・施設を利用している利用者様の生活を主にし、大切にしているところ
- ・常に相手の気持ちをふまえ、寄り添った姿勢を持ち関わりを目指している点
- ・利用者、利用者の家族の立場に立って考え行動するところ
- ・利用者の事をよく考えているから
- ・利用者個人を大切にしている
- ・その人らしい日常生活が送れるように
- ・利用者様本意の施設を目指している所です
- ・皆様、施設で生活しているご利用者様方は施設が家なので、安心して落ち着いて生活出来る居場所であって欲しいと思っています
- ・ご利用者目線で考えながらも働く職員、ご家族、地域と一体になろうとしているところ
- ・当会に出会えて良かったと皆様に思っていたきたい。ストレスを軽減し、日々穏やかに生活できるようふれあいを大切にしていきたいといつも思っています

- ・ “ここに住みたい”と思える施設づくりに高い志を感じる
- ・ 利用者がどんな方であっても、その人らしさを尊重し、その人を想ってケアを展開していき、意欲や生き甲斐・居場所を創り、老後を強く元気に過ごして頂く
- ・ 相手の立場に立って考える。この仕事でもっとも大切な事だと思う
- ・ 利用者本位のサービス。専門性を活かせる職場など基本となることなど地域社会との協働
- ・ 援助する事に対して、諦めてはいけないところ。1人1人のケアを追求していく事が大切というところ
- ・ 個人の主張を大切にしている所
- ・ 利用者一人ひとりの個性を尊重し、サービスを提供していくところ
- ・ 利用者の立場に立って質の高いサービスを行うという所
- ・ 利用者本位のサービス
- ・ 「個人の尊厳を大切にします」その人らしさを大切にケアをさせてもらうこと
- ・ 個人の尊厳を大切にしているところです。様々な施設を見学させて頂きましたが、当施設が一番利用者個人と向き合い、サービスを提供していると思っています
- ・ 人がその人らしく生活できる環境作りを基本理念とし、入居者様の事を一番に考えている所
- ・ 一人一人利用者様を想っている理念
- ・ 「親切」「丁寧」「誠実」をモットーに利用者支援を行うこと
- ・ 利用者様のかけがえのない「今」を大切に、支援すること
- ・ お客様の意見を尊重しているところです
- ・ 利用者様の「声なき声」に耳を傾けるところ
- ・ 「当施設で暮らすことが本当に幸せだ」と実感して頂けるよう施設方針を掲げている所
- ・ 「当施設で日々暮らすことが本当に幸せだ」に共感しており、その用になれる様に日々、生活向上を目標として利用者様に接していきたい
- ・ ご入居者の安心した生活を一緒に過ごしていくというところが良いと思っています
- ・ 入居者目線の介護を目指し、取り組んでいる。過度な支援は行わず、入居者の生活機能を維持できるように支援している
- ・ “利用者の尊厳と個性を尊重”という、1人1人を大切にする姿勢
- ・ 利用者の立場にたったサービス
- ・ 利用者の尊厳と個性と尊重した多様なサービスを行う事
- ・ ご利用者の目線に合わせて声を掛けていますか？
- ・ 寄りそいの介護
- ・ そばに寄り添うという事が大切だという所
- ・ ご利用者の心に寄り添うサービスの提供
- ・ 利用者様の生活を大切にしているところ
- ・ 最も困っている人々のいのちと生活を支えます
- ・ ホームに入所しても、これまでの生活が切れる事なく支援する事
- ・ 利用者本位で行動すること。利用者の尊厳を守ること

- ・利用者を中心におく
- ・個々の利用者様のA D Lに合わせたケアが出来る
- ・個別ケアを行っているところ
- ・利用者の体をケアするだけでなく心のケアも行う事
- ・「自立した生甲斐のある生活」をサポートすること
- ・沢山の入居者様がいる日、“あなたのために”個人を大切にする とても共感できます
- ・あなたのために、出来ること、家族との繋がりを大切にしているところ
- ・あなたのために というところ
- ・利用者の立場にそってケアを行う。地域に信頼される福祉活動の実施
- ・生きがいを持って頂くこと
- ・今まで生きてこられたお年寄りの老後を我々の力で幸せなものにして頂きたい
- ・すべての人々と共に生きる事。私達のご利用者を支えているのではなくご利用者にも互いに支え合っている事
- ・その人らしい生活を送れるようにする
- ・その人らしい生活が送れるよう
- ・その人らしい生活の実現
- ・利用者一人一人の生きがいに対して尊重する事、又自立・自主性・選択権を大切にする事
- ・その人らしい生き方が出来ることを第一に考えている点
- ・利用者様に対し人としての尊厳を大切にしている所
- ・入居者の方と同じ目線になっている
- ・利用者本位の理念が共感できるところです
- ・人が人としての尊厳を保ちながら自立した生活が営めるよう支援するというところ
- ・自立した毎日を過ごせるよう支援しているところ
- ・ご利用者の尊厳を大切にしている所です。何事にもご利用者第1に考えて取り組んでいる所です
- ・利用者の人権・人格を尊重、明るく健康で豊かな高齢者の生活づくり
- ・毎日利用者の方の身体だけでなく心の変化にも気をつけて、すぐに気づけるようにしています
- ・利用者個々のライフスタイルに合わせた、支援サービスを行うところです
- ・利用者の方に、より質の高いサービス提供を行える様職員の知識・技術の向上に努めている。
- ・入居者にとって、安心できる生活を提供する
- ・利用者の尊厳を大切に、家族との関わりや地域とのコミュニケーションも大切にすべきという考え方
- ・個人の生き方を尊重する。すぐれた人材を育てる
- ・利用者ができるだけ健康な方と同じ生活を送れるようにすること
- ・利用者様の満足度に目を向けているところです
- ・自立に向けた生活支援
- ・「『利用者一人ひとり』の人生を充実させる為のサービス」という部分。個性を大切にした支援は、とても大切な事だと思うから

- ・ 人生の「今」にスポットを当て、支援するということに共感しています。過去は皆様違って、今現在、この施設で生活されている事実があるため、この場でこの時間をよりよいものにしたいという思いが常にあります

【地域社会に対する部分】

- ・ 社会福祉法人にたずさわっている仕事は、個人が責任を自覚してゆく事で成っている
- ・ 地域や社会への貢献
- ・ 昔から住んでいた地域で安心して暮らしてもらいたい
- ・ 「地域に密着したサービス」というのがあり地域交流が多いところです
- ・ 地域との連携を大切にするとうたっているところ
- ・ 地域社会に貢献～ボランティア積極的受け入れ、みこしや、バザー等地域参加交流、支えてもらっていることも大いにあるところ
- ・ 地域住民との関わりを大切にしているところ
- ・ 区初の特養として、地域社会への貢献を目指し、また他の模範になろうとしているところ
- ・ 地域福祉への貢献
- ・ 地域との関わりを密接に持っていること。お年寄りの心に寄り添う、「天寿を全うするケア」を行っていること。人間尊重
- ・ 地域と共にある施設づくりという部分で、地域の町会やボランティアの方が多数参加頂けるところ
- ・ プロとしてのかかわり、地域とのかかわりが大事であること
- ・ 安心して、選ばれる施設を目指すという点です
- ・ 個人を尊重する、地域との関わりを持つ
- ・ 利用者だけでなく、家族、職員皆が笑顔が絶えず温かみのある街づくりを目指し成長していける
- ・ 地域から必要とされていると感じられることは生きがいになり、明るい生活が送れると考えます
- ・ 地域における社会資源の一つという点は普段から意識するところがあります
- ・ 地域に開かれた施設という点
- ・ 地域の方々向けに介護教室を開催したりしているところ
- ・ “地域と共に”という所
- ・ 利用者の人権ようごしていくこと、地域に開かれた施設
- ・ 地域との連携を深め、日常生活の向上を目指す
- ・ 地域と一人一人を大切に考えている所
- ・ 地域との協働を目指しているところ
- ・ ご利用者の為だけではなく、地域・職員の為に努力している所
- ・ 他者のために、地域の方々のためにと自らより他者への考え

【精神的な部分】

- ・真心を込めて、お世話していきたいと思う
- ・心のコモったケア（利用者の立場に立った介護）心のコモった介護
- ・心のコモった介護をするという所。短くて分かりやすく良いと思う
- ・誠実！
- ・誠実
- ・まことの心
- ・感謝の心は大切だと最近強く感じます
- ・周囲に感謝する気持ちを忘れず業務を行ったりご利用者様と接するところです
- ・共に喜びをわかちあえる所
- ・正義、友愛、奉仕とありますが、その中での「友愛」について、ご利用者様の為に職員同士が、支えあい和を作るという事は、大切なんだなと思います
- ・介護を科学的に理解するという発想は自分にはなかったです
- ・4つに理念が分かれており、それぞれが福祉の指針となるべき事が理念に入っている為
- ・法人の理念は、一人ひとりの個性を尊重することを大切にしているという所に共感が持てます
- ・人間の尊厳を大切に所です
- ・全ての人に心を尽くして支援すること
- ・相手の為に尽くすといったところ
- ・相手の立場に立って考えてケアをするようにしています
- ・相手の笑顔、自分の笑顔
- ・「真実の瞬間の重視」に込められた、真剣に真心を込めた対応です。常に心がけています
- ・利用者に関わる一瞬一瞬を大切に、ということ
- ・利用者との関わりで一瞬を大切にすること
- ・人として、安らかに生活できるようにとの願いであること
- ・人との関係性を重んじる
- ・日常生活を送る上で、明るく楽しく過ごせるようにとの気持ちが込められている点
- ・人を思いやる心を基本としてあたたかいサービスの提供を目指していること
- ・誠の心でホスピタリティをあふれる生活をするところ
- ・何ごとに対してもあきらめないところ
- ・“まっすぐ介護に向き合います”というところが、チームとしてご利用者主体に考えケアしていく姿勢が良いと思う
- ・初心を忘れないという所です
- ・相手の笑顔で自分が笑顔になれる。自分が笑顔でいることで相手にも笑顔になってもらえる
- ・どんな方に対しても、皆同じようにサービスを提供するという理念
- ・心で尊重を大切にしながら業務に取り組む、というところです
- ・「個人の尊厳を大事にし…」この仕事において技術よりも大事なものは倫理観である事
- ・一人一人の生活、人生についてちゃんと向き合い考えているところ

- ・今の世の中を築きあげてくれた方達に感謝の心で接する事
- ・働かせて頂く、報いを求めずに労働を行うというところ
- ・報いを求めない聖き労働
- ・高齢者の人権を守り、尊厳を重んじるという面
- ・人権とプライバシーを守る人間愛
- ・明るい笑顔を心がけ生きがいのある生活を援助します
- ・人との関わりや、人として生きることを大切にす理念に共感を覚えます
- ・「人間尊重の精神」福祉の仕事に携わる人が常に心に持つべきことだと思います
- ・高い志を持つという言葉に共感できる
- ・全ての人々とともに、ゆめと希望に生きるというところ
- ・まごころ
- ・すべての人が安らかに安心して生活し、天から与えられた使命を全うする。というところ
- ・人間愛をベースとし職員の専門的知識・技術の更なる向上、質の高いサービス提供
- ・明るい挨拶
- ・二つの理念の基で働いております。胸の中心に常に置いて仕事にあたり、利用者さんに思いが通じると思っています
- ・思いやりのある介護という所に心が温まりました
- ・老いたる者の楽園たるべし、という理念が共感できます
- ・人が人を思いやるという人間愛を大切にしているところ
- ・温かく、質の高いサービスを提供するという所では普段の業務から常に考えながら、行っているところであり、体現できたら良いと思う
- ・「自分らしくあり続けられる場所、互いを思いやれる場所、選びたくなる場所」という、心を大切にしていこうとしている所。どんなに介護技術が良くても、心がなければ質の良いサービスは提供できないと思うから
- ・人間性を尊重
- ・サービスを提供させていただくという心で介護にあたります
- ・「何かをするのではなく、させていただく心を持つ」というところ
- ・敬天愛人
- ・感謝の心
- ・「人間尊重を基本理念とし人権・人格の尊重」当たり前のことであるが本当に大切なことだと思う
- ・理念に「思いやりの心」とあり、すべての介護に共通していえる事とを感じる人と接する仕事では、とても重要な事だと思う
- ・「敬愛」の念を持ち、それぞれの個性を尊重すること
- ・「あらゆる人に生きる夢と希望を提供する」という理念に共感し、日々、心がけるようにしています
- ・何かをするのではなく、させていただく心をもつというところ
- ・「あらゆる人に」の言葉のように、いろいろな立場を考えているところ

- ・心の福祉
- ・幸せを目指す
- ・法人基本理念の奉仕の精神に基づいており、理念作成経緯が分かりやすく、浸透しやすいと感じます

【その他（環境）】

- ・働くにあたり当然のことだと思います
- ・ごく一般的な内容なので、共感できるというより理解できるというレベルです
- ・職員の意見を聞いてくれる
- ・施設理念は理解しているが、もう少し介護現場の視点での理念であると良いと考えている
- ・福祉施設へ求められている事柄が明記されているところ
- ・ありきたりで全く特色がないところ
- ・職員が施設理念と方針の本質を理解して共有化すること
- ・すべて
- ・自然の中で…というところ
- ・ひとり1人がよりよく生きられる生活環境をつくる事
- ・全てにおいて共感できる
- ・入居者・家族・職員がつながっているところ
- ・すべて
- ・ユニット型のアットホームな空間作りに取り組む姿勢
- ・家庭的な生活
- ・自分らしい生活を送り自然に笑顔になるという、当たり前でありながら病気をかかえていると難しくなる
- ・いずれは自分や自分の家族が利用したくなるホームを目指しているところ
- ・チームワークの共有 同ユニット内なので、内部での関係性が希薄であると成り立たない
- ・利用者様、ご家族様と一緒に選ばれる施設作りを目指している所
- ・日常生活の満足度の向上
- ・基本理念全体に共感できる所
- ・共感はあまりできない
- ・家庭的なところを目指しているところ
- ・職員1人1人スペシャリストを目指すところ
- ・家庭的な雰囲気のもと、安心した生活が送れる場にする
- ・理念はだいじ
- ・入居者様、ご家族様、職員の三者が幸せになってこそその理念に共感できます
- ・職員の幸せがあつてこそはじめて入居者様にいいサービスを提供できるという考え方

Q2-2 この仕事をしていて良かったと思うことはどんなところですか？

【自己の変化（成長）】

- ・「相手の立場にたって」ということがより実感できたところです
- ・様々な人達と、かかわる事で、勉強になることがとても多い
- ・人生の先輩である高齢者とお話しして学ぶことがある
- ・人生の終末を迎えた人と多くの時間接していると、普段あまり得られない人生観や経験談にふれることができ、考える機会を得られたことです
- ・様々な出会いがあり、話しがあり、対応方法があるので勉強になる
- ・祖父や家族の介護に役立つ知識や技術が得られる。昔の話等が聞ける
- ・利用者を通して、人の一生、死という事について考えることができました
- ・成長出来たと感じられること、尊敬出来る方がいること
- ・人の最期のケアに携わり、生きる意味を考える事ができる所
- ・多くの人、利用者様と関わり、介護を知れる事
- ・自分自身の考え方等成長できたところ
- ・人との関わりの楽しさを知ることができた
- ・人生の先輩の方々と多く接する事で、自分の生活にも参考にさせて頂いてます
- ・利用者の方から話を伺う中で人生のかてになるような言葉をいただいたり、利用者のたくさん笑顔が見られること
- ・いろいろな人と接する事ができ、様々な事を知る事ができ学ぶ事ができる
- ・してほしいことがうまく伝えられない方の伝えたい事が理解できた時
- ・日々勉強になるところ
- ・人と触れ合っていると実感した時
- ・常に色々な人と関われる。認知症や脳梗塞など、自分の親や自分がいづれなったときに役に立てる。医療についても勉強できる
- ・人生の先輩からいろいろな事を共有できる所
- ・人生経験豊富な方たちと多く関わりを持って、話が出来から
- ・他者にやさしくなれるところ又デイサービスから利用し特養に入所され長期にたずさわっていけること
- ・人と接することに慣れた
- ・家族の中で介護や医療が必要になった時、必要な知識を家族内で共有でき、率先して行える
- ・大先輩の方々に沢山出逢い、沢山の学びを得た事です
- ・老いに対して、身近に感じ、考えられること
- ・自分自身を高めることができる
- ・明治・大正・昭和生まれの方々からその時代に体験した様々な話を聞けること
- ・利用者、職員ともに幅広い年代の方々と触れ合えた事です。色々な価値観と接する機会が増えた
- ・人対人ということで、相手のことを理解しようとするようになったり、人に優しくできる、人

として成長できると思った

- ・日々、学ぶ事や感動する事など他ではなかなか得られない事が多い
- ・利用者から色々なことを気付かせていただき成長へと繋がっていること
- ・色々なタイプのご利用者様とお話やお世話をする事で、自身の身内に対する考え方や、対人関係の考え方が豊かになった事
- ・御利用者の笑顔に接することが出来る
- ・沢山の方と出会えて、その方の人生を知ることが出来たこと
- ・関わり合う利用者の笑顔がみられた時はうれしく思います。また、自分の家族等に介護についてアドバイス出来るようになったことです
- ・色々な方と接する機会が多くその誰もが同じではない為1人1人を個として対応する意識が持てた
- ・認知症の方への接し方
- ・仕事以外で、近所の高齢の方々に気遣いや声かけが積極的に出きる様になった
- ・老いと死について身近になった
- ・自然と笑顔になれる
- ・自分の人間力が高まるどころ
- ・人とかかわる仕事をしているので、日常生活でも役にたつ
- ・高齢者好き。介護は今後活かせる。仕事で学んだことも地元の高齢者でも対応できるのもあってできて良かった。職場の建物が古いが、質の高い介護で実施している職員多い。職員関係比較的良好
- ・終末期のケアを行っているので利用者の人生の最後まで付き合う事ができる事
- ・私自身、この仕事は天職だと思っている。介護を通じて、現社会で薄れてきてしまっている、地域や人とのつながりの大切さを知ることができた
- ・高齢者の方が色々なことを教えてくださること
- ・いずれ我身と思ひ、高齢者の心理、不安が多少理解出来る
- ・老人ホームの現状を知った
- ・高齢者の方と接していて「老い」というものを考える様になった
- ・50床という特養としては小規模だが一人ひとりのご利用者を知る事ができる。人生のしめくくりに私達が関わらせて頂ける事が幸せであり世代のバトンを受けついでいると感じる
- ・人に優しくなれるところ
- ・思いやりや福祉の心をより、身近にシンプルに提供出来るところ
- ・人に対して思いやりが持てるようになった
- ・高齢者、障害者、認知症など、身近に感じれ、同年代、健常者以外の人間を知れる
- ・自分の生活の参考となった。人と人との関わりの中で勉強になったり考えさせられる事があり、自分をわずかずつでも成長させてもらっていると感じられる所
- ・命の大切さを認識出来るところ
- ・価値観が変わった事。寛大になったこと

- ・介護の仕事の中で、人との関わりや、利用者に救われる事が沢山あり、介護以外の事でも教えてもらえる事
- ・祖母の介護に知識と経験が少し生かされたところ
- ・人と接する事が多くなり、色々な方の人生観を知り、自分にプラスになる事が多くなった。介助をしていく間、やさしい気持ちになれる
- ・様々な人がいることがわかった。とても勉強になります
- ・自分自身が成長でき、ご利用者に還元できている
- ・色々なご利用者と関わることができる。学ぶことも多くでき自身の成長にもつながると思う
- ・利用者の笑顔を見たとき
- ・対人援助を考えると、直接生活に関わりながらの仕事となる 生活を共に感じ苦しみ、喜び、その人の人生を共に過ごすことになる 自分にとって大きな経験となっている
- ・入居者を通し、いろいろな方とお話しできたり、入居者から多くの事を学ぶことができた所
- ・いろいろな人生の経験をしてきた方々と話しをしたり、時にはアドバイスを頂くこともあり、たくさんの勉強をさせて頂けるところ
- ・ご利用者と職員という関係だけでなく、人と人との繋がり信頼関係が生まれた時
- ・高齢者の方との接し方、理解
- ・さまざまな人間と関われ、さまざまな人生に触れることが出来ている。介護士としてだけでなく自分の生き方の参考になるような学びを得ている
- ・少し成長が出来たと思います。相手の気持ちを考えるようになった気がします
- ・福祉に関する知識が、自分自身の生活にも活用できることです
- ・今までの経験上、深くお話しする事のなかった方々と向きあえる所。色々な事を勉強させて頂いてる
- ・支援し、その支援がご本人にとって、喜ばしいことであった時の嬉しさ、達成感（終わりはないと思うが）を味わえたとご利用者に「あなたなら安心」と言っていただけのことです。また、多職種で一人のご利用者を支えたときです

【相手の変化】

- ・排泄（トイレで）、食事、入浴、外出などで、入居者さまの生き生きした姿をみれたときです
- ・ほとんど笑顔も見られず、寝たきり状態だった方が、自分達に関わることによって笑顔が見られ、食事をしっかり食べ、元気な状態に戻った時
- ・利用者と心がつうじた時、利用者にほめられた時
- ・困っている人、弱っていた人が、元気な顔になって1日を送っている様子を見られること。あまり人と話もできなかった人がフレンドリーになったことや笑顔が増えた等
- ・ご利用者に合ったケアができた時、その方の新しい一面や可能な動作範囲が広がった場面に立ち会えた時です
- ・利用者様の「生活」が見れた時

- ・ご利用者の笑顔が引き出せた時
- ・家族や利用者が安心した表情をみせたとき
- ・利用者様が苑に入所後元気になられること
- ・自分が働いていることで、お年寄りが笑顔になってくれたり、少しでも生活が良い方向に向いたこと
- ・安心し穏やかに過ごしていただけているなど実感した時
- ・入居者様の日々の施設生活の中で職員が介護を行いながら一緒になり少しの変化でも喜びを持つ事ができる事です
- ・利用者が楽しんで生活されていると感じた時、職員がやりがいを持って働いていると感じた時
- ・利用者のADLが向上したこと 利用者が日々健康で生活できること
- ・笑顔が見られたとき「ありがとう」と声をかけてもらったとき、提供したケアによって利用者の状態が好転したとき
- ・利用者との会話の中で、日々の変化を感じたとき。例えば、毎日同じことを繰り返し話す方がいつもとはちがう内容で話してくれたとき
- ・関わりを通じて、相手の気持ちを引き出せた時。ふとした時に、自然な笑顔を引き出せた時
- ・最初はなかなか心を開いてくれなかった利用者が徐々に話などしてくれた時
- ・ご利用者との信頼関係が直に感じられること
- ・利用者に名前を覚えて呼ばれた時
- ・入居者の方にありがとうと言われた時。入居者の方がどんどん元気になっていく姿を見た時
- ・人間の生き様死に様を見れたこと
- ・自分が考えたケア、関わりが良い結果につながった時。利用者様から「ありがとう」と言われ時
- ・個別のケアができること
- ・入居者の日々の変化など、様々な場面に携わらせて頂けること
- ・利用者さんが私との関わりになかで変化し生き生きとした表情をされていた時等
- ・自分の介助・支援で助かったと認めていただける時など
- ・新しい発見があった時（例、あの方はホウレン草が好き）など
- ・利用者が楽しそうにすごすのを見る時。利用者が良くなった時
- ・コミュニケーションもなかなか難しかった入居者様が少しずつ関係性ができ、冗談など言いあえる仲になった時など
- ・行事を企画してご利用者が喜んで下さる事
- ・入居者の変化を肌で感じる時
- ・入居者様と心が通じ合ったとき

【利用者などからの感謝や笑顔】

- ・入居者の笑顔や笑い声が聞こえた時
- ・利用者が笑顔で接してくれた時

- ・利用者がよろこんでくれた時
- ・笑顔でありがとうと言葉をかけてもらった時
- ・利用者の方が声をかけてくれたり、喜んでくださったりした時
- ・利用者の笑顔、感謝の気持ち
- ・人から感謝されるという事を、身を持って体験できる所
- ・利用者の皆さんの笑顔、利用者、職員共に、作業する、行事への取り組み参加。
- ・皆さんの笑顔に出逢える事
- ・行事や外出レクリエーションを行って利用者様の喜ぶ姿を見た時にやり甲斐を感じる
- ・利用者の笑顔を見れた時に思います
- ・お客様に喜んでもらえた時。ご家族様に安心してもらえた時
- ・入居者の方の笑顔が見れた時
- ・利用者の方からお礼を言われた時
- ・入居者から感謝の言葉をもらった時
- ・利用者、家族から笑顔やありがとうの言葉をいただいた時
- ・利用者様の笑顔が見れた時、ぼろりと本音が聞けた時に、利用者様の人生の一部を垣間見ることができた、寄り添うことができた…と実感できた時です
- ・入居者様に感謝の言葉をいただいた時や自分の仕事ぶりが先輩方にみとめてもらえた時
- ・利用者様から「ありがとう」と笑顔で言われた時
- ・ご利用者様の笑顔で「ありがとう」と言われた時です
- ・「ありがとう」や「あなたは良いことあるわよ」などを笑顔で言われた時
- ・利用者・入居者の方の笑顔
- ・人と人の関わりの大切さ、人生の最期の瞬間に少しでもお手伝いでき、何よりも利用者さんの笑顔が見れた時に良かったと思います
- ・利用者さんの知恵や経験に学ぶ事が多い。あなたがお休みすると淋しいのよ。と言って待っていてくれたり、会話を喜んでいただけるとき
- ・利用者様から「ありがとう」と言われた時
- ・利用者様の笑顔を見られた時
- ・ご利用者の笑顔がみられたとき
- ・利用者や家族にここに来てよかったと思ってもらえた時、や感謝された時。利用者が笑顔で過している時
- ・利用者様にありがとうと言われたり、ねぎらいの言葉をもらったりすること
- ・利用者やご家族に感謝された時。信頼されていると感じた時
- ・自分が行った介助に対してありがとうと言ってもらえること
- ・入居者様の笑顔がいっぱい見れたり「ありがとう」と言われた時
- ・ご利用者様の笑顔が見れた時
- ・「ありがとう」にふれる機会が、他の職種より多いと思う
- ・利用者さんの笑顔を見れた時

- ・感謝の言葉をいただいた時
- ・利用者の笑顔が見られた時
- ・利用者さんの笑顔を見れた時
- ・業務の中で、ありがとうとよく感謝の言葉を口にして、笑顔を向けてくれる事
- ・ご利用者の「ありがとう」という言葉、笑顔
- ・利用者からの感謝の言葉を頂いた時や、一緒に喜び合える時に関われるのは、この仕事だけだと思います
- ・笑顔を掛け合える関係が築けた時にそう感じる
- ・ご利用者の方に「ありがとう。」とお礼を言われると嬉しくなります
- ・利用者の笑顔と嬉しいの言葉
- ・利用者さんに喜んで頂けたり、「ありがとう」と言われた時
- ・利用者様のできない事をお手伝いしたあと、笑顔が見れると優しい気持ちになれる
- ・自分が行った対応に対して喜んでくれる時
- ・ありがとうの言葉をいただけること
- ・感謝されたり嬉しそうな姿を見れるから
- ・入居者の笑顔がみれたとき。自分のしたことで入所者・ご家族が満足してくれたとき。一緒にレク・行事を楽しめたとき
- ・援助をしていて利用者に笑顔が見られたり、必要とされている所等
- ・自分が相手にしてあげた事に対して感謝して頂く事が出来たり、たくさんの笑顔が見れるのでこの仕事をしていて良かったと思う
- ・“ありがとう”と感謝されるどころ、利用者の笑顔が見れるところ
- ・笑顔が見れた時
- ・ご利用者の笑顔と感謝の言葉を聞くと良かったと思える。さりげない「ありがとう」が自分の支えになっていると気づく
- ・入居者の笑顔がたくさん見れる
- ・「ありがとう」の言葉をかけて下さる
- ・ご利用者やご利用者の家族に「ありがとう」と言ってもらえた時やりがいを感じる
- ・利用者やそのご家族から感謝の言葉をいただいたり、笑顔が見られた時です
- ・“ありがとう”と笑顔で手をにぎり返して下さった時です
- ・入所者様や家族様から温かい言葉を掛けて頂いた時
- ・些細な事でも「ありがとう」と感謝される事
- ・感謝の言葉を頂けると、素直に嬉しい
- ・利用者の笑顔、サービスに満足して頂けた事
- ・利用者様に喜ばれた時
- ・小さな事でお客様に「ありがとう」と言って頂けるところです
- ・利用者様と共に笑えるところ
- ・利用者様の笑顔

- ・利用者様の笑顔や「ありがとう」という感謝の言葉をもらったとき
- ・ご入居者の方に感謝をされたとき
- ・ありがとうと言われると嬉しく思います
- ・例えば、嫌な事があっても、笑顔を見れると、とても幸せな気持ちになれる
- ・利用者様の支援を行った際に、笑顔になったり、「ありがとう。」と言ってもらえたとき
- ・入居者に「ありがとう。」と言ってもらえた時。入居者と、談笑している時
- ・利用者の楽しそうな表情を見た時
- ・利用者にありがとうと言われた時
- ・利用者や家族に感謝されたとき
- ・出勤した際に「嬉しい」と言っていただけの時。利用者様の笑顔がみえ、自分が頼りにされると実感した
- ・入居者・家族から感謝の言葉を頂いた時。入居者と楽しい時間を過ごせた時
- ・利用者の笑顔がみられた時
- ・利用者「ありがとう」と言ってもらえたこと（これが地味にすごいウレシイ）
- ・利用者との笑い合える瞬間があること
- ・利用者様、その御家族より感謝の言葉を頂いた時
- ・利用者「喜んで」言ってもらえた時
- ・御利用者から感謝を頂いたとき
- ・入居者様の笑顔が見れた時
- ・入居者、家族から感謝の言葉を言われた時
- ・ご利用者様から感謝の言葉を頂いたとき
- ・利用者と共に何気ない事で大笑いできる日々
- ・お年寄りの笑顔が見れた時
- ・楽しそうに笑ってくれる時
- ・お年寄りの方に感謝された時
- ・ご利用者さんからありがとうと感謝のことばをいただく時
- ・利用者さんの笑顔、感謝の言葉をもらったときです
- ・利用者の笑顔が見れた時
- ・普段利用者様からいただく「ありがとう」という言葉を聞いた時、笑顔になってくれた時、最期に立ち会い見送る時。（最期まで一緒に過ごさせていただいてありがとうという気持ちと御家族様からの言葉をいただいた時に頑張ってた良かったと思う。）
- ・笑い声を聞くと元気になると言われる。自分の笑い声で誰かが元気になると思うとこの仕事を選んで良かったと思う
- ・利用者さんの笑顔がみれたとき
- ・利用者の笑顔、美味しそうに食事をされている姿
- ・利用者様が「ありがとう」と笑顔で言ってくれた時
- ・仕事をした際、相手が喜びを伝えてくれた際

- ・利用者に感謝されること
- ・利用者様に「ありがとう」の言葉をかけていただいた時
- ・ご利用者や職員の皆様の励ましや明るい笑顔、支えられて長く介護の仕事ができた事
- ・入居者や家族からの温かい言葉を頂いた時
- ・ありがとう、と言ってもらえるところ
- ・利用者の方とお話をしていて、(何気ない会話で) 笑って頂けて、共有できた時
- ・利用者様から感謝の言葉を受けると、実感します
- ・感謝の言葉を頂いた時
- ・利用者様の笑顔を見て、少しでもお役に立てたと感じる時
- ・利用者様の笑顔が見れた時
- ・利用者からの「ありがとう」の言葉を頂いた時
- ・ご利用者からの「ありがとう」と言う言葉や、日々の業務の中での成長を感じられる事
- ・ご利用者様が喜んでくれた時
- ・笑顔を感謝を感じる

【誰かの役に立つ】

- ・介護の知識が身に付くので、将来家族の為に役に立てると思う
- ・誰かの役にたててるような気がする所
- ・生活に役立つ
- ・自立支援を試みて成果が出せた時
- ・御利用者やその家族のお手伝いができるところ
- ・相手の立場にたって考え、欲求を全て受け入れるわけではないが、サービスを調整したりできること
- ・人のためになっているところ。自分が役に立っていると実感できる
- ・利用者とかかわることが楽しい。他人の人生に大きく関わる
- ・ダイレクトに人の助け、力になり得る仕事だと思っています
- ・自分が役に立てたと思った時
- ・人の役に立てる仕事に就きたかったので、今では心から介護職にして良かったなと思っています
- ・ご利用者の人生の一部分に関われること
- ・生活の支援を支えることができる
- ・①終末を迎えた利用者の方の看取り、仕事の忍耐的に大変な仕事ですが仕事をやりとげ家族の方から、入所させて良かったと言われた時、頑張った良かったと実感します
- ・少しでも他人の役に立つことが出来たと感じられたとき
- ・人生の締めくくりである大切な時期に、時間を共にすることの責任は重いですがこんな自分でも少しだけ人の役に立てること。工夫することで問題が解決した時は嬉しく、この仕事のやりがいを感じる

- ・辛く、大変なことも多いが、ご利用者様と接しているだけで楽しい。少しの援助をするだけでも感謝され、喜んでくださることが嬉しい。自分が役立っていると実感する。
- ・必要とされる所
- ・家族で直面する問題に対しても経験や知識が役に立った時 e t c .
- ・純粹に人の役に立てる所。「ありがとう」を頂ける所
- ・人と触れ合うこと。生活のお手伝いをすることで、自分でも人の役に立つことができると思える点
- ・「あなたが来てくれて良かった」等の声を掛けて下さり、自分を必要としてくれていると思った時
- ・他者に喜んでもらえる（役に立っている）
- ・人と接する事の楽しみを覚えました。また人の役に立っているという事で生きがいを感じられるようになりました。
- ・利用者の方と接し、お話をしたり、コミュニケーションが取れる事
- ・利用者様の意志を聴き取ることができた時や、望んでいる事のお手伝いが出来た時

【その他】

- ・チームとして、協力し合って1つの結果にたどりついた時。（意思疎通が計れているから）
- ・体調を崩く事なく、仕事が出来る。長く続けられている
- ・やりがいを感じる
- ・利用者との交流
- ・毎日が充実しているところ
- ・毎日、明るく一緒になり楽しめているところ
- ・人と関われる仕事が好きでその仕事に就けたので
- ・四季のうつり変わりが分かる催しがあり、共に楽しめるところ
- ・沢山ありますが、今振り返るとこの仕事を始めて多くの方々と関わりました。（利用者様、ご家族、職員）こんなにも人と深く関わりを持事が出来るのは介護の魅力だと思います
- ・とてもやり甲斐ある仕事ではあるが、常に不安をかかえている（精神的、肉体的）
- ・この仕事を選んだことを後悔している。心身ともに疲労し給料も低い
- ・人とかかわることで得られる喜び（体験）がすばらしい
- ・リスク（転倒等）がある利用者が見守りなどしても、理解してくれない点
- ・人との出会い
- ・やりがいを感じられる所です
- ・今はもう忘れてしまったがあったと思う
- ・たくさんの方と関われる。ご利用者のご家族、職員
- ・やりがいのある仕事であると思います
- ・夜勤があり、昼間の時間が割と自由に使える事
- ・色々な利用者に出会え、関わり合えた事
- ・人と関わりをもてる。人生の先輩と接することができる

- ・人間の温かみを肌で感じられる所です
- ・人の優しさに触れられること
- ・人と接する事が楽しいと今まで以上に感じる
- ・ずっと事務の仕事だと、あきそうなので
- ・毎日が充実しているところ
- ・充実感
- ・毎日楽しい事があること
- ・人と人の関わり
- ・良かったこと 楽しかったこと つらかったことを職員やお年寄りと共に感ぜられること
- ・日々の入居者及び、家族とのふれあいそのもの
- ・対人関係なので、常に体験が多い。嫌な事も含め
- ・一人ではなくチームでケアできる場所
- ・利用者と共に共有している時間をお互いに楽しめていると実感した時
- ・人生の最後に立ち会えることはプラスになります
- ・精神的にも肉体的にも負担が多いのに給料が安い
- ・入居者様に信頼され笑顔でお互い過ごせるとき
- ・前職より収入が上がったこと
- ・やりがいを感じます
- ・資格がとれたこと
- ・老人とのふれあい
- ・働きながら資格が取得できるとことです
- ・まだ分からない
- ・人生の大先輩である入居者様や職員の方々と一緒に仕事ができていることに日々幸せを感じております
- ・日々の努力が形になって（数字になって）表れたとき

Q3 この仕事をして、自身が変化したと思うことはありますか？

- ・他人を観察するうちに、自分自身の状態も正確に知ろうとするようになった
- ・コミュニケーション能力の向上や、自分の感情を表に出さないようにする事が出来るようになった
- ・少し優しくなれた事
- ・「常識」は、人それぞれで、その個性を尊重することを学びました。高齢者の方に限らず、友人や家族の思いにも近づけるようになったと感じることがあります
- ・老いについて考えるようになり、自分自身の親への関わり方が変わった。いつまでも元気でいられるわけではなく、親にも必ず老いがくる。親との時間を大切にしようと思うようになった
- ・利用者に対しての注意力、変化や異常に対しての気づき
- ・がまん強くなった
- ・人の事が・・・
- ・失敗があるが、かなり沢山の失敗、おちこむ事有るが、それでも仕事が待っている タフになる
- ・上部の方の、視野が広くて、勉強させて頂いている
- ・お客様によってケースバイケースの対応をとっている自分ですが、仕事にムラ、ムダ、負担多く、基本をうち出し、そちらに添って行く、あるいは行って頂く事が、本当に大事とわかる
- ・相手の気持ちを想像し、こうしたらこんな気持ちになる、ということを以前よりも考えるようになった
- ・認知症の人を、理解。外でこまっている人には、声を掛けるようになった。ありがとうを言うようになった
- ・人への感謝の気持ち、思いやりの気持ち。当たり前のことだが改めて思った
- ・特養経験では、知り得なかった、生活困窮者の現状、等
- ・相手の立場になって考えること
- ・積極的になった、声が出る様になった
- ・老いていくことの残酷さを知り、余生の尊さを知る
- ・相手の立場に立って考えるようになった。(?)人の気持ちを理解する努力をするようになった
- ・観察力がついた。認知症の方への接し方のコツがつかめてきたこと。人格が少し柔らかく丸くなった。自分自身が元気になった
- ・利用者の生活環境などを知り、接する事が出来る
- ・高齢者と関わる事が普通になり、プライベートでも周囲に気を配る様になった
- ・老いに対しての感じ方が変わりました
- ・自分の家族に対しても、接し方や考え方が変わった
- ・忙しい分、やりたいことやできることにメリハリができたと思う
- ・自立支援を意識するようになった
- ・観察力が身についた。より積極的に声かけするようになった
- ・今までの、きれい、きたないという概念が単に自分の思い込みであったということがわかりました

- ・思いやりを持てるようになった。他者の気持ちに寄り添うようになった
- ・自分の老後を考えるようになった
- ・一方向だけでなく、多面的に物事を考えなくてはいけないことを実践できること
- ・チームで仕事をするため、周囲をよく見て行動することです
- ・責任感を強く感じる様になった
- ・心が穏やかになり、人に対して優しくなれる様になった
- ・明るくなった、家族と話すようになった
- ・コミュニケーションの取り方など
- ・年配の方々が以前より好きになった
- ・自分が変化したのか、分かりません
- ・思いやりを持つ事が以前に比べてもっと持つことができた
- ・様々な場面で臨機応変に対処できるようになったと思います
- ・精神面がかなり強くなり、自分の意見ははっきりと言えるようになった事、人とのコミュニケーション能力が高くなり笑うことが増えたと思います
- ・色々な物事などの見方が変わった
- ・表面で促えるだけでなく、その背景にある事を考えるようになりました
- ・人のことを考えるようになり、自分の人生についても考えるようになった
- ・思いやりの心をもつ様になりました
- ・人に対しての接し方が変わったと思います
- ・ご利用者様をはじめ、周囲にいる人のために自分ができるとは何か、考えるようになった
- ・日々の生活でも、高齢の方との話題が作りやすく、あいさつする事がより増えた
- ・観察力が身についた
- ・体調の変化などにすぐ気づけるようになった
- ・少しはやさしくなったと思います
- ・仕事を通して、立場でさまざまな事を考えていく方法がえられ、考え方も変化しました
- ・ソーシャルワーク
- ・人と関わる事の大切さを知り、人との絆を大切にするようになりました
- ・身体面で強くなったと感じます。体調のコントロールにも気をつけてます。他、家族の事、老後の事を考えるようになりました
- ・人生やその人らしさ等を考えるようになった
- ・お手伝いする事が全てではなく、自立を支援していく事を知った
- ・高齢者に対する意識
- ・精神力、忍耐力が以前より強くなった
- ・自分に足りない部分を気付かされることが多く、少しずつ視野が広がってきた
- ・臨機応変に対応する。1つの事にこだわらない。自由な目線（必ず答えは1つではないこと）チームワーク、取り組み。（1人で出来ないことも助け合い支えてもらっている）
- ・自己管理能力がついたこと。利用者を観察することによる気づきが多くなった。季節や気候・気温

などの変化に敏感になった

- ・電車やバスの中、店内等で高齢者の動向を気にする様になった
- ・細部に気づけるようになりつつある
- ・人に優しく接するようになった
- ・人のことを良く見るようになったと思います。この人はどんな人なのか、と仕事をしていくうちに、良く人の様子を観察してると思います
- ・最後までやり続けること
- ・礼儀正しくなりました
- ・感情が豊かになったと思う（良くも悪くも）
- ・仕事する前よりも人に対してやさしくなれた
- ・ご利用者様一人一人に沿ったサービスを行う為に状態の観察と把握をし、落ちついて、対応することが出来るようになった。見守りや気配り等の介助などにも心掛け（何事にも手を出していたが）、一歩ひいてみれるようになった
- ・気が長くなった
- ・お年寄りの方が好きになった
- ・利用者様が安全に安心して過ごすことができるよう常に配慮しています
- ・人のことをよく考えるようになった
- ・人の死を見ることで、1日1日をもっと大切に生きて悔いのないように意識して生活を送るようになったこと
- ・明るくなり、色々な方と関われるようになった
- ・よく周りを見るようになった事
- ・老いゆく人への支援について、じっくりと考えられている点
- ・介護業務を通して人との関わりを楽しめるようになりました。仕事を始める前は、内向的で人見知りな部分が強くコミュニケーションが苦手でした
- ・最近周りから「落ち着いた」と言われる様になりました
- ・老いという自分の将来像でしょうか…
- ・1人1人の利用者を見るために動線を考えるようになり、優先順位を考えるようになった。
- ・この仕事にたずさわった当初はただ介護・援助していく事だけが仕事だったが利用者の生活人生に接していく事でこちらも人間的に成長、考え深くなった
- ・相手（利用者、職場の仲間）の事を考えて利用者のケア、職員の悩みなど少しでも、最善対応が出来るように考えられるようになった。（今までは、自己中心的であった）
- ・自分の意見を持ち、相手に伝えようと努力するようになった
- ・若い頃、中高年以上の人は苦手だった。苦手意識が少し薄れている
- ・看取りをやっていたりすると、「死」というものに、変に慣れてしまい、自分の感性や価値観が大きく変わった
- ・視野を広く持ち全体を把握する事で優先順位をつけて行動できる様になった
- ・命の重みを改めて感じるようになった。責任感が強くなったように感じる。入職前よりも人（利

- 用者、職員関わらず)と多くと関わり、話すようになった
- ・社会や地域に目を向けるようになった事、ボランティア活動に参加するようになりました
 - ・介護や援助は優しさだけでは出来ないと思った。その方の為には、厳しい事を言わなくてはいけない場面等も沢山あった。その方の今後を考える為、関わっていくうちに、段々と、その様な事も言える様になってきたと思う
 - ・他人の話を聴けるようになったこと
 - ・人に対し傾聴の気持ちが膨らみ、以前より相手の気持ち・行動を考えられるようになったと思います
 - ・イライラすることが増えた、おこりっぽくなった
 - ・高齢者の方達への見方が変わった
 - ・相手の方を見て、この方にはこういう介護が良いのではないかと考え、笑顔になってもらえるには?と考えるようになりました
 - ・腰痛悪化
 - ・お年寄りの気持ちを理解しようと思う所
 - ・健康になり筋肉が付いた。健康に気をつかうようになった
 - ・様々な経験を持つ利用者、家族、職員と接することで多角的なものの見方が身に付いた
 - ・長生きしたくなくなった
 - ・自分自身に対して健康管理、食事や睡眠など生活リズムを整えるようになった
 - ・仕事時間外でも困っている人を見かけたら積極的に手を差し伸べることができるようになったこと
 - ・笑顔が多くなった。反面、イライラすることもあるが
 - ・「丁寧」に行う事を心がけるようになった
 - ・どんな状況においても、あきらめないで行う事、関わる大切さ等学び、まずは「やってみよう。」と思える気持ちが持っていると自覚しています
 - ・自分の老後のことや、家族に対するかかわり方、又、自分の身の回りの方々とのあり方に考えさせられることが多くなった
 - ・気が長くなった
 - ・先の事を考えて行動するようになった
 - ・少しは優しくなれたと思う
 - ・色々な場面で気を配れるようになった。体力がついた
 - ・より一層責任感を持ち、問題に取り組める事です
 - ・人と関わる事が以前より好きになり、積極的になる事が出来たと思います
 - ・利用者がどのように生活して最期まで過ごすか考え、見つめ直すことができたこと
 - ・周りの人達の気持ちを考え、大事にしていこうと強く思えるようになった
 - ・責任感が高くなった。一人が休むことでご利用者、職員に迷惑がかかってしまうと自覚する事が出来ない。体調の管理がしっかり出来るようになった
 - ・専門職としての意識

- ・認知症状のある入居者様に対して、その見えている世界観を共有できるよう意識を持って接するようになったこと
- ・自分のミスが利用者の損失に直接影響するので、今まで以上に仕事に責任感を持つようになった。又、他の職員にもしっかりと伝えるようになった
- ・笑顔で明るく接することが多くなり、その重要性を知った
- ・よく考えるようになった。また、よく観察するようになった。そこから良いケアに向けて取り組めるようになった
- ・介護としてではなく会社としての成長は出来ていると思う
- ・どんな方とでも話せるようになった。1つのやり方でなく、いろんなやり方を考えるようになった
- ・腰痛持ちになった
- ・何事もその場しのぎで、時間の流れに身を任せていた自分が、この仕事を始めてから、自分で考え行動するようになった
- ・過去を振り返ることが多々あります。昔は視野が狭く周りのことをよく知ろうとしなかった。毎日同じことの繰り返しで自分に自信もなかったが利用者から何げない一言や思いが成長させて下さいました。周りの方々への感謝する気持ちが芽生え毎日が楽しくなりました。特にここに来てから仕事へのやり甲斐も増え、また少し人として成長できたと思います。行動力も増え自ら積極的に動けるようになったことは大きなことだと思います
- ・利用者（高齢者）の接し方
- ・ご利用者の立場になって考えられるようになったと思う
- ・物事を冷静に判断出来る様になった
- ・「どういう風に」とは言えないが、精神的に強くなった気がする。）「この仕事をして」というよりも「この仕事を続けて」
- ・自分が気付いたことや感じたこと、こうしていきたいということを周りに発信できるようになったことです。
- ・すごく単純ですが、少し優しくなったと思う
- ・正直短気な面があったがこの仕事をするにより穏やかになれた気がします
- ・高齢による体の変化や、認知力の低下等を抱える利用者とは日々向き合うことで先の危険を予測することが習慣になったように思います
- ・自身の家族や、将来を考える様になりました
- ・色々な角度から物事や相手を見れる様になれた
- ・時間を有効に使えるように考え、行動しています。5分、10分と短い時間でも自分に出来ることはないかと思えるようになりました
- ・精神的に強くなった
- ・入居者の方々と接する中で戦争の話など、教わる事が多く、人間的に成長出来たと思う
- ・物事を客観的に考えられるようになった
- ・人に対する見方

- ・介護の知識・経験を得たことで、高齢者の気持ちを理解できるようになった
- ・当たり前のように次また会えると思わなくなった。今利用者様の為にできることは何かと真剣に考えるようになった
- ・人と接する際先入観を持たないということ
- ・気付き
- ・仕事をする前は老人は全てひとくくりしていたが、今は車イスを使用している、独歩で歩ける、マヒがある、認知がある等、ADLを意識するようになった
- ・「常識」を少しずつ身に付け、「当たり前」について考えるようになったこと
- ・他の人の気持ち、立場になって考えられるようになった
- ・状況に応じた対応が身について、臨機応変ができるようになりました
- ・昔は、街中で高齢者を見ても何も思わなかったが、今は手伝ったりするようになった
- ・利用者様の目線に立って仕事にあたるようになった
- ・両親を大切にしなければと考える事が増えた
- ・街中で困っている人がいた時、自然と手伝いを申し出ていた。相手の立場になって物事を考えられるようになった
- ・人の生命に関わるという重さを感じ、命を大切にしようという思いが芽ばえた。他人との関わり方が変わった。自分の意見を通すのではなく全ての意見を収集した上で最良を探すという事…
- ・自分の意見が言えるようになった事
- ・色々なことに対し、気にしすぎなく、さらになった
- ・老人に対する意識
- ・今までは老後の事とかはあまり考えていなかったが、この仕事を始めて親の事、自分の事をよく考えるようになった
- ・死生観を持った
- ・認知症の方への対応を身につけた
- ・以前は、お年寄りと接することが好きだったが、今は仕事として割りきっている
- ・態度・言葉・行動に自信を持ち、人とコミュニケーションがとれるようになった
- ・自分の死について考えるようになった
- ・自分の祖父母や両親を大切にしようという気持ちが強くなった
- ・利用者様の表情などをよく見るよう心がけるようになったと思います
- ・ご入居者のことを、考えたより良い生活を、考えるようになった
- ・我慢強くなった気がします
- ・人と人との関係、交流の大切さを感じ、高齢期の方の人生に関わる仕事の責任の重さを感じた
- ・心身的に強くなれた。どこかで割り切りをつける事も大切なのだ学んだこと
- ・人の話をよく聞くようになった
- ・責任を持って仕事にのぞんでいる
- ・あまりかわっていないと思います
- ・お年寄りを敬うとは、どういうことか、深く考え、実践するようになったこと

- ・我慢強さ
- ・相手（利用者）の気持ちや立場を考え、行動するよう心がけてます
- ・電車などで高齢者をよく見る様になった
- ・自分自身をみつめなおしたり、考えたりすることができるようになった
- ・資格の取得や、新たな知識を得たいと思うようになった
- ・人とかかわることを意識できるようになれたと思う
- ・多少社交的になった
- ・その人の為に自分が、何が出来るか日々考えるようになった
- ・命の最後の在り方について
- ・介護技術の向上、介護負担の軽減。認知症を持つ利用者の周辺症状の対応ができる場合も少しだけあり
- ・お年寄りの方が大荷物をもって階段を登っている際に声をかけられるようになった。介護を通じて、介護士としても一人の人間としても自信がもてるようになった
- ・健康に気を配るようになった
- ・職員とのかかわり方
- ・日常の生活でも仕事のことを考えてしまう
- ・人との接し方
- ・人との関わりが大事、助け合う心
- ・高齢者に対する思いやり
- ・ほうれんそうの大切さ
- ・じっくりと状況を観察し考え行動することが出来るようになった
- ・気が長くなり、待つことができるようになった。
- ・自分の親や祖父のことを考えるようになった
- ・仕事は仕事として真剣に取り組んでいるが、それは、この仕事をやる以前と変わっていない。性格もそのままである
- ・職場でのチームワークの重要性がわかった。他人の気持ちを考える様になった
- ・利用者さんは、常に前向きに考え、くらしでいらっしゃいます。数々のトラブルがあっても“水に流す”努力をされ新しい関係をつくっていきます。そんなご利用者の皆様を尊敬し、私も見習って生きて行こうと思っています
- ・高齢者の方と接することで将来の自分を考える様になった
- ・コミュニケーション能力がついたことです
- ・偏見がなくなったように思う
- ・人生の大先輩と関わる事で今までの自分の価値観をより広くもたなければならぬ事を知り、視野が広がった。今まで当たり前だと思っていた事が出来なくなった人のつらさや苦しみを受け止める事は出来ないが寄り添う事の大切さを知る事ができた
- ・いろいろな事に対して余裕が持てるようになりました
- ・根気強くなった

- ・介護の仕事は自分には無理と思っていたが、実際にやってみると楽しいと思えるようになった
- ・変化については、ほとんど感じていません
- ・相手の気持ちを理解しようと努めた結果、感受性が豊かになり感性が研ぎ澄まされていった
- ・常にどんな状況においても穏やかでやさしい気持ちが保てるようになった
- ・自分の身内に対しても目線・視点が変わった。将来のことを深く考えるようになった。プライベートでも高齢者の方がいると目で追って気にかけるようになった
- ・価値観が変わったと思う。大変な時代を生きてきた人生の先輩達の話聞く機会が増え、考え方や生き方を学んでいると思う
- ・自分自身が大らかになったと思う
- ・両親、人に優しく接し感謝するようになった
- ・自分におきかえて、人の事を考えれるようになった。わがママが少なくなった
- ・相手の事を以前よりもっと思いやれる事が出来るようになった
- ・他に対して柔和になれた。自身の体調に気を配るようになった
- ・家族に、また関わる人々に少しでも優しくできるようになったと思う
- ・特になし
- ・仕事が嫌いになった
- ・介護の仕事をして成功した事、失敗した事、学んだ事、勉強した事をいろいろ経験できた事
- ・人生観が変わった
- ・相手の立場になって考えられる
- ・回りの事を良くも悪くも考えられる
- ・先の事を考えて行動する
- ・利用者との触れ合いで、人の気持ちや痛み、楽しむ事などの感情がさらに強くなりました
- ・職場以外でもお年寄りに声をかけるようになったこと
- ・周りの状況を見て動くことができるようになった
- ・介護技術向上
- ・人を思いやる気持ち、仲間との助け合いなど…
- ・気が長くなった。外で不自由な方を見る目が変わりました
- ・他人の気持ち、行動を理解しようとするようになった
- ・生きていることがあたりまえだと思わなくなったこと
- ・人に接することが不得手でなくなった
- ・人に優しく接する事ができるようになったと思います
- ・前に出て何かをするときなど、全く緊張しなくなった
- ・自分がよかれと思ってやっていたことが相手にとって不利益になることもある。そんな経験から相手のことを知り、どうすればその人の思いに近づけるか、その人らしく生活できるか考えるようになった 色々な角度から相手をみようとするようになった
- ・根気強くなった
- ・利用者の方だけでなく、他の職員の方の動きなど、広範囲に見れるようになったと思います

- ・受容を行うことで、相手の気持ちを受けることが以前より、分かりました
- ・社会人としての常識、行動など一から教えて頂き入社当時より身についてきたと思う
- ・特にない
- ・責任感を持つ
- ・死について考えることが多くなった
- ・自分の欠点を見直すことができた
- ・生活が不規則になったこと
- ・周囲の様子を観察し、変化に早く気付けるようになった
- ・自分がお年寄りの世話をしているのではなく、させて頂いており、たくさんの愛情をもらっているという気持ちになれたこと
- ・命について考えることが増えました
- ・緊張感 責任感} を持つ
- ・「仕事」という事に対して、深く考える様になりました
- ・福祉全体に対しての意識が高まったと思う
- ・困っている人を助けようとするようになった
- ・他人の人生を考えるようになった
- ・体力がついた。忍耐力、精神力が養われた
- ・個人を尊重した、効率だけでは決してうまくいかないという事
- ・色々な方々に接することで、人間としての幅が広がりました
- ・人の話を聞けるようになった。利用者の表情を観察できるようになった
- ・責任感、向上心
- ・特にない
- ・学生ころとは違い一つ一つの行動に責任をもって行動するようになりました。この仕事は一つのミスが命に関わるということを頭に入れ日々行動しています
- ・今までは主観的になり過ぎていたのが、この仕事をしてから何をしたら喜んで貰えるのかを、考えられる様になった
- ・初対面の方と話すことに抵抗が無くなりました
- ・常に落ち着いた第三者の視点を持てるようになった
- ・T P Oの使い分けの重要性を覚えた
- ・人の感情・言葉のありのままに受け止める様に（受け取られる様に）考える様になった所。今までそんな発想を持ったことさえなかった
- ・「相手の立場に立ち考える」ということを意識する機会が増え、常に思うようになりました。また、自分の意見や考えを明確にし、職員に伝えられるよう努力することを意識するようになりました

Q4 普段の仕事で大切にしていることはありますか。

- ・どんな時でも、優しさを忘れないことです
- ・介助は焦らず、業務はなるべく効率的に行う
- ・優しく見えたり、聞こえたりするような対応が、たいていの場合できるように、自分にいいきかせる
- ・利用者の整容その他、職場 清潔
- ・死が必ず訪れる、残りの人生を、どうすごしたいかを第一に考えたいと思っています。又、スタッフとのチームワークによって、その方の人生を左右してしまうこともあるので、皆でその方の一番を実現できるようなスタッフとのコミュニケーションを考えています
- ・介護の仕事に必要なものは柔軟な考えと気付く力、想像力だと思っています。この3つを大切に仕事しています
- ・利用者の意見をきく、話ができない人ほど、気持ちをくみとってあげる
- ・事故をおこさない
- ・ノーマライゼーション
- ・いつも笑顔で接していくこと、元気であること
- ・安全面に気をつけている。ゆっくりの必要の時はそう行い、一手間をおしまない
- ・利用者さんの話に耳を傾ける、気持ちを考えること
- ・親近感を持ってもらえる様にする。利用者が声を掛けやすい雰囲気大切に。一期一会の気持ちを大切に
- ・利用者の状況を理解し、できるだけ安心してできる様な対応
- ・高齢者への敬意。馴れ合いにならない様になっている
- ・職員間との連携、利用者支援の統一
- ・笑顔で、ていねいに接する
- ・皆さんが人生の先輩ですから尊厳を忘れずに
- ・人としての尊厳
- ・その瞬間を大切に
- ・思いやり。疲れている時こそ、客観的に自分を見ること。観察力
- ・笑顔
- ・職員間のあいさつ。互いを尊重する
- ・入居者のしてほしい事（忘れないでしてあげること）
- ・コミュニケーション
- ・コミュニケーション、レクリエーションの時間がとれない為、一つ一つの介助でコミュニケーションを取るよう心がけている
- ・丁寧な言葉遣いと話し方。気配り
- ・その人が死を迎える日まで、できるだけ笑顔でいられるよう接するようにしています
- ・笑顔で接する事。当たり前な事を当たり前にする
- ・利用者様対応の仕事なので、いつでも笑顔でいること。つかれや不調を表面化させない

- ・入居者本位で考える
- ・入居者の方々との話し合い
- ・利用者とのコミュニケーション
- ・平常心を保てるよう心がけています
- ・常に平穏な心の持ちようを保ち、何事にも動じない、心
- ・あせりを出さないこと
- ・楽しんでいただきたいと思っている
- ・姿勢、声かけの仕方など基本的なことが慣れで雑にならないよう注意しています
- ・視野を大きく持ち、気を配ること
- ・一緒に働く仲間や利用者及び家族の幸せが何か理解できる様にコミュニケーションの中から発見に努めている
- ・楽しくなるように
- ・なるべく丁寧な対応をする
- ・笑顔で接する事
- ・ご利用者に安心して生活を送って頂きたい。 私達のペースでなく、ご利用者のペース
- ・自分自身の感情を出さない
- ・チームで仕事をする事。チームワーク
- ・利用者者の想いに耳を傾ける「傾聴」の姿勢です
- ・自分にしかできない仕事を常に探し、入居者様に対して笑顔でいてもらえるようにしていること
- ・利用者に少しでも笑ってもらえる様接している
- ・ご利用者への安全な援助
- ・相手を笑顔にする。相手の笑顔を引き出す
- ・相手の気持ちを感じながら接する
- ・プライベートで何があっても職場では表情、行動に出さないことです
- ・自分がされたら嫌だと思ふ介助は絶対にしない
- ・出来るだけ、言葉以外での訴えかけや行動に気づき、根拠について考えながら、行っている
- ・安全対策と一言一言の大切なところ
- ・何事にも早く気づき、対応すること
- ・いつも笑顔でいたいと思うので、気持ちを追い込まない
- ・利用者の方が生活の中で笑顔を見せていただけるようにしています
- ・さりげないスキンシップと、にこやかに声かけをする
- ・利用者が笑顔になれるよう接し、対応する事
- ・チームケアに力を入れている
- ・お相手（入居者様）のペースにこちらがあわせる
- ・自分がされていやな事はしないように心掛ける
- ・利用者に対して常に敬意を払う
- ・ポジティブな気持ちと、情熱！

- ・直面する事態に対し、自分が出来る事をする
- ・人生の先輩である利用者様を尊重する気持ち
- ・人との関わりを大切に仕事をしている
- ・どんなに忙しい時でも、入居者の声（想い）に耳を傾けること
- ・ご利用者とのコミュニケーション、寄り添い、笑顔での対応
- ・一人一人に合った介護をする、利用者の思いをくみとる
- ・笑顔。ゆとりのある気持ちで接する
- ・笑顔で接すること
- ・相手に不快感を与えない様な言葉遣い、表情、態度
- ・ご利用者やそのご家族の気持ちを考えながら介護にあたること
- ・自分らしさを無くさずサービスに反映させる
- ・ご利用者に対して笑顔で接することと、もし訴えが聞かれた際は、足を止めて必ずお話を聞くようにしています
- ・利用者様が何を必要としているか？
- ・どんな時も笑顔で対応すること
- ・異変に早く気付く。周りをよく見て動く
- ・入居者様の笑顔
- ・お声掛けし、会話の中で、状態をさぐる。また、様子観察につとめ、気づきを見つける。我が身におきかえ、想像してみる
- ・平等に接する（入居者様も、職員も）
- ・基本に忠実。安心してもらい、笑顔を引き出す
- ・チームワークを大切にしながら常に向上心を持つこと
- ・心地よいサービスの提供
- ・利用者とのコミュニケーション時間を増やすこと
- ・笑顔でいること。少しでも多くの時間利用者が笑顔 楽しんでもらうこと
- ・自分がされて嫌なことは相手にもしない
- ・相手の立場にたって物言を考えるようにしている
- ・よく周りを見る事、その人の個性に合った支援
- ・入居者の方、職員とのコミュニケーション
- ・入居者様との関わりの中で体調の変化や、ニーズ等を収集できるよう、コミュニケーションをとる際は、入居者様、全体を見て話すよう心掛けています
- ・どんなに疲れている時でも業務中や、入居者様と関わる時は笑顔を大切にしています
- ・挨拶、礼儀、気配り、気づき
- ・毎日が同じだと思わずに利用者の方たちと関わるようにして変化に気づけるように意識している
- ・現在はショートステイで働いているため主の事だけでなく家族や他の福祉サービスとの連携又、利用者の目線にたった援助を心掛けています
- ・一日一回フロアの利用者全員で笑顔で会話、声かけをする

- ・目配り、気配り、声かけ
- ・自分に出来ることは一所懸命にやる
- ・利用者さんが出来ることはなるべくしてもらおう
- ・忙しい時でも、それを表に出さず、心に余裕を持つ事
- ・初心と笑顔を忘れない、遊び心と楽しむ事
- ・笑顔を忘れず、丁寧な言葉かけを行うよう心がけている。仕事に私情をはさまない
- ・「1」で述べたように、どんな時にも、真心を込めて対応する。明日後悔しないよう行動する
- ・利用者に頼まれ事を受けた際には、出来るだけ断わらない様にすぐ対応する様にしています
- ・「無理」「ダメ」を言わないようにしている
- ・相手の立場にたち考えるように心掛けています
- ・イライラしても笑顔で接する。健康であること
- ・自分がイヤだと感じることは人にしない
- ・時間がある時、ご利用者様との会話を楽しむ
- ・忙しい時でも短い時間でもご利用者の方とのコミュニケーションを取れるように心掛けています
- ・利用者も自分も楽にできるように
- ・ほうれんそう（報告・連絡・相談）
- ・やさしく対応。いつも笑顔でいられる様努めている
- ・思いやりとコミュニケーション
- ・職員教育
- ・利用者様に対し、仕事に追われると表情や言葉使いなどが良くないことがあるが、そこを意識的に気をつけるよう心がけている
- ・丁寧な対応を心がけ、信頼関係を大切にしたいと考えている
- ・利用者への笑顔を忘れない
- ・観察力、丁寧
- ・利用者の方の前では、常に笑顔で接する事。当たり前のことですが、常に大切にしています
- ・人とのかかわり（一期一会）
- ・利用者の立場に立ってケアをすること
- ・言葉遣いに気を付けている
- ・言葉使い
- ・利用者本位になる様に心かけている
- ・利用者とのコミュニケーション、声かけ
- ・ご利用者が一瞬でも笑顔となってもらえるよう話しかけや働きかけをしている
- ・作業にしないこと、限られた時間の中でコミュニケーションをとること
- ・利用者、職員問わずコミュニケーションを大切にしています
- ・常に笑顔でいる事を心掛け、ご利用者様にも笑顔で過ごして頂きたいのでコミュニケーションを取る時間を大切にしている
- ・あいさつ、明るく元気に人と接すること

- ・基本、自分が言われたり、されたりして嫌だと思わない
- ・ご利用者、職員への声かけ、いつも見ていますよ、気にしていますよという気持ちが伝えられるようできる限り声かけするよう努めている。笑顔で接し笑顔を引き出すこと
- ・利用者様を第一に考える事
- ・利用者様の笑顔
- ・笑顔で接すること。気になる言動や行動に対する根拠立て
- ・最低でも一日一回は起きる（寝かせきりにしない）話す、笑うこと
- ・ご利用者の安全のため、所在確認や見守りに気をつけている。できるだけ笑顔で穏やかでいるよう心がけている
- ・初心を忘れないこと。利用者になんときも優しくいること。あまり暗い顔はしないこと
- ・計画を立てる
- ・プロとして、その方と向き合うという事
- ・職員、ご利用者とのコミュニケーションを大切にしています
- ・観察力とチームワークとモチベーション
- ・（利用者対し）可能な範囲で自由にしてもらえたらいいと思っている。過度な干渉はせず、口出ししない
- ・仕事とプライベートのON・OFFをしっかりとる
- ・全ての人に対し笑顔で挨拶
- ・笑顔を心掛けること
- ・利用者が今何をしたいのかを考え、どう対応すれば良いか考えていく事
- ・信頼関係が築けるよう、利用者の思いや呼吸を感じ、いつも笑顔で接するように心がけている
- ・私情を持ち込まない。笑顔を心掛け会話を大切に。プロとして意識する
- ・ご利用者さんが生活しやすい空間を作ること。短時間でもご利用者さんとコミュニケーションを図ること
- ・利用者の行動の一つひとつに対して、どのような思いでその行為に至ったのか気持ちをくみ取り、共感することです
- ・お声かけには気をつけています
- ・利用者の目線で接し物事を考える
- ・人に興味を持つことです
- ・なるべく明るく、多くの利用者に目をくばる事
- ・一期一会だと思い、その時を大切にすること
- ・利用者に関わる時は目線を合わせ、介助する際は同意を得られるように声かけする。利用者の尊厳を大切に出来るよう行動する
- ・「自分が介助される立場だとしたら」を考えて介助している
- ・笑顔、コミュニケーション
- ・常に笑顔
- ・人に寄り添うこと

- ・利用者の人権を尊重し、楽しく生活ができるよう勤めている
- ・あせらず笑顔で接すること
- ・明るく接する事を心掛けています
- ・目上の方に対しての言葉遣い。お客様に不快な思いをさせない様心掛けています
- ・言葉遣い
- ・初心
- ・利用者様を知る事。優しさ。落ち着いて行動する
- ・職員目線での仕事ではなく、利用者様目線での対応を心掛けている
- ・入居者の当たり前を考える
- ・他の人の気持ちになって考えること
- ・ネガティブな発言をしないようにしています
- ・笑顔を心がけている
- ・介助を行う際に、こちらがしてあげているのではなく、させて頂いているという気持ちで仕事にあたること
- ・ケガや事故の起きない介助を心がけている
- ・相手に良い印象を持ってもらうこと
- ・入居者・職員の全員が楽しく過ごせるように環境整備を行う。手厚いだけでなく、効率も考えて動く
- ・常に自分が正しいわけではない。方法も1つだけではない。物事には根拠がある為それを探す事
- ・利用者様が1日1日を穏やかに過ごせるようにこころがける
- ・利用者が安全に生活できるようにすること
- ・利用者の安心と安全
- ・利用者様の意思を尊重し、個別のケアを行っている
- ・言葉使い 丁寧な対応
- ・出来るだけ時間を作り利用者とお話をする
- ・思いやり、優しさ、冷静さ
- ・思いやりを持って接する。怒らないようにしている
- ・安全・安楽・声かけ
- ・笑顔
- ・ていねいにする。あせらない
- ・丁寧な言葉づかい
- ・利用者様との関わり方を考えること。失敗した時は、しっかり謝罪と反省を行い、次のケア・関わりにつなげる
- ・ご入居者の方が何を求めているのかを配慮した介護
- ・笑顔 言葉遣い、尊敬
- ・最後までその人らしく、自施設で過ごせた最後が良かったと、入居者・家族が感じてもらえることを大切にしています

- ・落ちついて冷静に考えること
- ・笑顔（利用者、自分）
- ・利用者の方の笑顔
- ・入苑者様主体
- ・リスク管理
- ・おもいやり
- ・相手の気持ちをコントロールしない。相手の気持ちを受け入れる
- ・「また明日」という言葉が通用しないこと。その場、その場で全力を尽くす
- ・利用者に寄り添うこと
- ・失礼のないよう声かけ・介助を行う
- ・言葉遣い
- ・その人その人の価値観や人生観
- ・職員に対しても気配りを忘れないこと
- ・相手の気持ちを大切にする
- ・コミュニケーションのとり方は一番大切にしている
- ・大きな声で挨拶、笑顔 1人1人に声かけ
- ・自分がされて嫌な事はしない
- ・スタッフの意見を聞くこと
- ・笑顔。安心した声かけ。利用者1日1日無事故でいてもらいたい
- ・なるべくていねいな言葉づかいをこころがける 必ず声かけしてから介助を行う
- ・常に相手の事を考えて行動する事

“笑顔”です。認知症のある利用者様へは、言葉や行動よりも、一番初めに伝わるのは、表情だと思っています。一目でも、多く利用者様には笑顔で過ごしてもらいたい。笑顔を大切にした関わりをしています

- ・チームワーク、ていねいな言葉づかい
- ・入居者様の笑いと笑顔
- ・思いやりと笑顔を絶やさない、モチベーションを維持する
- ・入居者をちゃん付けで呼ばない、人生の先輩であることを忘れない
- ・暴言をあびても認知と思い、その方にあったケアを心掛ける
- ・ご利用者様が1日1日を、穏やかに過ごせるようなケアを心がけている
- ・あいさつ、話し方、接し方
- ・利用者に対して、威圧的にならないように、人として対等であるということ
- ・平常心
- ・1人の人であることを忘れずに接する
- ・手を抜かない、私情を挟まない、段取りを意識する、学びの姿勢
- ・笑顔で人と接する
- ・笑顔で声かけ。利用者さんには真剣に精一杯向き合う

- ・なるべく柔らかい声掛けを心掛けている
- ・挨拶、笑顔、コミュニケーションを積極的にとることです
- ・利用者の変化に気づけるようにする
- ・当たり前の事を行う事、普段私達が生活をし、当たり前に行っている事が出来なくなった時、初めて当たり前でなかった事を知る。介助者として当たり前の事が出来なくなった人に当たり前の生活を提供する事 私達の当たり前は当たり前ではない
- ・時間があるときはご利用者とのコミュニケーションを大切にしています
- ・笑顔
- ・自分自身も楽しみ入居者も楽しいと思ってもらえるように考えている
- ・笑顔でいること、そして時には役者になること
- ・他人の痛みを重んじ自分の痛みとして共感する気持ち
- ・穏やかな気持ちで接する。自立性を促す（出来る事は自身で行なう）
- ・なるべく常に落ち着いた様子でいること。職員の気持ちや様子はすぐに利用者様に伝わるので、穏やかに過ごしていただけるよう慌てず、騒がず、を心掛けている
- ・一番大切にしているのは、コミュニケーション。個人の性格や個性に気をつけ、信頼関係を築く事を大切にしている
- ・自己の体調管理
- ・接遇、家族の気持ちになる
- ・平等
- ・どんな時でも、利用者様の前では明るく元気に笑顔で居る事
- ・事前に準備できることはしておき、ゆとりを持って仕事ができるよう心掛けている
- ・相手の立場に立って物を考える
- ・利用者様への気配り
- ・利用者を不穏にさせないように落ち着いて（自分が）仕事をする
- ・利用者様に頼まれた事は即実施する。なるべく後まわしにしない
- ・私自身が何があっても取り乱さない事
- ・入居者の方は人生の大先輩である事。言葉遣い、表情には気を付ける
- ・利用者さんが、少しでも楽しんで過ごしていけるように、気遣い気配り
- ・利用者の目線で話を聞き、笑顔をたやさないこと
- ・仕事に入る前に情報収集を行い、ミスのないようにすること
- ・職員間の連携 利用者様の意思尊重
- ・初心、謙虚、感謝、思いやり
- ・いつも明るく、どんな仕事でもイヤがらない
- ・コミュニケーションを行う事
- ・個別のケアを大切にしている
- ・平等に、日々利用者の変化を見逃さないように気をつけています
- ・事故をおこさない事。より良いサービスが提供できるにはどうすれば良いのか

- ・情報管理、共通認識、サービスマナー
- ・職員の都合で考えない。「施設はご利用者の生活の場」と考えること
- ・常に相手を考え援助する事。そしてチームでそれをとりくむことを大事にしております
- ・相手の目線、ペースに合わせる。ダメな事は「ダメ」と言い、説明する
- ・仕事ではなく、楽しめる（自分も利用者も）ように感じられるよう心に余裕を持てるように頑張っています
- ・1ケアを行なう事で何につながるかを考えています
- ・上司や先輩方に指導して頂く際は謙虚な気持ちで教わる
- ・特にない
- ・受容
- ・いろいろな方にお会いするので挨拶をしっかりすること
- ・相手に合わせ、相手を不快にさせない事
- ・体調管理（自分自身の）
- ・少しでもご利用者様の望む生活に近付けるようお手伝いをする
- ・できるだけ、一人一人のペースに合わせた介護をすること
- ・入居者様の笑顔を増やすこと
- ・色々な人の立場になり、物事を考えること。笑顔
- ・相手の立場に立った、考える様に努めています
- ・笑顔と傾聴
- ・広い心をもつこと
- ・御利用者とのコミュニケーション
- ・利用者の言葉をよく聞くこと。共感すること。マナーや利用者の身だしなみ等
- ・笑顔と相手の話を良く聴くこと
- ・迅速に対応すること。「ちょっと待ってて」となるべく言わないこと
- ・忙しくても、立ち止まって目線を合わせて話しを聞くよう心がけています
- ・利用者とのコミュニケーション
- ・事故を起こさない
- ・事故を起こさない
- ・人生の大先輩である入居者様のお世話をさせて頂いているということをわすれず思いやりや尊厳の心を持ち介助を行っています
- ・ご利用者と一緒に働く仲間
- ・苦痛なく楽しく
- ・言葉遣いや相手の気持を理解するように心がけています
- ・毎日利用者さんと会う
- ・自分の仕事は妥協しない
- ・分かりやすい言葉・表現で伝える事。大きな声・低い声・身ぶり手ぶりなどで工夫する様にしている

- ・相手の立場に立ち、ものごとを考えること、捉えることを心がけて仕事をしています。また、親身に接し、安心感を持っていただけるように対応することを大切にしています

Q5 職場で人間関係を円滑にするために工夫していることがありますか。

- ・自分から進んで声掛けをして行くことです
- ・積極的に笑顔で話しをするようにしている
- ・必死に仕事をやる
- ・職員同士の声かけ
- ・スタッフが、どんなことに趣味があり、どんなことが好きなのか、何が苦手なのかを、できるだけ知り、そのスタッフさんが、生き生きと働けるように、好きなことを仕事でいかせる環境をつくりたいと思います
- ・どんなに小さな事でも相手に対して「ありがとう」という言葉を伝えるようにしている
- ・コミュニケーションを大切にする
- ・人の話を聞く事
- ・気づいたことや早く知った情報は同じ業務の時に伝えている
- ・声に耳を、傾ける。(満足のいく事は、あまりないがあきらめる)
- ・ムダ話にならない様気をつけている。あまり混んだ話をしていない
- ・昼食は一緒にとる、あいさつをする
- ・コミュニケーションを多くとる
- ・コミュニケーションを取る
- ・お互い助け合っフォローする
- ・かしこまった場に限らず、日々の業務以外でも、会話の中で、様子を聴く。情報の共有
- ・あいさつ、笑顔
- ・その人の聞き手になる事
- ・ワーカーとして捉えるばかりでなく全人格を理解するよう努める
- ・話しかける、話を聞く
- ・「ありがとう」「お疲れ様」「あまり無理しないでね」等、労る声掛けをするようにしています。
- ・笑顔。互いを尊重する
- ・思いやりの心、お互い様という気持ちでしています
- ・コミュニケーション
- ・職員と利用者様のちょっとした変化を話す等、職員間でのコミュニケーションを大切にしている。
- ・中間管理職の為、定期的に職員への声掛けをしている
- ・工夫はしていませんが、どんな内容でもとりあえず話は聞くようにしています
- ・相手の話をしっかりと受け入れる
- ・自らあいさつする。違うセクションの方やパートさんにも必ずていねいにあいさつをする
- ・苦手意識をもたないこと
- ・情報の共有を図れるようにノート等でやりとりをしている
- ・報告、連絡、相談を密にする。(コミュニケーションをとる)
- ・あいさつを元気よくきちんとする
- ・コミュニケーションを多くとることを心掛けている

- ・話をすること、誉めること、質問してやってみること
- ・挨拶、周囲の様子を見て仕事量に傾りがないう声かけ、手伝いをしていく
- ・色々な職員さんと現状について話しを聞く
- ・色々な人と交流をふかめるように心がけている
- ・自らあいさつを行う
- ・皆さんが良くして下さるのでありません
- ・あるなら…細めに話をすること　そこで情報収集できる
- ・「ありがとう」など仲間に言葉や態度で伝えています
- ・報告・連絡・相談（ホウ・レン・ソウ）を大切にしています
- ・先輩方の意見はまず第1に受け取り、次に同じ失敗がないように活かす。又食事に行ったりしてたくさん話すこと
- ・挨拶をする。協調性を持ち行動する
- ・どんな時でもありがとうと伝えるようにしています
- ・スタッフとのコミュニケーションを取る（声かけ・相談など）
- ・職場内で声をかけ合ってお互いに協力するようにしています
- ・休憩時間や、仕事時間外は、プライベートな話題でラフに話している
- ・積極的にコミュニケーションをとる
- ・たくさんの方の意見をきき、誰もが悪い気分にならないようにすること
- ・困った事や疑問に感じる事は、その場で、他業種の職員を交え、相談する
- ・1人1人を気づかう声かけ、一言を心掛けています
- ・自分がわかっている事柄でも、あえて聞いてみると、相手も沢山の事を話してくれる
- ・感謝の言葉を忘れない事
- ・意見を伝える時に、伝え方は気をつけていきたいと思っている
- ・平常心を保つように心掛けてます
- ・あいさつをする
- ・感謝の気持ちをもつ。批判だけの意見をしない
- ・職場での職員間ストレスの軽減
- ・報告、連絡、相談を基本とし、コミュニケーションも大切にしている
- ・自分の方から話しかける
- ・職場内では職員と話をするように心掛け、勤務外では釣りやカラオケなど共通の趣味を通じて出掛けていること
- ・コミュニケーション、お互い協力し合う精神、笑顔でいること
- ・コミュニケーションをとる。お互いを思いやる、助け合う
- ・メモだけで伝えるのではなく、直接伝達し意見を出し合うこと
- ・アサーティブなコミュニケーションを学習中。「私は－思う。」と伝えることを意識している
- ・工夫していることは特にありませんが、基本を大切にしています（あいさつ、感謝を伝える等）
- ・一人で勝手に行動せず、相談や報告をしてから行動にうつすこと

- ・あいさつ、笑顔、楽しく何でも言い合える仲をつくる
- ・人見知りな性格なのですが、なるべくスタッフとはコミュニケーションをとるようにしています。業務内容を相談したり、検討事項等があれば気兼ねなく相談できるのかなと思います
- ・いつも笑顔でいられるように考えている
- ・挨拶は丁寧に元気良くする
- ・「ごめんなさい」と「ありがとうございます」の言葉はしっかりと伝える
- ・少しの事でも報告したり相談したりしている
- ・笑顔で声掛けをする。命令的や威圧的にならないよう、促す様に心掛けている
- ・自分が、手本となったり、ピエロになったり…
- ・聞き上手になる
- ・挨拶をきちんとして笑顔で接すること
- ・感謝を伝える。話を聞く時間を作る
- ・思ったことをすぐには口に出さない
- ・笑顔でいること。常に相手を思いやる気持ちを忘れないこと
- ・割り切る事
- ・励みの言葉かけ、あいさつを意識している
- ・基本的な事ですが必ず職員の間を見て挨拶をする事を気をつけています。また、疑問に思った事は、すぐにその場で話し合い、共通の認識を持てるようにしています
- ・元気な挨拶、元気な返事を心掛けています
- ・組織の中の小さな歯車となり、支え合う事
- ・仕事と休憩時間のメリハリはつけるようにしている
- ・自分の担当業務だけでなく全体をフォローし職員・パート職員に声かけを多くし、他の業務も理解するようにしている
- ・職員間のコミュニケーションを大切にしている。(一人一人と会話をする時間もうけるように努力はしている)
- ・明るいあいさつ、声かけやすい雰囲気になっているつもり…です
- ・あいさつ、飲み会、委員会、勉強会でそれぞれの意見をいう
- ・頭ごなしに否定しない事、共通の話題を持つ事
- ・新人職員に対しては、自分が年齢的にも一番近い為、身近な存在になれるよう、仕事だけでなく職場と限らず、笑顔で、相手の立場を考え、言動に注意する。次に何をすべきかと考え行動する
- ・頼まれ事は出来るだけ受ける様にしています
- ・後輩や部下を褒めるようにしたいとは思っている
- ・声かけと迷うことがあったら他の職員に相談をして、会話を大事にしています
- ・言葉遣い(表現の言い回し)・雑談・注意するだけでなく良い事も言う
- ・人の意見になるべくさからわない
- ・挨拶を必ず行なう。他職員の意見を受けとめる客観性
- ・伝達はしっかりと行う。大変そうな時には助け合い、協力して仕事をしている

- ・当たり前的事だが、挨拶をする、コミュニケーションをはかる
- ・人の悪口は言わず、笑顔でいられる様努めている。仕事の手はぬかない
- ・挨拶と情報共有
- ・職員とのコミュニケーションはまめに行う
- ・業務の引き継ぎや、重要なことは必ず口頭で伝えるようにする
- ・自分から声をかけ、話し易い雰囲気作りに努めている
- ・質問を多くする
- ・感謝の気持ち
- ・細めな声掛け、お互い話す事でその日その日共有していけると思います
- ・進んでコミュニケーションをとっていくこと
- ・門の立たないよう接する
- ・他の職員に気を使いながら合わせるようにしてます
- ・聞き役になる
- ・工夫ではないがコミュニケーションが大切
- ・主任という立場もあり、職員とは多くコミュニケーションをとるようにしている
- ・あいさつ・コミュニケーションをとる。大変なとき忙しそうなき声をかける
- ・職員間の中に立ち、中立に対応します。指摘や指示された時、すぐに対応します。対応が難しい場合も、一旦持ち返り、検討します
- ・何かあった際には話をしっかりと聞き、皆で話合う時間を作る、等している
- ・1人の意見もそうだが、皆の意見を聞き入れ、行動、実行していくこと
- ・注意することが一つあるとしたら、良いところを2つ見つける
- ・笑顔を大切にしています。職員の悩みについては、自分なりに真剣に受けとめ、他からの情報も大切にしています。出来るだけ早めに話し、悩みをため込まないよう、見方を変える、良い所をほめる、自分の経験を話す等している
- ・コミュニケーションを密に図る事
- ・笑える環境作り
- ・相手の意見を共感する気持ちをもって聞く
- ・挨拶、感謝の気持ちを言葉で伝える。世話話をする
- ・挨拶を大切にしている。報告、連絡、相談もすぐに行なっている
- ・特に。仕事にとらわれすぎず、休憩中などはたくさん話すこと。相談もたくさんする
- ・よく話しかけるようにする
- ・新人職員からベテランまで、考えている事を聞く姿勢を持つ事
- ・いろんな人から話を聴く。小さな事でも声を掛け合う
- ・話を聞く、コミュニケーション
- ・こまめなコミュニケーションを図り、本人の現在の状態や心境を常に把握できるよう努めている
- ・コミュニケーションをとり話しをするようにしています。笑顔で接すること、感謝の気持ちを持って話してます

- ・疑問に思ったら発言しどう改善出来るか考える事
- ・あいさつ。職員間での報・連・相
- ・相手の話を聞く。必ず挨拶は自分からを心掛ける
- ・自分から笑顔で挨拶をすること・言われたことに対して、きちんと反応することです。基本的なことが当たり前できるように意識しています
- ・自分と年齢がはなれている人ばかりの職場ですが、自分からコミュニケーションを取るように心がけています
- ・立場的に話しかけずらいこともある為極力自分から話しかけている
- ・率先して動くことを心がけます
- ・常に他スタッフにも感謝の気持ちを持つ事、何かやってもらったら言葉にして伝える事
- ・笑顔で接すること。相手の様子や立場をしっかりと汲み取ること
- ・挨拶は自分から笑顔で行うことです。また、理解できていないことは他職員に聞き、わからないままにしないようにしています
- ・元気に挨拶する
- ・コミュニケーション
- ・リーダーとして職員との会話、笑顔になってもらうための会話
- ・何でも話しやすい、相談しやすい雰囲気を作っている
- ・お礼を忘れない。謝ることも忘れない。わからないことは相談する。周りの動きを把握し協力する
- ・日々のコミュニケーションを大切にしています
- ・挨拶をきちんと行う。返事は大きな声でハキハキと行う
- ・先入観を持たないということ
- ・なるだけ嫌な顔をしない
- ・コミュニケーションをなるべく取る様にする。(会話の初めは自分から等)
- ・表情に気を付けている
- ・少しでも時間があれば、コミュニケーションをとっている
- ・仕事だけでなくプライベートの話も交えて話をしたりコミュニケーションをよくとります
- ・仕事の話以外でコミュニケーションをとっている
- ・元気の挨拶
- ・できるだけコミュニケーションをとることにしている。感謝の気持ちを伝える
- ・相手の話は、まず聞く
- ・仕事終わり、昼休憩では、くだらない雑談をする。悩み事などは皆の意見を聞く。食事会や飲み会に参加する
- ・自分を押しつけない。その人の意見をまず聞く
- ・仕事とは関係ない話などしてコミュニケーションをとる
- ・色々な事に対して気にしすぎない。あいさつをしっかりとる
- ・コミュニケーション

- ・フロア会議を開き意見情報の共有を行っている
- ・必ず目を見てあいさつ。声掛けを行う
- ・出来るだけ、仕事の事を家に持ちかえらず家では気分を変え、仕事場に来るようにしている
- ・十人十色であることを常に頭に置いている
- ・あいさつを、きちんとする
- ・自分から話しかける。協力する。前後の業務を考えて行動する
- ・あいさつ
- ・話を聞く
- ・悪口は言わない。聞かない
- ・報告・連絡・相談をしっかり行い、情報共有につとめていくこと
- ・感謝の気持ちをお伝えするようにしています
- ・食事などお誘いは基本断らないようにしている
- ・日々のコミュニケーション
- ・体調が悪い人、新人さんに声かけする様に心がけている
- ・あいさつ・コミュニケーション
- ・職員の話しを良く聞く様に心掛ける
- ・なるべくコミュニケーションを取るようにしています
- ・周りはふまっぱっかりで変わる気がない
- ・お互いに正しい仕事をしあうよう働きかけている
- ・笑顔でまずは受け止める
- ・Noだが、挨拶や「ありがとう」の感謝の言葉は忘れない様に声を出す。工夫でなく当たり前の事
- ・情報を職員間で共有し合うこと、お互いサポートをし合うこと
- ・外食に行く
- ・人の話しに耳をかたむけ、コミュニケーションをとる
- ・話し合いの場では、反対意見等もはっきりという。けれど、相手の意見をもきちんと聞くようにしている
- ・あせらないように意識している。相手の話をきく
- ・一応上司にあたる役職なので雰囲気が悪くならないよう心掛けている
- ・最低でも30分前には出勤、状況把握。明るく元気に仕事をする
- ・相談係を設けている
- ・情報収集
- ・後輩にはコミュニケーションとれやすい、声かけしている。先輩にはできる限り、ミスが少ないように仕事を動く。先輩の多業務で動けない時に自分が動く
- ・他の職員の話聞く
- ・他の職員の文句を言わない
- ・様々な人の意見を聞く。一方の話だけだと、自分の中でも先入観をもってしまうこともあるので、

相手側の意見などもなるべく聞けるようコミュニケーションをしている

- ・よく相手の話を聞く。ねぎらいの言葉をかける
- ・職員1人1人のやり方や性格にあわせてやっている
- ・職員間でも思いやりと笑顔で接する
- ・一人ひとりの意見（言葉）に耳を傾ける
- ・話しかけられやすくする為に、笑顔でグチは言わない
- ・普段からコミュニケーションをはかるように心がけている
- ・ほう・れん・そう。心配な時は必ずメモを（相手へ）残す
- ・何でも話す。笑顔でいる。心を開く
- ・話をとにかく聞くこと
- ・こまめに声掛けをする
- ・まずは、相手を肯定する。頭ごなしの行動を慎む、声のトーンに気を配る
- ・相手の気持ちを考え、又意見もしっかりと聞く
- ・その人の思いを知るために、話を聞く努力をしています。又“自信”を持って仕事にあたるようなアドバイスを心がけています
- ・コミュニケーションを図り、しっかり意見交換を行うこと。報・連・相を行うことです
- ・報・連・相をしっかり行う
- ・仕事上の連携や情報の共有を密に行う事、一人ひとりの職員の視点だからこそ発見できた事を共有する事が人間関係にも反映される
- ・声掛けを多くしている
- ・「ありがとう」という気持ちを伝えるようにしている
- ・職員が疲れ切らないようにしている（肉体的にも精神的にも）
- ・相手の人格を尊重して接している
- ・人間関係は特別悪くないので工夫する事はありません
- ・挨拶は会う度に行う。普段のコミュニケーションから雑談を混じえたりして仲良くしていく。何か訴える人がいたらとりあえず話を聞く
- ・職員1人ひとりの不満やストレスがたまってしまわないよう、声をかけるようにしている。共感しつつも、やるべき事は何か考えてもらえるような話をするようにしている
- ・できるだけ、雑談でも良いので話すようにしています
- ・苦手な相手でも雑談など、会話をもつ
- ・考えている事、思っている事を提案してもらい取り入れ、やり甲斐を持ってもらう
- ・出来ていない所は声をかけ合って協力しながら仕事をしている
- ・自分から挨拶をするようにし、感謝の気持ちを多く伝えるようにしている
- ・笑顔で、きちんと声を出して挨拶をする
- ・積極的にコミュニケーションをとる
- ・挨拶は自分から行う
- ・何かあった時は、話し合いをするようにしています

- ・常に笑顔で愛想よくすること
- ・笑顔をたやさないこと
- ・悩み相談。元気良く挨拶をする
- ・1人の意見だけを聞かずみんなの意見を大事にする。コミュニケーションなど…
- ・職員どうしのトラブルがあった時は、両方の気持ち意見を聞くようにしている
- ・礼を忘れない
- ・話しかける
- ・情報共有し、会話をするようにしている
- ・怒らないように、冷静になるべく笑顔で接する
- ・職員間のサービスマナー 公平性
- ・職員の年齢にかかわらず、違う事は違うとはっきり言う。えこひいきはしない
- ・ものごとを主観ではなく客観的にみるようにしております。相手に伝える時は、相手を考えながら関わっております
- ・相手の話をまず聞き、活用できる様に考える
- ・お互いに自分の考えを言い合えるように、色々な人とコミュニケーションを図り、紙でも言葉でも伝えあうようにしています
- ・程よい関係を自らきずきあげる事
- ・謙虚な気持ちを忘れない事
- ・特にない
- ・仕事以外の話で、笑える話を提供している。(気軽に悩みを相談してもらい、関係性を作る為)
- ・注意する事もあるが、(職員に対し) 良いことは、良いと言うようにしている
- ・食事へ行きプライベートでも仲良くする
- ・なるべくあいさつをする
- ・あいさつをしっかりとる
- ・会話を通して、それぞれの考えや気持ちが少しでも分かりあえるよう積極的にコミュニケーションと取るようにしている
- ・あいさつと、笑顔、元気よく
- ・工夫ではないですが、コミュニケーションはたくさんとるようにしています
- ・密なコミュニケーション、報告等
- ・多くコミュニケーションを取る様にしています
- ・個人を尊重し、笑顔でコミュニケーションを取る
- ・傾聴 挨拶、リスペクトの気持ちを大事に接する(御利用者でも同じ)
- ・職場関係だけでなく、色々なことに興味をもち、様々な情報を集める
- ・その日の出勤者とは、必ず一言でも会話を心がけています
- ・自身の笑顔
- ・笑顔が、なるべくできるようにコミュニケーションを図っています
- ・情報の共有、コミュニケーション

- ・ 個々の人間性を生かす
- ・ 相手のことを良く知る
- ・ 職場の方々はいい方ばかりなので工夫などはしませんでした。元氣よく挨拶することは日々心がけています
- ・ 日々の業務をマンネリ化させる事なく、職員同士様々な声掛けをし合う
- ・ できる限り自主性を重視して否定をひかえる
- ・ ちょっとした冗談を言ったり、雰囲気が和むように心がけています
- ・ 笑顔 声かけ 感謝
- ・ 笑顔であいさつ
- ・ 自分に出来る仕事など、可能な限り他職員の方のお手伝いをする様にしている。けど気づかない点多々あるので100%役に立っているとは言えないです… 出来る事は協力したいと思っている
- ・ 他職種・同職種問わず、相手の意見や考えを真剣に聞き、共感すること、違う意見であれば受容した後、自分の意見を言うようにしています。常に笑顔を心がけています

Q6 将来の目標がありましたら教えてください。

【資格】

- ・介護福祉士の資格を取得することです
- ・ケアマネや音楽療法の資格を取れたら良いなと思っています
- ・ケアマネをめざし
- ・近い目標は介護福祉士の資格取得
- ・資格を取得し、離島の施設で働く
- ・とれる資格は取得する
- ・特にありません。社会福祉士の資格取得後、相談業務に携わりたいと考えています
- ・ケアマネの資格をとる
- ・介護福祉士、ケアマネの資格を取る
- ・看護師か、今いる施設で働いている相談員やケアマネのようになりたいです
- ・スキルアップの為、外部への研修等に参加していきたい。 資格を取得していきたい
- ・介護福祉士を取り、祖父母の介護をしたい
- ・介護福祉士の資格を取得し、日々成長する事
- ・今は特別無いが、あえて言えば今後ケアマネの資格を取得したい
- ・ケアマネ資格取得
- ・医療関係の仕事に就きたい
- ・ケアマネ
- ・少しでも多くのお年寄り、また、その家族が笑顔で生活が出来るように援助していく。現地点では社会福祉士として地域包括支援センターに
- ・ケアマネの取得
- ・実務経験を5年積み、介護支援専門員の資格を取ろうと思っています
- ・遅いけど介護支援専門員を目指す
- ・ケアマネジャーの資格を取得し、相談援助業務に就くことを目標としています
- ・社会福祉士を修得したいです
- ・ケアマネ資格取得
- ・仕事をする上で、自分に足りない知識や今後の介護に必要な資格があれば積極的に取り入れていきたい
- ・ケアマネージャー取得
- ・介護士としてのスキルを上げる（介護福祉士を取得する）
- ・介護福祉士の資格を取ること
- ・介護福祉士の資格取得
- ・専門学校講師になる事
- ・ケアマネージャーの資格を取って業務に活かしていく
- ・ケアマネージャーの資格を取り、色々な視点から利用者の役に立つ

- ・近い将来の目標として、介護福祉士の資格取得を目指し、知識・技術を学んでいます
- ・近い目標として介護福祉士の取得
- ・まず介護福祉士の資格はぜひとりたいです
- ・社会福祉士の資格ととりたいと思っている
- ・ケアマネ等の資格をとり、現場より上の所で働くこと
- ・ケアマネージャーの資格取得
- ・ケアマネージャーの資格を取得すること
- ・社福を取り、相談員になって、さらにケアマネを取りケアマネジャーになること
- ・ケアマネジャー
- ・(目標) 介護支援専門員としてその人に合ったその人らしいケアプランをたてることができる
- ・直近の目標としては資格の取得
- ・資格(ケアマネ等)はとりたいが、現場で働きたい
- ・介護福祉士の資格取得。今度は社会福祉士と介護支援専門員の試験に合格できるように目指す
- ・とりあえず住福祉コーディネーターの資格をとる
- ・ケアマネの取得、安心出来る介護
- ・ケアマネ等の資格を取得し様々な方向からお年寄りを支援していきたい
- ・ソーシャルワーカーとして広い視野で関わりたい
- ・社会福祉士になり老人福祉に限らず様々な分野で活躍したい
- ・社会福祉士、ケアマネに挑戦してステップアップを図ればと思う。他にも色々な事業所もみてみたい
- ・ご利用者様の生活環境から整え、介護をしている家族の心のケアも考えてあげられるような在宅のケアマネになりたい
- ・ケアマネを受ける
- ・介福をとる事
- ・ケアマネの仕事がしたい
- ・社会福祉士の資格を持つこと
- ・介護福祉士となり、お役に立てる範囲を広げたい
- ・ケアマネージャーになり人の役に立てるようになりたい
- ・現在社会福祉士資格のみの為、介護福祉士、ケアマネの資格を取りたい
- ・ケアマネージャーの資格をとり、スキルアップしたい
- ・資格をより多く取ってスキルアップしたい

【仕事への思い】

- ・故郷に自分が入りたいと思えるような施設のようなものを作りたいです
- ・自分の施設を立ち上げる

- ・独立して事業が出来れば良いですね。夢ですが…
- ・現在勤めている職場で行っている新しい介護の考えをもっと広め、お年寄りに元気になってほしい。元気になれるように自分のこれまでの経験を生かしていきたい
- ・介護事業の立ち上げ
- ・お一人お一人、心が満たされるケアをしていきたいです
- ・まずは今の仕事を成り立たせて、一人前に一日でも早く。市民が、どんどん玄関から、相談に来てもらえるような工夫をしていきたい
- ・利用者の方が幸せに暮らし、生きていてよかったと思えるようお手伝いさせていただけたらいいなと思う
- ・稼働率を上げ個別対応の充足化
- ・様々な人の役に立てる人。介護について、若い人に教えられる人になれば良い
- ・健康で仕事が続くつづけられること
- ・経営への興味はあります
- ・寄りそうことを続けていきたいと思います
- ・こういう年の重ね方をしたいと思える方に少しでも近づけるようにしたい
- ・障害者施設の施設長
- ・もっと仕事ができるようになりたい
- ・ここが家だと思ってもらえる様な施設を目指したい
- ・この仕事に関わる多くの人に、幸せになる為に知っておかなければならない大切な事を伝える立場に就きたい
- ・利用者様の「生活」の場が沢山増えていく事。時間なんて気にしない
- ・信頼があり、的確に対応が出来る人
- ・地域で信頼される施設の職員として、施設に限らず様々なフィールドで活動・活躍できるような職員になればと思っています
- ・いつまでも楽しく働ければ良いと思う
- ・自分が育った場所の施設を充実させる
- ・将来の目標というよりもその時の自分にできることを精一杯やりたいと思っています
- ・人として一人前になる
- ・人が暮らしやすい生活を追究しつづけ、幅広い知識をつけたい
- ・他の長所を伸ばせる人になりたい
- ・利用者の笑顔が多い施設にすること
- ・利用者と公共の電車やバスを使って買い物に出かける
- ・利用者が笑顔で居れる施設になるようケアの向上
- ・一人一人に寄り添ったサービスを提供できる様一步一步努力していきたい
- ・高齢者福祉に携わっていけたら良いと思います
- ・自分らしく生きる
- ・職場における、自身の技術と立ち振まいの向上

- ・「ここに入りたい」「ここに入って良かった」と思っただけの様な施設にしたい
- ・ご利用者の楽しく過ごせる場を維持していくこと
- ・地域で暮らしている人々と関わる仕事をしたい
- ・フェルデンクライスメソッドを学び、地域の介護予防に生かしたい
- ・住んでいる地域の福祉に貢献していきたい
- ・今の仕事を続けていければと思います
- ・介護力の向上と、職員育成へのお手伝い出来るよう、つとめたいと思います。ご利用者様が「生きてて良かった」と思っただけの介護を目標にしています
- ・体がゆるすかぎり、現場でやっていきたい
- ・7つのゼロの達成
- ・利用者さんの気持ちに寄り添える職員になりたいです
- ・一人にでも多く求められる介護士
- ・高齢者福祉について認識していない部分が多くあり、全般的な知識を身につけ色々な目線を持ち介護業務に生かしていきたいと思います
- ・希望をもって入職した職員に、仕事のやりがいを感じてもらえるように育成を行い、後継者を増やしていきたい
- ・体が動く間はずっと介護の仕事に携わっていきたい
- ・特にない。働けるうちは働く
- ・現場での経験を生かし、若い人や介護を行っている方へ伝える事で助けになれば良い
- ・歌っておどれる、介護士、皆にとって楽しい存在
- ・具体的な目標はありませんが、今後もずっと人と関わっていきたくと思います
- ・本当に必要な介助を身につける力をつけたいです
- ・今と変わらない気持ちで働き続ける
- ・職員全体のレベルアップを図るとともに他職種との連携を強化し、より質の高いケアを提供する
- ・リーダー職を通し、上司やスタッフの力になれるような人材になりたい
- ・まだ始めたばかりなので目の前の事でいっぱいです
- ・年齢も重なるにつれ、状況は変わるかもしれませんがずっと関われる環境で仕事をしていきたい。
- ・人とのかわりを大事にして、地域でのボランティア活動にも力を入れていきたい（力まずに）
- ・地域包括支援センターの仕事に携わりたい
- ・人から頼りにされる様な講師を目指しています
- ・しっかりとした対応が出来、利用者様からも職員からもご家族様からも誰からも信用してもらえる様な人になりたいと思っています
- ・ゆくゆくは相談員となり、お年寄りの生活を支えたい
- ・若い人材を育てられるような知識、経験を積む
- ・コミュニケーション能力を高めたい。ご利用者、職員の話やゆっくり聴く時間が欲しい。微力ではあるが精神面で人の役に立ちたい。もう少し若ければ心理の勉強をしてカウンセリングをしたい

- ・介護でも世界のトップへ
- ・現場で後輩の指導を行いたい。相談業務に就きたい
- ・ご利用者や家族、他職員から信頼される介護福祉士になること
- ・とりあえずこの仕事を続けられる限りは続けたい
- ・新人のスムーズな育成
- ・具体的なことは決まってませんが、資格取得をしていきステップアップしていけたらと思います
- ・利用者一人一人が満足する様な施設にしたい
- ・具体的なものはまだありませんが、キャリアアップしていきたいと思っています
- ・違う世代の人達が協力し合って生活できる状況を作る手助けをしたいです
- ・真心と感謝を忘れず楽しい職員でありたい
- ・生涯福祉の仕事をしていたい
- ・今の職場で更に良いユニットケアが行えるよう、改善していく事
- ・人の役に立てる様な人間になる
- ・介護を続けていきたい
- ・自施設での個別ケアをより充実させたい
- ・定年まで現場で頑張りたいです
- ・自分で自分を認められるプロフェッショナルになる
- ・ユニット型施設でケアをしているので、一人一人にしっかり向き合い、尊重できるようなケアをする
- ・出来る限り、現場で働いていたい
- ・落ち着いて、仕事を出来るようになりたい
- ・介護を仕事にしようと思っている人達へのサポート。養成所の講師
- ・まず今の仕事を100%やり切りたい
- ・日々精進
- ・個人としてではないですが、介護業界をもっと政府に理解して頂けるようにしたい。職員が働き易い環境、利用者が過ごし易い環境を作っていきたい
- ・施設長
- ・利用者様とのコミュニケーションを取りお誕生会などのレクをやっていきたいと思う
- ・定年までやり続ける
- ・「安心」と思っただけの介護
- ・全ユニットのご入居者の方々と関わりを持つ
- ・経験を生かして福祉業界で仕事を続けること
- ・コツコツとやっていきます
- ・地域、(担当圏域)の方全員と顔見知りになること
- ・目標というより、その人がその人でいられる為の支援を継続して行っていきたい
- ・まずは一人前の介護士になる
- ・家族をもつ。立派な介護人になって、地域をささえる

- ・信頼される介護士
- ・腰を痛めない様にしたい
- ・介護や障がいに対しての壁がなくなり、もっと生活のしやすい地域や社会になっていくような社会。私自身が、いつか福祉の素晴らしさを一人でも多くの人に知ってもらえるよう活動していきたい。
- ・身体に気をつけ、長く働きつづけること
- ・日本一の施設にする
- ・誰もが安心して暮らせる街づくりに貢献する
- ・長くこの仕事に携わられていけたらと思います
- ・より多くの人々の心に寄り添っていく
- ・福祉の仕事を通して、家族をしっかりと養えていければ、十分である
- ・もうすぐ残り1年で定年を迎えます。縁あってこのホームで働かせていただきました。私の体の続く限り、何らかのかたちでホームとかかわっていきたいと思っています。ボランティア活動が最終目標
- ・まだ分かりませんが、介護の仕事が続けることです
- ・ボランティア
- ・この仕事を体力があり、精神的にも楽しいと思える間は続けたい
- ・相談業務にも興味があります
- ・身体が元気であれば最後（定年まで働きたい）
- ・在宅での相談員として、在宅で頑張っている方々の支援をしたい
- ・時間に追われないケアの方法
- ・このまま現場で介護職として、いたい
- ・施設の要として、より良い施設を作っていきたい。
- ・より多くの人々をしあわせにしたい
- ・時代の流れ、価値観の変化に適応した考え方ができる大人になる事
- ・それなりの老後を送る
- ・日々過ごしていく中で、1人でも多くの方が幸せになってもらいたい
- ・保育士に戻りたいです
- ・今の主任介護職員のようになりたい
- ・よりよいサービスの提供
- ・職員に選ばれる施設作り
- ・介護職で年収1000万円とれるようにしたい
- ・事業所だけでなく、地域を支えていける存在になりたい
- ・施設で生活している利用者がもっと穏やかに、楽しくすごせるようにしたい
- ・介護の仕事がもっと専門職としての実力と自信がもてるようになればと思います。その中で、良い介護士が多く育てられればと思います
- ・1人でも長くこちらで生活を続けていただきたい

- ・利用者にも職員にも目を配り、もっと優しい言葉を掛けられるようになりたいです
- ・海外生活を送ることです
- ・人の役に立てる様な人間になる事
- ・居宅ケアマネ
- ・自分の親を自宅で看取る
- ・ご利用者様の気持ちによりそい、よりよい介護を目指したい
- ・自身の健康に気をつけて、できるだけ長く介護の現場で働きたいと思っています
- ・福祉の仕事にずっと携わっていけたらと思います
- ・モデル施設を目指したいです
- ・偉くならない
- ・職場をまとめる立場になりたい
- ・将来という遠いことは今考えていませんが、お世話になっている職員の方々に恩返しができるよう今は一生懸命仕事を頑張りたいです
- ・自分自身に十分な知識と経験が備わりましたら、次世代にこれを継承したいと考えています
- ・今の仕事をもっとテキパキと…
- ・5年後、今の仕事をしていたい。(楽しいと感じながら仕事をしていたい)
- ・福祉専門職として自分の理念・信条を確立させて、ニーズにそった支援ができるNPOの活動に参加、もしくは自分で作りたい。枠にとらわれない自由な活動を目指したい！！
- ・「福祉」に携わっている以上、現在の社会の状況・法人の状況・施設の状況を把握し、今、自分自身にはどのような知識を身につけ、どのような行動をするべきかを考えて、日々の仕事にあたり、どんな仕事でも柔軟に対応できるようになっていきたいです

【マイナスな意見および無回答】

- ・今、探している
- ・介護での目標はありません。他職種で働く予定です
- ・特にありません
- ・現在見失っています。
- ・この業種ではみあたらない
- ・特に目標を持ってません
- ・わかりません…
- ・まだ考えていません
- ・悩み中

【その他】

- ・釣りをしながら、悠々自適なリタイア生活を送る
- ・田舎でのんびり過ごしたいです

Q7 高齢者福祉に興味を持っている若い世代への一言をお願いします。

【前向きな意見】

- ・いくつもの可能性と、夢がある仕事だと思うので、がんばっていきたいと思います。みなさんも、是非！！
- ・あきらめず頑張っていれば、何か発見があると思います
- ・自分の感覚とは全く違った、習慣、考え、性格、生活にたくさん出会うと思います。その方、それぞれの、心にとびこむことができたなら、いろいろなものが見えてくる、深いお仕事だと思います
- ・がんばって下さい
- ・とても大事なお仕事です。感謝頂けます。どんどん集まって欲しいです
- ・やりがいのある仕事なので、興味がある様でしたら1度経験してみてください
- ・構えずに、挑戦してみてください。どの企業も同様とは思いますが、先輩職員が、きちんと教えてくれます
- ・違う世代の方達と接することで、視野が広がります
- ・人を知り己を知る
- ・(私も若いですが…) 人と接する基本として福祉の分野を学ぶことは良いことです
- ・色々な、利用者様、ご家族がいます、良い意味でも悪い意味でも。でも、本当に感謝して下さる利用者様はいます。その方の為だけでも良いので頑張ってもらいたいです
- ・今後絶対に必要な分野だし、やりがいもあるので頑張ってください
- ・まず肌で感じてみてください
- ・まずは見学に行き、社内の雰囲気を感じるころからスタートしてみてください
- ・体力的には大変なこともあります、やりがいのある仕事です。介護技術だけでなく、コミュニケーション力、レクリエーション技術等も身につけ、自分の為になります
- ・老、死、病など利用者を通して自分の人生、死生観など学ぶことがたくさんあります
- ・頭で考える前に体験すべき
- ・お年寄りとかかわることが好きな方にはとても良いと思います
- ・自分の勤めている施設はオススメです！
- ・高齢者福祉に関わる機会を積極的に持ち、対人援助の楽しさ、やりがいを知って下さると嬉しいです
- ・優しさ、体力のある方、待っています
- ・決して楽な道ではありませんが、その先には多くのやりがいがあります。一緒に働いて楽しいと思える人と出会いを大切にしてみてください。
- ・頑張ってください
- ・高齢者福祉の仕事に就ける様頑張ってください
- ・利用者様の事を考えれば考えるほど難しい事も沢山ありますが利用者様の事を考えれば考えるほど利用者様の事を想う気持ちが大きくなります。よく、大変だと言われますが、大変だけど、大変じゃないと私は思います

- ・若い世代の皆さんが「働きたい！」と思う世界になるよう、がんばります
- ・人生の先輩たちから多くのことを学び、様々な価値観や人生観に触れることで自分を成長させることができたり、振り返ることのできる仕事です
- ・私はこの仕事は誰にでもできる簡単な仕事だとは思っていません。むしろ自分だからこそ出来る仕事だと感じています。
- ・大変かもしれないけど良い意味で楽しむ姿勢も必要だと思う
- ・ボランティアでも良いので、場の雰囲気を見て下さい
- ・3Kと言われているが、それ以上に学ぶことや、経験、得る物・事が多いです
- ・この仕事はとても大変なことが多いかもしれませんが。この仕事の中で楽しいことを見つけていくことがやり甲斐につながると思います
- ・福祉だけでなく、様々な業種を知った方がいいと思います
- ・現場で高齢者と関わりの中で、自分の良いところ、悪いところ 相手の意思や希望などに気づくきっかけを見つけてほしいです
- ・何事も勉強 自分自身の当たり前を多くする努力をせよ
- ・大変な仕事だと思いますが、少しずつでいいので、チャレンジしてもらいたいです。
- ・自身が仕事に対する夢や希望を何があっても失わないでほしい
- ・大変な仕事ですが、とてもやりがいのある仕事です
- ・人と接する事は大変かもしれませんが、自分が頑張った分だけ利用者さんの最高の笑顔がかえってきます。一緒に頑張りましょう！
- ・大変な事もありますが、楽しい事も沢山あるので一人でも多くの方に興味を持って頂きたい
- ・気持ちのある人材は歓迎します。頑張りましょう
- ・大変だが、とても良い職種
- ・あなたの優しさでお年寄りを笑顔にして下さい！
- ・初心を忘れず、日々学んで下さい
- ・これから益々高齢化社会になっていく為お年寄りを支える若い人の力が必要になっていくと思うので一緒に頑張りましょう
- ・老いは誰にでも訪れます。一緒に頑張りましょう
- ・高齢者が増加傾向です。1人ひとりを尊重し楽しく明るい社会へ。～若い人の手をつなげていて欲しいです
- ・自分の興味があることややりたい事、高齢者の為に何かしたいという思いを大切にしてほしい
- ・世代を超えての関わりを楽しんで笑顔を引き出して頂きたい
- ・人生勉強です。ありがたい尊敬すべき存在です。自分や、自分の大切な人だったら～と考えて行動して下さい
- ・「もはや3Kではない」とは言い切りませんが、施設によっては創意工夫をし、多種多様な取り組みを行っていると思います。よくリサーチして下さい
- ・介護技術の向上だけでなく、自分自身の成長になる仕事だと思います
- ・不潔と思われる仕事ですがやりがいがあり人と接することが楽しくなる

- ・介護はとても良い仕事だと思います。特に、誰かの役に立ちたいという思いがある人にとっては、更に良いのではないかと思います
- ・やりがいのある仕事だと思います
- ・大変な仕事だけど、やりがいがあります
- ・「生きてて良かった」と思って頂ける介護してみませんか
- ・どんな仕事もそうですが、大変です。でもそれ以上に楽しいです。何がというのは、言いきれない程あります。まずは飛び込んでみて感じて下さい。楽しいです
- ・自分や家族が入所したいと思える施設を作りませんか
- ・これからますます必要とされるやりがいのある仕事です
- ・大変な事は色々ありますが、おじいちゃん、おばあちゃんが好きな方だったら、お年寄りのためにお仕事をしていけると思います
- ・大変だけど、とても良い仕事、やりがいがある仕事
- ・人との関わりの中で自分も成長できる職業です
- ・高齢者福祉についてとにかく辛いというイメージが強い方もいるとは思いますが、人とのコミュニケーションが図れるものだと思います。辛い部分もありますがやりがいがとてもあります。
- ・一緒にがんばりましょう介護の仕事はとっても楽しいです
- ・まずはボランティアから始めてみて下さい。勇気を持って一步踏み出してみてください！！
- ・何でも良いのでボランティアや見学に来て、施設を知って欲しいです
- ・仕事がきつく、給料の安い業界だと思われるが、やりがいはある。仕事、不況でも、安定した収入が得られる安心した生活を送れる
- ・楽しみをみつけて一緒にがんばりましょう！
- ・飛び込んでみる事で、見える事もあります。そしてその経験は社会でも生きてくると思います。ぜひ自分の目で確かめて下さい。
- ・大変なことも多いですが、非常にやりがいのある、楽しい仕事です。一緒に頑張りましょう
- ・食事、排泄、入浴と重労働も有りますが、それ以上に人生を学ぶことの出来る職種です
- ・興味があるのならば、福祉に関わってほしい。絶対に、やりがいのある仕事
- ・介護の仕事はキツイというイメージが先行しがちだが、利用者との関わりで発見も多くある
- ・介護の仕事は大変とイメージされている人も多いと思いますが、それ以上にやりがいがあると思います
- ・大変な仕事ではありますが、やり甲斐のある仕事だと思います
- ・がんばって下さい
- ・大変なことも多いが、他の仕事では得られない多くの経験を積むことができる
- ・人と触れ合い直接反応が反ってくる為難しいことありますが、とてもやりがいがあります
- ・介護は大変だと言われますが、利用者に関わっていく中で喜びも多く生まれます。めげずに進むことで、自分の成長へもつながると思います
- ・難しく、大変な仕事ではありますが、とてもやりがいのある仕事だと思います
- ・少しでも興味を感じているなら、悩んだりする前にまずはどんな形であれ関わってみて欲しい

- ・自分自身の成長の一步として、積極的に人とかわっていくとを大事にしてほしい
- ・しんどいけど、やりがいのある仕事です
- ・頑張ってください
- ・時代が違うので、昔の生活など色々知る事ができると思います
- ・大変な仕事ではあると思いますが、やりがいはあります
- ・とてもやりがいのある仕事です。もちろん楽しい事も辛い事も同じぐらいありますが、ご利用者様の笑顔や「ありがとう」の言葉で自分も元気になれるし、もっと何かしてあげたい、喜んでもらいたいと言う気持ちにさせてもらえます
- ・人生の大先輩の方から学ぶこと、教えてもらうことが多く、自身の成長にもつながります
- ・高齢者は生きた教科書
- ・介護に対しての先入観はあると思うが、少しでも興味があれば飛び込んで来て欲しい。ストレスと背中合わせではあるが、自分自身成長できる。心が広がる
- ・相手の身になり考えることが多いとても奥の深い仕事（哲学）
- ・多くの方々の人生を聞くことができ人間力を深めることができます
- ・福祉業界には色々な施設、働き方があります。まずは体験でもいいので飛び込んでみて下さい。必ず自分にあった施設、働き方に出会えると思います
- ・ご利用者との関わりは楽しいし、自分も成長できます
- ・自分も若い1人に入りますが、やってみると楽しく辛いけどやりがいのある仕事だと思います
- ・メディアでは悪い印象が多いですが、「人と人のつながり」を直に感じられて、やりがいのある仕事だと思います
- ・何も分からなくていいです。おじいちゃん、おばあちゃんが好きな人は一歩足を踏み入れてみて下さい。皆さんから元気をもらえます
- ・色々な利用者がいてやりがいのある仕事です
- ・利用者の色々な感情が知れ、共有できるととてもやり甲斐のある仕事です
- ・私は、「祖父母と沢山会話ができるようになりたい」と思い福祉を目指しました。少しでも興味があるのなら一度やってみてはいかがでしょうか？
- ・これからの時代、なくてはならない職業だと思います。たくさんの笑顔に出会える介護の仕事をぜひ一緒にやっていきましょう！
- ・生と死がとなりあわせにある職場で働いていて、色々悩んだり、もしますが、その分やりがいの大きい仕事だと思います
- ・介護の仕事は厳しい面も確かにありますが、やりがいのある仕事です
- ・加速する高齢社会で中心となって働いて頂きたいです
- ・辛い仕事ですが、やりがいはあります。「人の為になんかしたい」という方は是非お待ちしております
- ・とてもやりがいのある仕事です
- ・人の為になる職です。やりがいがあります
- ・人生の大先輩から学ぶことはとても多い、とても楽しい仕事
- ・仕事の内容は大変ですが、ご利用者と接する事で得られる、喜びや温かさを直接肌で感じる事の

できる魅力のある仕事です

- ・想像していたよりもずっと過酷でやりがいがある仕事だと思います
- ・やりがいはあるので一度体験してみてもいいでしょうか
- ・大変ではありますが、やりがいのある仕事だと思います
- ・今、興味を持っている、その気持ちが大事です。いつまでも忘れずに楽しんで下さい
- ・誰から見ても必要で重要な仕事です。良い仕事です
- ・大変な仕事ですが、一人一人の生活を支えていく、とても誇りをもてる仕事です
- ・高齢者の方とお話をすると、とても勉強になることもあります
- ・悪い事ばかりメディアは取り上げるけど、実際に働くと楽しいものです。先入観にとらわれないで下さい
- ・一緒に働きましょう
- ・介護・福祉に未来はある
- ・仕事の相手は人生の大先輩です。福祉の勉強だけではなく、色々なことに興味を持ってやってみて下さい
- ・自分は福祉に全く関係のない世界から、福祉の現場に飛び込みましたが、後悔したことはありません。やる気さえあれば誰でもできる、働き甲斐なら負けない職業です
- ・高齢化社会にとって大切な仕事
- ・大変な仕事ですがやりがいがあります
- ・とても、やりがいのある仕事です
- ・初志貫徹でくじけずに頑張ってください
- ・理想と現実のギャップに苦しむこともありますが、いろいろな方の笑顔にふれることが出来る仕事だと思います
- ・まず一歩踏み出すことで、見えてくるものがある
- ・一度ボランティアなどに参加するといいと思います
- ・人の命に携わる仕事なので、大変なことも多いですがやりがいのある仕事です
- ・皆さんが居て成り立つ仕事です。実力は目に見えにくいけど物事に真剣に取り組んでいれば必ず自分（人生にとって）の糧となる仕事です
- ・やさしい気持ちがあれば、出来る仕事だと思います。しっかり勉強して頑張ってください
- ・大変ですけどやり甲斐のある仕事です
- ・頑張ってください
- ・決して楽じゃない。けれど、やりがいはあります
- ・大変だけど、他の仕事では味わえない感情を得る事が出来ます
- ・高齢化が進んでいる中で介護士の求められる役割がとても重要だと思います
- ・誰にでも出来る仕事ではありません。だからこそぜひ
- ・大変ですが、やりがいのある仕事です
- ・人生の先輩から学ぶことの多い仕事だと思います
- ・まずは、現場を体験してみましよう

- ・興味本位でやる仕事ではないですが楽しい仕事です
- ・これから若い力はとても貴重です
- ・介護は大変な仕事だが、自分の親や知り合いの人の介護ができるようになります。認知症に関しても、良い対応ができる場面も増え、近道になります。介護は最低5年間働くと介護福祉士とケアマネージャーの受験資格がもらえるので、体調管理に、気を付けて下さい。そして福祉目指して下さい
- ・利用者を通して自分を振りかえることができる、昔のでき事を聞く事ができる
- “あたり前のこと”を考えられることが大切だと思います。私たちの生活のように・風呂に入りたい・美味しいごはんを食べたい・外の空気を吸いたい・素敵な景色をみたい・寝ていたい。など本当にあたり前に思う生活を、大切にしていければ、介護のあり方が分かるのだと思います
- ・毎日元気を頂ける仕事だと思います
- ・大変な分野だがやりがいはあると思います
- ・大変な事も多いですが、とてもやり甲斐のある仕事です
- ・色々と知り学ぶことは大切だと思う
- ・若い力を待っています
- ・たくさんの人の笑顔を引き出すことができる仕事です
- ・興味を持っている今の気持ちを大切に、人生の先輩方の人生に寄り添って下さい
- ・大変な仕事ですが人を思いやる事を学べる職業だと思います
- ・自分の人生について考える事もできる仕事です。一度はやってみてもいい人生経験になると思います
- ・やりがいのある仕事です。1日1日勉強になり、思いやる心を改めて感じています。仕事を通して、成長できたらと感じています
- ・大変なことも多いですが、やりがいのある仕事です
- ・人生の大先輩から多くの事を学ぶ事ができる魅力有る仕事だと思っています
- ・介護の仕事をしていて、自分自身も楽しんでほしい
- ・人の温もりを身近に感じられる世界で一緒に頑張りましょう
- ・まず一步踏み入れて理解するところからだと思います。成功、失敗という目にみえる結果ではないですが、1人1人の生活・暮らしを思うやりがいのある仕事だと思います
- ・高齢者福祉にも色々なサービスがあるので、自分に合った場所を選ぶのも大切です。色々な施設へ見学やボランティアに行くと良いと思います。大変と言われる仕事ですが、他では感じる事のできない喜びや達成感があります
- ・若い子達が働くと皆さんが喜ぶます
- ・施設見学、体験学習等に参加してみても
- ・始めの一步
- ・こういう介護の仕事は、人の為、自分の為になるし、とてもやりがいのある仕事だと思います。
- ・福祉に携わる事により、自分の家族や周りの人へも知識を分け与えられるようになります。公私共にメリットが多い分野なので、是非関心を持って頂きたい

- ・とりあえず、飛び込んで来て下さい。百聞は一見にしかず
- ・高齢の方との関わりで、学ぶ事が沢山あります
- ・とてもやりがいのある仕事です
- ・超高齢社会になるにつれて、若い世代の力が必要になります。共にがんばりましょう
- ・勇気を出して最初の一步を踏み出そう
- ・とてもやりがいがあり、自分自身の心もキレイに又、色々と成長できる仕事です
- ・たいへんな仕事かと思うが必ず自分のためになります
- ・仕事は大変ですが、奥が深くとてもやりがいのある仕事だと思います
- ・入所、通所、訪問、たくさんの施設へまずはボランティア等で足を運んでもらいたい。施設の中には「働いてみたい」と思えないところもあるのが現状です。たまたま行った一箇所で判断するのは避けてもらいたい
- ・介護は誰にでもできる仕事ではないし大変な仕事であるが、人のお世話をするので大変なことは当たり前です。でもいいことも沢山ある がんばって下さい
- ・技術や知識も重要ですが、人として関わる事、相手のために良くなる事ができるような方になって下さい
- ・実際に仕事を体験して、この仕事の良さを感じてほしい
- ・何も怖いことはないので、どんどん私達に聞いて下さい、疑問をぶつけて下さい
- ・まずは色々な仕事（内容）を経験する事だと思います
- ・まずは、興味のある方は、体験ボランティアなどに参加してふんいきを感じてほしい
- ・とても、やりがいがある仕事だと思います
- ・何となくでは務まらない仕事です。しっかり、信念、覚悟をもって仕事についてほしい
- ・がんばって下さい
- ・毎日、たくさんの笑いや、たくさんの言葉がある仕事だと思います
- ・大変だけど楽しいことも多いです
- ・表向きは、決して良い様には見えていないかもしれませんが、必ずやりがいや、成長できる仕事です
- ・現実に負けず、理想や理念に向かってほしい
- ・やりがいがあるお仕事です
- ・この仕事は楽しい、飽きない仕事だと思います
- ・決して楽な仕事ではない。しかし、その分利用者の笑顔を見れた時、感謝の言葉を聞けた時に大きな喜びを感じられる仕事です
- ・人間のあたたかみに触れることのできる、とてもやりがいのある仕事です
- ・これから、更に必要とされる仕事です。若い世代の人達と一緒に高齢化社会を支えていきたいです
- ・人間相手の仕事で答えがなく大変な職業ですが、利用者、利用者の家族を守る事でみんなの笑顔が見られます
- ・考えているよりも倍は大変な仕事ですが、それ以上にやりがいはありますよ

- ・少しでも高齢者福祉に興味を持って頂けたら、その気持ちを大切にしてください
- ・介護はどんな職種よりも感謝されて必要とされる仕事だと思います
- ・大変な事もたくさんあるけど、一つひとつが自分を育てるこやしになります。無駄なことなんて、一つもありません！だから、自分を信じて今は一歩ふみ出して下さい
- ・私自身もまだ入口にいますが、とても奥が深い学問だと思います。いろいろな方々（人生の先輩）と接し、関わりを持たせていただく中で、成長できると感じています

【その他の意見】

- ・単なるお義理の優しさではなく真の優しさを考えて欲しいものです
- ・本当に人を大切に出来る人に仕事に就いてもらいたいです
- ・実際は仕事を始めて、考えていたものと違ったとショックをうけ、辞めていく人も多いです。いきなり、介護の世界に飛び込むのではなく、ボランティアなどから始めてみると良いかもしれません
- ・絶対に介護の仕事をしたくない方が多い。お給料が安いし休みがない。いつも人手不足で大変
- ・大変ですが、まずはやってみて下さい
- ・心に接してほしい、外身だけではない
- ・向き不向きはあるか分かりません。まずはやってみて、利用者の方の気持ちを大切に、尊敬の念を持って関わってください
- ・インターネットで情報を見るだけでは分からないことが多いと思いますのでボランティア活動等を入り口とし、実際に体験することで、やり甲斐等が見えてくる場合があります
- ・今後私達も、同じ立場になる
- ・大変だと思う事に向って行くのが大切。重労働は若いから出来る。逃げるべからず
- ・やさしさを持って皆様に接して下さい
- ・人手不足なのでなるべく沢山入ってきてほしい
- ・無理をせず、自分の思っている事を正直に伝える事が大切だと思います
- ・休まず職場へ出勤すること、それに伴う体調管理
- ・思いやりの気持ち、感謝の気持ち、けんきよさを忘れないこと
- ・福祉は、特別な職種じゃないですよ
- ・色々な経験をして下さい
- ・どんな時でも「思いやる心」は忘れず頑張ってください
- ・あまり最初は考えすぎず他者にやさしく接していればそれでいいと思う
- ・興味を持っている人達は自分から進んで勉強をすると思うから、特にコメントはない 興味を持っていない人達が興味を持つような工夫が必要だと思う
- ・3k・4k・5kとか言われ、安い給料かもしれないが、高齢者の皆さんがいて今があり、きっと自分のためになると思い、目指して欲しい
- ・相手の立場にたち、自分の一言・声かけが相手を良くも悪くもすることを考えて行動して欲しいと思います

- ・安易な考えで福祉を始めても長続きしないので、じっくり考えてから福祉の道へ来て下さい
- ・若い世代が興味を持って、持続できる環境は福祉全般改善が必要
- ・無理のないようにしてほしい
- ・人生を棒に振るうことになる
- ・思いやりが第一です。思いやりを持って高齢者に接していきましょう
- ・大変な事ばかり注目されますが
- ・興味を持っていただけたのであれば、1度見学にいらして下さい。ぜひお話する機会が出来たらと思います
- ・明日は我身
- ・ヤメテオケ
- ・今の現状ではすすめられる仕事ではありません
- ・どの仕事もそうですが、まずは継続すること、だと思えます
- ・高齢社会となっている今は、誰しものが高齢者と関わる時代だと思えます。興味を持ったなら、福祉関係について目を通してほしいと感じます
- ・「おばあちゃんおじいちゃんが好き」という気持ちだけでは失敗する気がします。ある程度割り切ることも必要だと私は思います
- ・わからないことがあったらどんどん質問して下さい
- ・人の命（生命）に関わる仕事であり、自分が行う事で人の人生が左右されるという事を念頭に置いて下さい
- ・最低限のマナーを身につけて下さい
- ・続けることが大切
- ・歴史に興味を持とう
- ・自分の知らなかった事が聞けたり分からない事を聞くと、答えが返ってきてくれる
- ・頑張り忍耐
- ・興味があるならやれば良いと思う
- ・技術は数をこなせば出来ます。明るく元気に一生懸命接する事が大切
- ・他の仕事にくらべキツイ仕事で給料もあまり良くない
- ・将来のビジョンを不確かでも持って業界に入ってきて欲しい
- ・高齢になると「わがまま」になりますが、今迄の反動と思い、楽しい生活、余命を送れる様に心掛けて下さい。どんな方でも年下と思って接して下さいます
- ・介護は特別な事ではなく、ただ寄り添う、寄り添って生きること
- ・給料は少ないですし、仕事も人の命を預かっているので大変です。それでも興味がある方は頑張ってください
- ・相手の気持ちを考えて行動する
- ・福祉の世界に入るなら、看護師の資格をとること
- ・仕事がきついからと言って直ぐに辞めてしまったらダメ！
- ・人と関わる仕事は確かに大変な仕事だと思うが「自分の行った事は自分に返ってくる」という事

で、良い事をすれば良い事が 悪い事をすれば悪い事が返ってくる 良い事が自分にたくさん返ってくるような対応をして下さい

- ・悪い事ばかりじゃない
- ・自分の性格がこの仕事に合っているかどうかよく考えてから仕事に就いたらいいと思う
- ・広い心を持って働いて下さい
- ・色々な仕事をしてから福祉をしましょう
- ・理想と現実とは違うかもしれませんが、頑張ってください
- ・福祉業界だけしか知らないと一般社会で生きていけない。いろんな世界・社会を経験した方がいいと思う
- ・理想と現実の違いはありますが、現実をしっかり受け止めて頑張ってもらいたいです
- ・介護の現実を見てほしい
- ・周囲から尊敬される仕事ではありますが理想と現実ギャップがある職業でもあると思います。それを頭に入れ決断するといいと思います
- ・まずは飛び込んでみましょう。技術や経験は後からの努力でいくらでも身に付きます
- ・自己犠牲はしないように
- ・やめた方がいいよ。もっと色々やっってから来た方がよい

Q8 国・東京都・東社協への意見・要望をお書きください。

【労働のあり方】

- ・毎日やってあげたい事の半分程度しかサービス提供出来ず、また介助以外の事をする時間がほぼ無い為サービス残業になってしまう。基本的な人数を増やして欲しい
- ・理想ばかりを求めず、それに近づくために、人員を増す、育てるゆとりを
- ・人員規定の見直しをしてほしい
- ・もっと労働条件を良くして下さい
- ・休暇が少ない
- ・現実を理解してほしい
- ・働きやすい環境作りをお願いします
- ・若い人材の確保
- ・ヘルパーの処遇改善
- ・高齢者福祉の現場は未だ“3K”というイメージが払拭できていないと思います。職員待遇、労働環境の全体的な底上げと、福祉の仕事の担い手を育てる取り組みをより充実して頂ければ
- ・職員を現場に引き留めるに足る、環境と待遇の提供を願う
- ・介護現場への人材確保・定着につながる取り組みに期待します
- ・介護士の配置人数を増やして頂きたい。より良い介護の為に
- ・どこの施設も介護職の人数が少なく業務で終わり、入居者様とあまり接する事が出来ていないと思います。もう少し私達や入居者様の事を考えて下さい
- ・人員配置に余裕がなく有給休暇を無効にすることが多いので超勤を減らし有休取得ができるようになると良いと思います
- ・高齢者の増加が進み、高齢化社会を迎える中、受け皿となる、施設、人材の確保、育成が急がれると思います。施策はあると思いますが、安定した人材確保が行えるよう対応をお願いします
- ・夜勤業務が精神的にも、肉体的にもつらいです
- ・海外の方が働きやすい環境、給料ベースup。在宅重視の考えは限界がある
- ・人員配置の見直し
- ・高齢化や重度化が進む中でも特養の配置基準が変わらないのはなぜか。人の介護をするには人の手が必要なのでは
- ・理想は分かりますが、それを実行する現場のことも考えてほしいです
- ・職員が働きやすい、長く続けられる環境が整っていること、必要だと思えます
- ・介護職を守る、育てる取り組みを行ってほしい
- ・職員の少なさ、今後もっと深刻になれば、今働いている人達も限界に達してしまいます。どうか頑張る価値にあたいする仕事という事を伝えてほしい
- ・即戦力となる人材の育成制度を確立していただきたいです
- ・介護を職業として働く人達の身体的・精神的負担を軽減させ、長く続けていかれるような体制づくりをお願いしたいです

- ・やる気の有る人が多く辞めていく現状、もう少し考えて下さい
- ・人材不足の解消です。今回のアンケートを通して、少しでも介護福祉はやりがいのある仕事だと皆に発信出来れば幸いです
- ・体が資本なので整体・マッサージ等の補助が欲しい
- ・介護職の人手不足が慢性化している現状があり、その為、仕事内容がきつくなり、また職員が辞めてしまうという悪循環がある。どうすれば人材確保ができるか対策をとってほしい
- ・施設のメンテナンスのもっと力を入れてほしい。何年も前の浴槽はいかがなものかと思えます
- ・人材確保が進めばほとんどの問題が改善すると思えます。そのためにも、現場の待遇を見直して下さい。現場では日々入居者の生活（生命）を支えているのです
- ・介護現場の業務内容、介護量の増加が今後も考えられる中、現状の収入では人材も確保できず良い環境で仕事をするという事が困難です。介護報酬の見直しを検討して頂きたい。想像以上に現場の職員は頑張っていると思えますがその見返りを返してあげる事が出来ない事が苦痛です。どうやったら等の方法はまだ自分には思いつきませんが助けてあげたいという一心で記入させて頂きました
- ・老人が増え、施設に入れない方がたくさんいると思うので施設を増やしてほしい
- ・若いうちから、リーダー育成等の研修に行っていたら何か違っていたのかなと思えます
- ・「やりがい」だけでは人材は確保出来ません。少子高齢化に向けて優秀な人材が必要です。その為にどうしたら良いか真剣に考えて下さい
- ・向上心を保てるような研修や集まり 場所を提供してほしい
- ・安心して働ける環境を早く整えて下さい
- ・外国の方を雇うなら雇用の条件を良くして介護をもっと魅力的な仕事にして欲しい。外国の方とは正直働きたくないです
- ・介護職員が安心して働き安く、職員が集まりやすくなる制度改革
- ・介護職員の高齢化に伴う、二次雇用の場、法整備をして欲しい
- ・人間の尊厳を守り、リスクも高い仕事なので、良い処遇を要望します。また、介護福祉の受験資格に関して、働きながらでも受験できるようにしてもらいたい。(制度改革後、働きながら受験資格を満たすのは大変だと思います。)
- ・机上の事ではなく、現場、現実を知って欲しい
- ・ニュースや報道では、あまり良い印象を受けないので、もっと良い面をアピールしてほしい
- ・介護職員のストレスが軽減できるようにしてもらいたい
- ・人員を増やしてほしい。結局は全て「人」が大事・必要、何をするにも
- ・新聞や、ニュースで介護の仕方が取り上げられてきてはいますが、もう少し、今一つスポットをあててほしいです
- ・採用（福祉に特化した）の研修を受けたい（増やしてほしい）
- ・若い人材？若年層がもっと福祉に興味を持てる様な、働いてみようかなと思える環境ができるといいなと思えます

【ケアに対するあり方】

- ・以前働いていた頃から、「監査のための記録」が多かったように感じました。入居者の方にとって、大切な記録が残っているかどうかを重視されているといいなと思いました
- ・特養の必要性はかなり大きい。在宅への方針は悪いとは思わないが在宅で生活出来ない方は多いという事をよく理解して欲しい
- ・介護士による医療行為にあたる研修時間の見直していただきたい
- ・高齢者が増え続けているので、介護のことをもう少し深く考えてほしい
- ・現在の特養は要介護3以上の方の入所を、という方向へ進んでいる。それに対し、利用者：職員の比率が3：1のままでは賄いきれないと思う。 ・国は特養の個室化を推進しているが、金銭面において、個室に入れない入所希望者の方が何倍も多いことを理解していながら、何故、個室化を進めるのか不思議
- ・施設も混じえた、地域包括ケアシステムを推進していけば良いと個人的に思います
- ・待機高齢者も多くいると思います。少しでも在宅で生活できる選択肢が増えたら。あと、実際働いている職員の負担が大きいです
- ・1日8時間労働での仕事量ではないと思う。質の高いケアのためには時間が足りない。法律で定めた人数でのケアは難しい。介護保険法の改定により、増々労働量が増えます。給料面アップ出来れば若い世代の介護離れも解決できるのではないかと
- ・人員配置を2対1としてほしい
- ・ユニット型特養の人員配置の見直し
- ・介護保険以外のサービスがもっと充実してたら…と思う時があります。又、それらのサービスが介護をする家族にわかりやすく知る方法があれば、家族の負担も減るのではと思います
- ・介護をした事がない人が介護の何かを決めないでほしい
- ・超高齢社会で大変ですが良いシステムになるようがんばって下さい
- ・もっと高齢者の方が過ごしやすい環境にするための環境整備や資金援助
- ・「養護」の存在をもっと世間に知って欲しいです
- ・同じ高齢者施設でも当然こまかい対応、状況は違うので考慮して頂くことも細分化してもらえたらありがたいです

【地位】

- ・介護という仕事が医師、看護師のようにもっと専門的な仕事として世間からもみられるように地位を向上させてほしい。
- ・もっともっと介護、福祉関係に目をむけていただきたいです。
- ・介護職の地位を上げてほしい。(賃金も含め)
- ・職員の地位向上や、処遇の為の与党内のしっかりした議員をたてて下さい。
- ・看護師と同じ立場まで上げてほしい

- ・介護職のより一層の地位向上
- ・福祉職の社会的地位の向上
- ・介護士の社会的地位をあげろ
- ・社会福祉士の任用の拡大や、認知度の向上をお願いしたいです
- ・介護職は専門職。誰でもができる仕事じゃない。地位の確立をできる様に、お願いします
- ・もっと福祉の現場に耳を傾けてほしい。一回だけでもいいので、介護施設を体験してほしい
- ・福祉（高齢者）は、給料も地位も低い
- ・介護職員の地位向上を希望します
- ・専門職としての介護職の地位向上を図ってほしい

【賃金】

- ・人材の確保、給与を上げて欲しい
- ・正社員で働いているのに、生活苦です。賃金を上げて下さい
- ・誰でも出来る仕事だが出来ない仕事なので、もう少し賃金をあげて欲しい
- ・介護の現場は非常に大変です。人員確保の為に給与面、福利厚生などの優遇を検討していただきたい。このままでは将来的に若者が介護の仕事に興味がなくなってしまう
- ・お給料が安すぎる。いつも人手不足。国都が何とかすべき
- ・職員の処遇が改善される様にして頂きたい
- ・賃金、ベースup よろしくお願いします。よその業界へ力が流れていかないよう
- ・数年前より、現在の方が利用者様、ご家族のニーズは増えてきています。しかし、人手不足でニーズに答えられず。答える為には職員の負担は大きいです。せめて、お給料等を上げて職員のやる気を上げてほしいです
- ・処遇の改善。(給与面、介護職へのメンタル面)
- ・介護士の給料を上げて欲しい。働きやすい環境にして欲しい
- ・賃金や人手を向上させてほしいです
- ・公務員と同じくらいの給与と手当、休みがあればよい
- ・人材の確保＝賃金な所もあります。介護報酬の引き上げは必要かと思えます
- ・待遇を良くして欲しい
- ・優先されるべきは、利用者様。後は現場で働く職員だと思います。今よりも就業の待遇等少しでも改善される事を期待します
- ・国家資格を踏まえた賃金を。将来を考えた対応を
- ・男性の介護者が増えるよう、給料面など待遇の見直し等…
- ・是非もう少し賃金のUPを検討していただきたいと思う
- ・介護士の保険制度（腰、首痛等体の故障多い為）給料を全体的にあげて欲しい
- ・福祉従事者の待遇をしっかりと整えてほしい
- ・給与水準の上昇、介護の仕事が好きだけど離職した職員が多い

- ・介護職員の責任の重さと給料の額が見合っていないと思う
- ・給与面での賃金アップ
- ・収入が少なく、家庭を持ったときにきちんと養えていけるか不安。特に30代、40代などと年齢が増えていくにつれて
- ・もう少し給与を上げないと、これからの日本にとってはむずかしいと思う
- ・人手不足、重労働のわりには給料が安い点をなんとかしてほしい
- ・介護者の労働、賃金面を検討して下さい。生活苦のため
- ・高齢者社会になり、本当の現場を見て、これからの若い世代が担う時に、共働きでなくても、家庭を養える賃金体勢にしてほしいです
- ・給料はあげてほしい。生活がカツカツすぎる
- ・職員の待遇改善
- ・公務員の給料より介護士の給料をあげるべきだったのでは
- ・他職種との給与格差の是正
- ・介護へのとりくみが広く新しい人材が参入できるような環境づくりをもっと進めて欲しい（特に賃金等）
- ・給料のベースアップを願っています
- ・もう少し給与があがったらと
- ・施設への家族の認識、理解を深めれたら
- ・介護職員が不足しています。処遇の見直しをお願いします
- ・とても大変で人の命を預かる仕事であり、働く人も少ないのが現状だと思います。今後、お年寄りが増えていき今よりもっと大変になると思うので給与の見直しをお願いしたいと思います
- ・給料をもう少し上げて欲しい
- ・離職率の高いといわれているので、少しでも良い面を増やして今後新人さんが入ってくるといいなと思います。給料面など…
- ・システムの矛盾を直す。腰痛を予防。介護や福祉関係の賃金向上
- ・介護職員に対する処遇改善及び見直し
- ・労働条件の割に賃金が低い
- ・労働の量のわりに報酬が少なく離職者が多い現状の改善をしてほしい
- ・賃金を高くしてほしい
- ・国へ、所得のわりにリスクが高い
- ・介護福祉士の給料があがるといいと思います
- ・介護職の賃金底上げ
- ・イメージアップと賃金アップは絶対必要！！
- ・給料は変わらないのですか
- ・やりがいだけでは仕事はできません。仕事に見合う報酬が得られる仕組みづくりをお願いします
- ・人がいなさすぎて休みも少なくなっている現状をどうかしてほしいです。給料も考えてほしい

です

- ・もっと、給料をよくしてほしい
- ・介護職員の賃上げ
- ・介護職の給料を上げてほしい
- ・介護の仕事の賃金を上げてほしい
- ・介護の仕事を目指す人、現職の人が安心して働けるよう法整備と見合った報酬（金銭面だけでなく）を、願います
- ・給与をあげて欲しい
- ・給料を上げて欲しい。職員の定数を増やして欲しい
- ・給与を上げて下さい
- ・福祉全体の給料UP、人材育成
- ・やりがいのある大切な仕事なので早急な処遇改善をお願いします
- ・若い世代が仕事をしたい、と思えるよう給与UPを国はするべき。夜勤もある仕事なのでスタッフもこのままではなかなか集まりません
- ・介護保険以前は全員正職員だったが、今は半数が非正職員。介護報酬がまた下がるのは利用者の処遇低下につながる
- ・都知事は選挙時介護職の給料を上げると言っていたが、いまだに変わらない
- ・賃金アップ、待遇の向上
- ・予算UP！
- ・仕事のやりがいはあるが給与面で仕方なくこの業界を離れる人間も多いので給料を上げてほしい
- ・給料を上げて下さい。大変な仕事なのに給料が少ないです
- ・給料を上げて欲しい
- ・介護職の待遇が全体的にアップすると従事者も増えると思う
- ・介護職員の地位向上、結局は給料の底上げに取り組んで欲しい
- ・処遇改善、介護報酬等増やして欲しい
- ・賃金が安いのでもう少し上げてほしい
- ・給料を上げて下さい。切実に
- ・補助金をもっと出してほしい。要介護度の見直し
- ・資格条件の緩和でなく、まず賃金を上げないと入職しても続かない
- ・仕事量に見合った賃金の見直しをして欲しい。今後、人手はもっと必要になると思いますが現状のままでは人は集まらないと思います
- ・介護福祉士の地位、賃金が上がっていけば、良いと思うので、そうなるようにしていただきたい
- ・すべては賃金になってしまいますが、努力している施設には、もっと良くなるような仕組みができればと思います
- ・誰かがやらなければいけない仕事なので賃金を上げて欲しい
- ・介護職の給与水準のUP
- ・現場の職員は本当に頑張っています。専門職なのに看護師との給料に開きがあるのはどうしてで

すか？頑張っても体をこわすだけで、将来不安です

- ・介護の仕事では、家族を養えないとやり甲斐は感じていても他の職業に変わる方もたくさんいるので、平均的賃金を上げてほしい
- ・お給料がもっと増えたら…と思います
- ・現状を見ての法の改正や職員の待遇です
- ・給料を多くして下さい！！
- ・今後、高齢者の増加に伴い、介護側の人材が必要となりますが現状の待遇では人材確保は困難、離職率も高い事から、早期の待遇改善をお願いしたい
- ・月給をあげてほしい
- ・給料を上げてほしい
- ・高齢化社会ということもあり、なくてはならない仕事です。もう少し待遇を良くして頂けるとありがたいです
- ・介護は3Kと呼ばれ「汚い・キツイ・給料安い」のイメージを回復出来る様一つずつ変えて頂ければと思います
- ・介護サービスの質の向上のためにも、処遇の維持をお願いします
- ・お給料が安すぎる。いつも人手不足。国都が何とかすべき
- ・職員の処遇が改善される様にして頂きたい
- ・賃金、ベースup よろしくをお願いします。よその業界へ力が流れていかないよう
- ・数年前より、現在の方が利用者様、ご家族のニーズは増えてきています。しかし、人手不足でニーズに答えられず。答える為には職員の負担は大きいです。せめて、お給料等を上げて職員のやる気を上げてほしいです
- ・処遇の改善。(給与面、介護職へのメンタル面)
- ・介護士の給料を上げて欲しい。働きやすい環境にして欲しい
- ・賃金や人手を向上させてほしいです
- ・公務員と同じくらいの給与と手当、休みがあればよい
- ・人材の確保＝賃金な所もあります。介護報酬の引き上げは必要かと思います
- ・待遇を良くして欲しい
- ・優先されるべきは、利用者様。後は現場で働く職員だと思います。今よりも就業の待遇等少しでも改善される事を期待します
- ・国家資格を踏まえた賃金を。将来を考えた対応を
- ・男性の介護者が増えるよう、給料面など待遇の見直し等…
- ・是非もう少し賃金のUPを検討していただきたいと思う
- ・介護士の保険制度（腰、首痛等体の故障多い為）給料を全体的にあげて欲しい
- ・福祉従事者の待遇をしっかりと整えてほしい
- ・給与水準の上昇、介護の仕事が好きだけど離職した職員が多い
- ・介護職員の責任の重さと給料の額が見合っていないと思う
- ・給与面での賃金アップ

- ・収入が少なく、家庭を持ったときにきちんと養えていけるか不安。特に30代、40代などと年齢が増えていくにつれて
- ・もう少し給与を上げないと、これからの日本にとってはむずかしいと思う
- ・人手不足、重労働のわりには給料が安い点をなんとかしてほしい
- ・介護者の労働、賃金面を検討して下さい。生活苦のため
- ・高齢者社会になり、本当の現場を見て、これからの若い世代が担う時に、共働きでなくても、家庭を養える賃金体勢にしてほしいです
- ・給料はあげてほしい。生活がカツカツすぎる
- ・職員の待遇改善
- ・公務員の給料より介護士の給料をあげるべきだったのでは
- ・他職種との給与格差の是正
- ・介護へのとりくみが広く新しい人材が参入できるような環境づくりをもっと進めて欲しい（特に賃金等）
- ・給料のベースアップを願っています
- ・もう少し給与があがったらと
- ・施設への家族の認識、理解を深めれたら
- ・介護職員が不足しています。処遇の見直しをお願いします
- ・とても大変で人の命を預かる仕事であり、働く人も少ないのが現状だと思います。今後、お年寄りが増えていき今よりもっと大変になると思うので給与の見直しをお願いしたいと思います
- ・給料をもう少し上げて欲しい
- ・離職率の高いといわれているので、少しでも良い面を増やして今後新人さんが入ってくるといいなと思います。給料面など…
- ・システムの矛盾を直す。腰痛を予防。介護や福祉関係の賃金向上
- ・介護職員に対する処遇改善及び見直し
- ・労働条件の割に賃金が低い
- ・労働の量のわりに報酬が少なく離職者が多い現状の改善をしてほしい
- ・賃金を高くしてほしい
- ・国へ、所得のわりにリスクが高い
- ・介護福祉士の給料があがるといいと思います
- ・介護職の賃金底上げ
- ・イメージアップと賃金アップは絶対必要！！
- ・給料は変わらないのですか
- ・やりがいだけでは仕事はできません。仕事に見合う報酬が得られる仕組みづくりをお願いします
- ・人がいなさすぎて休みも少なくなっている現状をどうかしてほしいです。給料も考えてほしいです
- ・もっと、給料をよくしてほしい

- ・介護職員の賃上げ
- ・介護職の給料を上げてほしい
- ・介護の仕事の賃金を上げてほしい
- ・介護の仕事を目指す人、現職の人が安心して働けるよう法整備と見合った報酬（金銭面だけでなく）を、願います
- ・給与をあげて欲しい
- ・給料を上げて欲しい。職員の定数を増やして欲しい
- ・給与を上げて下さい
- ・福祉全体の給料UP、人材育成
- ・やりがいのある大切な仕事なので早急な処遇改善をお願いします
- ・若い世代が仕事をしたい、と思えるよう給与UPを国はするべき。夜勤もある仕事なのでスタッフもこのままではなかなか集まりません
- ・介護保険以前は全員正職員だったが、今は半数が非正職員。介護報酬がまた下がるのは利用者の処遇低下につながる
- ・都知事は選挙時介護職の給料を上げると言っていたが、いまだに変わらない
- ・賃金アップ、待遇の向上
- ・予算UP！
- ・仕事のやりがいはあるが給与面で仕方なくこの業界を離れる人間も多いので給料を上げてほしい
- ・給料を上げて下さい。大変な仕事なのに給料が少ないです
- ・給料を上げて欲しい
- ・介護職の待遇が全体的にアップすると従事者も増えると思う
- ・介護職員の地位向上、結局は給料の底上げに取り組んで欲しい
- ・処遇改善、介護報酬等増やして欲しい
- ・賃金が安いのでもう少し上げてほしい
- ・給料を上げて下さい。切実に
- ・補助金をもっと出してほしい。要介護度の見直し
- ・資格条件の緩和でなく、まず賃金を上げないと入職しても続かない
- ・仕事量に見合った賃金の見直しをして欲しい。今後、人手はもっと必要になると思いますが現状のままでは人は集まらないと思います
- ・介護福祉士の地位、賃金が上がっていけば、良いと思うので、そうなるようにしていただきたい
- ・すべては賃金になってしまいますが、努力している施設には、もっと良くなるような仕組みができればと思います
- ・誰かがやらなければいけない仕事なので賃金を上げて欲しい
- ・介護職の給与水準のUP
- ・現場の職員は本当に頑張っています。専門職なのに看護師との給料に開きがあるのはどうしてですか？頑張っても体をこわすだけで、将来不安です
- ・介護の仕事では、家族を養えないとやり甲斐は感じていても他の職業に変わる方もたくさんいる

ので、平均的賃金を上げてほしい

- ・お給料がもっと増えたら…と思います
- ・現状を見ての法の改正や職員の待遇です
- ・給料を多くして下さい！！
- ・今後、高齢者の増加に伴い、介護側の人材が必要となりますが現状の待遇では人材確保は困難、離職率も高い事から、早期の待遇改善をお願いしたい
- ・月給をあげてほしい
- ・給料を上げてほしい
- ・高齢化社会ということもあり、なくてはならない仕事です。もう少し待遇を良くして頂けるとありがたいです
- ・介護は3Kと呼ばれ「汚い・キツイ・給料安い」のイメージを回復出来る様一つずつ変えて頂ければと思います
- ・介護サービスの質の向上のためにも、処遇の維持をお願いします

【その他】

- ・施設整備も必要だと思うがもっと高齢者の住まいについて力を入れて欲しい
- ・超高齢化 先が不安です。社会保障（年金）等、介護が必要になったら優先的に入れたらうれしい。現在特養5年待ち
- ・（国・東京都・東社協）→考えがバラけていると思う。福祉の社会が働きやすい、定着しやすい場になるよう考えて実行して欲しい。給料・安全性・資格など
- ・技術、知識の研修だけではなく、他業種を経験する研修があっても良いと思います。（特に接客業）
- ・福祉の良さ等、どんどんアピールしていき、ボランティア、人材が増えていけばと感じます
- ・職員一人ひとりの（高齢者）福祉に対する教養をつけられる講座や資格が有れば良いと思う検定等
- ・人材不足、離職率がなんとかならないかと思う
- ・定期的な研修を更新制度みたいにしたら良いと思う
- ・大変な現場を知ってもらいたい。安心・安全介護の日本を国が目指してもらいたい
- ・介護・福祉の魅力をアピールしてほしい
- ・研修会等に参加したい気持ちはあるが、費用が高いように思う。またケアマネの更新研修は、研修時間、費用共に負担が大きい
- ・低所得者の医療負担、生保受給者の医療費控除の不公平さ。上限の見直しは？
- ・このアンケートの主旨が不明であるので、答えにくい設問もありました。この様な依頼をするのであれば、目的、活用方法、フィードバックの方法について説明があった方が、協力しやすいと思います
- ・宗教法人などお金を取りやすい所はたくさんあります。社会福祉法人だけに的をしぼらないでください。

- ・（国・東京都）お年寄りを大切に！！
- ・介護職の魅力をもっとアピールして真剣に人を集めて欲しい
- ・オリンピックも大切だけど福祉全般を大事にしてほしい
- ・ちゃんと現実見てるのかな？って感じます
- ・学校と学生と企業（施設）との合同説明会など活発に行えばより機会は増えるかと思えます
- ・現場（現実）と理想は明らかに違います
- ・国民の命や幸せが二の次と感じる。東京都から本気を見せてほしい
- ・研修場所を23区以外にももうけて欲しい

Q9 介護の仕事が今後こうなったらいい等の意見がありましたらお書きください。

【イメージ・魅力の向上】

- ・福祉施設は、暗いイメージで捕えられがちなのでもっと明るい身近な存在になると良いです
- ・8（介護という仕事が医師、看護師のようにもっと専門的な仕事として世間からもみられるように地位を向上させてほしい。）と同じような内容になってしまっていますが、まだ介護の仕事というのは「職が無いからやってみるか」という感覚で足をふみ入れる人がまだまだ多いように思います。きっかけは何でも良いのですが、上記のようなきっかけの人は結局、長続きしないことが多く、それが人手不足になり、悪循環です。現在、介護に携わっている私達も地位向上の為の努力をしなければなりません、将来的にはもっと魅力のある仕事になってほしいです
- ・介護の仕事をしたいと思っている人が、中々少なく、介護の現場は人手不足なのが現状です。悪い所ばかりでなく、（給与の事や、体力の面での事）良い所をもっとアピールできていけば良いと思います
- ・介護に携わる人が増えて欲しい。興味をもって欲しい
- ・現場では質を高めるため常に努力しています。もっともっと介護をアピールしてください
- ・8. でも記入した点（高齢者福祉の現場は未だ“3K”というイメージが払拭できていないと思います。職員待遇、労働環境の全体的な底上げと、福祉の仕事の担い手を育てる取り組みをより充実して頂ければ。）です。高齢者福祉の仕事をしていると話すと、「大変ね…」という言葉が返ってくる事が多く、これが世間一般のイメージなのだと思います。この言葉に、よって時折、モチベーションが下ったり、自信をなくすことがありました。労働環境が向上し、イメージが良くなることで、福祉の仕事を目指す人が増えてくれれば良いと思います
- ・介護の仕事がもっと開かれ、周りからもっと見られる様になって欲しいです。見られる事でサービスの質が向上し、介護従事者は魅せる介護が出来る。そんな風になったらいいなと思います。
- ・世間から介護の仕事はきつい、汚いと思われる事が少しでも、働きたいと思われる職場のイメージに変えられたらと思う
- ・人手不足・賃金の低さは変わらず、継続している印象です。長く携わる気持ちはあるが、生活への不安は解消できません。ご利用者様の日々の生活を支えるという任務は、未だ、世間の目からはお手伝いさん程度なのでしょうか？私はもっと評価すべき職のように感じます
- ・仕事をしながら、何かを行っていくというのがやはりしんどいのかなと感じます。周りをとりまく環境も大切なので、全体で取り組む形の継続があったらと思います。楽しさやつらさもある中、とてもやりがいがある職業だと思いますのでもっと興味を持ってくれる方が多くなって欲しいと思います
- ・今現在、福祉は腰痛の問題、超過勤務の実態、低賃金の業界、資格取得のハードル上げ傾向等、ますます課題が顕在化してきている状況にあります。新しい人材確保、育成に、もっと、本腰を入れないと業界の空洞化、業界の衰退化に拍車をかけることになるものと強く懸念しています。

川下、底辺の業界とみられている現状の打破を期待したいです

- ・マイナスのイメージが、メディアによって与えられていることにより、介護の仕事への希望が少ないのではないかと思います。当施設でも中学生の職場体験など、多数受け入れており、実際職員はいきいきと仕事をしている場面など見てもらっています。プラスのイメージとなるような発信してもらいたいと思います
- ・まだまだ「介護」という職場がどういう所で、何をしているのか理解がないと思います。世の中にもっと発進してゆけたら良いなと思います
- ・若い世代にも魅力がある仕事になればいいのでしょうか現状は厳しいと思います。入社する前からある程度目標を持っている方が長く勤められるのではないのでしょうか？
- ・悪い、汚いイメージがなくなると良い
- ・人手不足にならない、人気のある仕事になってほしい
- ・なりたくてもなかなかない。それくらい世間のイメージ・評価が上がれば、ケアの質や考え方が向上し、入居者にとって良い生活を提供できるようになると思う。そうなってほしい
- ・特養は、閉ざされた空間のようなイメージがあるが、実際はそんな事ないので、今よりもっとひらけた空間になると良い
- ・世間に介護の仕事を知ってもらいたい。一般的に「3K」と言われているが本当にそうなのか、もっと掘り下げて介護の仕事を伝え、楽しくて、やりがいがあるという事を発信してほしい
- ・3Kのイメージを脱却。労働環境（金銭面含め）が改善され、長く続けたい人が、長く続けることが可能な職場になって欲しい
- ・小学生のなりたい仕事ランキングにランクインする様な今後に期待している
- ・介護職の地位及びイメージ向上。リスクが伴う職場のため、職員を守るために施設、東京都、国を挙げての明確な職場環境、法整備が進んでほしい
- ・環境、待遇、賃金、世間の認知度が良くなり、魅力ある仕事になってほしい
- ・やってみたい職業第1位とかになれるよう、介護の仕事の良さが伝わっていけばと思います
- ・現場での介護職員1人にかかる負担軽減され、離職率が減れば良いなと思う。どの施設でも人手不足という話をよく聞くが、人手不足の中でサービス向上を目指しすぎると、結局、職員1人にかかる業務が増え、辛くなって退職となったら、意味がないように思う。介護職に魅力を感じ、やる気を持って働く人が増えたらいいなと思う。職員が増えれば、できるサービスが増え、行事や企画がたくさんできるな…とよく考えてしまう。テレビなどでは、介護の大変な部分ばかりがポイントにされ、イメージがダウンしてしまっているのではとあってしまう。楽しい事や、やりがいを上手にアピールできたら、高齢者福祉に対してのイメージが変わり人手不足解消につながるかな…と思う
- ・ゆとり（人材確保→福祉（介護）のイメージ（→3K）→印象を良くしていきたい。）がなくして良いサービスは提供できない
- ・介護の大変さばかり注目されますが、介護の仕事のすばらしさがもっと伝えていければいいと思います
- ・“大変”というイメージが一番にきてしまうので、そのイメージがなくなればいいかなと思います。

“大変だけど楽しい、やりたい”と思えるようになればと思います

- ・介護の仕事が、若い世代の方にも、今以上に職業を選ぶ際の選択肢に持って頂けると、とてもありがたいなと思います
- ・介護報酬があがるか。介護職に対しての国からの援助、(子育て費、病院受診代 税金等を少なくする) があるといいなと思います
- ・もっと世間からのイメージがよくなるといいなと思います。

【環境改善】

- ・お給料アップ ・連休が欲しい ・職員不足を解消して欲しい ・他施設ともっと交流したい
- ・スキルアップする機会が欲しい
- ・一般的に給料が安すぎ。働く事はハードに比べ。 ・職員の心身のケアを大切に。ハードな仕事、ストレスが大きい。相手が認知病の方だと、そのストレスを、どう解消すべきか。仕事にゆとり、対話する時間が勤務中であると良い。 ・特養とデイとの、業務時間のゆとりがあまりにも、違い過ぎ
- ・介護という専門分野に、集中した、仕事ができる環境がもっとほしい。施設により違いがありすぎる
- ・8番でも書きました(数年前より、現在の方が利用者様、ご家族のニーズは増えてきています。しかし、人手不足でニーズに答えられず。答える為には職員の負担は大きいです。せめて、お給料等を上げて職員のやる気を上げてほしいです。)が、やらなければいけない事(利用者からの一つ一つの要望)が増えてきているのに、職員の数は足らず。休憩や残業で業務を行っている為、職員の負担は大きいです。現場の職員だけが負担を負うのではなく、家族にももっと協力してもらい、全体で利用者様の希望等(レクリエーション等)をかなえていけたらいいと思う。また、お給料を上げてもらい、新しい職員が入ってくる事を願っています。職員は、辞めていくのに新しい職員が入らない。人手不足は当たり前だと思ふ。お給料を上げれば人は入ってくるのでは? と思います。お給料は安く、ボーナスは下がっていく一方で現在働いている職員のやる気がなくなっていくのは当前の事だと思います
- ・介護報酬の引き下げ等、特別養護老人ホームにとっては年々厳しい状態。今後ニーズは増大していく分野なのに、給料面が低すぎて介護職を志す人は減っている。特養の経営努力だけではどうにかなる状態では無い様に思ふ。国、都、政治がもっと真剣に取り組んで欲しいと思います。高給でなくとも、普通であれば介護職員は増えていくと思っています
- ・皆が働いてみたいと思うようなメリットがあれば良いなあと思ふ。お客様の笑顔を見たい、楽しくさせたい、と思ふ就職した人は現場とのギャップに驚いてしまう事も多いと思ふ。それでも頑張ろうと思ふような強みが施設それぞれに必要なと思ふ
- ・給与アップ、若い人材の積極的な登用、地域に開かれた施設 他職種との交流。
- ・人材が増えて、お給料も増えて、ゆっくりと利用者にかかわる時間が確保できるようになればいいと思ふ

- ・ヘルパーの人員が安定している状態、またそうなるような勤務体制等が整っているとありがたい。
- ・もっとご利用者と向き合える時間がほしいです。忙しく働いているのは私達だけで、ご利用者は何もせず…という事もあります。(お一人おひとり生活の仕方が違いますが) ゆっくりとした時間が必要です
- ・もう少し人が増えると良いです。(介護職が定着できるようななにかあればですが…)
- ・ゆとりのある介護をしていきたい。
- ・体を壊してしまう人も多いため、介護士の体を守るような物が欲しい。(介護機器が沢山出ているが高額な物ばかりで手が出せない)
- ・もう少し介護の人材が増えてゆとりのある介護をしていけたらなと思います
- ・介護用ロボットや、機器が進化し、肉体的な負担が減る中で、出来た介護者の心のゆとりが、利用者への心のケアにもつながればと思います。又、外国人や、介護経験の若い人でも安全に使える、ユニバーサルなデザインであってほしいです
- ・職業病として「腰痛」があります。そのために優秀な人材が退職してしまうことは、介護業界にとって損失です。腰痛になっても積極的に休みがとれたり、医療や整骨院・マッサージなど通院の補助があると、自分達（介護者）は大事な存在として対応されているなど感じ、モチベーションも上がります。家庭がある人は家庭も守れます
- ・配置基準数の引き上げが行われ、人材が確保し、1対1の介護が出来、介護＝大変、低賃金のイメージが変われば良いかと思います
- ・年金を施設で管理する。施設に入れたらお終いと思う家族もいる。本人の洋服も家族が「y e s」と言わないと購入できないe t cの問題を抱えている。施設側も第三者を入れて管理する
- ・胃瘻を希望する家族には、面会を義務付け、ただの延命は行わない
- “不足”が原因で利用者様へのサービスが低下せぬ様人的資源、物的資源が充実した職場となつて欲しい
- ・職員不足で悩む施設もあると思うので、8での意見、現場を理解して頂ける環境があれば良いなあと感じます
- ・若い世代の方を中心に今より働いてくれれば良いなと思う。(今よりもっと質の高いケア、より良いケアを臨めるのではないかと思います。)
- ・介護業界の若い人の育成、人材の確保、介護士の保険制度 故障者の保険制度を作つて欲しい。ロボット(介護)も
- ・人員が確保され職員が気持ちに余裕を持って働けるといい。福祉の仕事が評価され仕事に見合った給与がしっかりともらえるといい。サービスを必要としている人に必要なサービスが行き届く社会や孤立している人が少ない地域をつくれるよう仕事をしていけたらと思う
- ・職員・利用者ともにゆったりと生活する為の援助ができる仕組み作りを
- ・現実的な問題で収入アップが望まれます
- ・忙しく、身体的にも精神的にもきつい仕事だとは思いますが、職員も利用者もおだやかに仕事、くらしができるとういと思います
- ・給料アップ

- ・毎日が、いっぱいいっぱい、精神的・肉体的にも、つかれる中、利用者様の笑顔と、職員同士の支えと協力で介護をしています。もう少し余裕・ゆとりのある介護がと思います。専門分野の、範囲は、どこまでなのか。医療、リハビリ、計画等、様々な、関わりを行うが人手が増えてほしい
- ・有給休暇が、きちんととれる
- ・給料の向上
- ・外国人の採用等に逃げない
- ・人員不足により常に超勤が発生しています。利用者様にその人らしい生活を過ごして頂き個人の意志を尊重する介護をしていきたいと思います。労働環境の改善を希望します
- ・給料があがることを願っています
- ・変則勤務で内容も特に特養はハードなので、体調をくずしやすい。休みも少ない為、なかなか変更も出来ない。言いづらい為、やはり人を増やして欲しい
- ・現場で教えるゆとりが欲しい。忙しいから心にゆとりを持ってなくなってしまう
- ・人手不足が解消され一人一人と向きあう時間がとれ、入居者、介護側の満足度がアップするようになる
- ・今回のアンケートを受け、今自分を客観的に見直すことが出来、気持ちの整理を行うことが出来た。改めて「自分の中で、大切にしよう」と思った気持ちを忘れずに、これからもお年寄りと関わっていききたい。介護の仕事の楽しさ、やりがいを皆さんにも知ってもらいたい。職員 人員が増えることで、より手厚いケアが出来るのではないかと、日々感じる。給料面も、もう少し見直して頂けたら嬉しいです
- ・現状では日々の業務をこなすことだけでいっぱいなので、もっとゆとりをもって細かなケアや要望に答えられるようになったらいいと思います
- ・外国人労働者へもっと目を向けてほしい。腰痛を訴える人や、それにより退職された人を見てきているので、働く人への福祉用具が充実したら良いと思います
- ・年々、利用者のADLが低下しています。夜勤中に急変した時など、対応にとまどってしまったら「何かあったらどうしよう…」など不安をかかえている人も少なくないと思います。実際、夜勤が怖くて辞めている人もいますので今後、自施設での看護師の配置（夜勤）をぜひ考えてもらいたいと思います
- ・不足する人材の確保とそのための給与・資格面等の見直し
- ・人手不足が解消するように福祉全般にいえる事ですが、働く側についてももっと考えてほしいです
- ・介護職員は、とてもやりがいのある業務と言えますが、同時に一番きつい業務でもあります。施設としては、現場を中心として考え、改善案があるならば、無理なく速やかに実施すべきと思います。利用者様のニーズに応える為には、職員が働きやすい環境を整える事が必要と考えます
- ・お年寄りにも職員にも利点がある介護になればと思う。これから増えるお年寄りに対して、全て介護で担えるとは思いません
- ・ご利用一人一人に向き合える人材が確保出来 ・地域ぐるみで認知症の方達を支えて行ける

- ・休み（連休）がきちんと取れて職員がリフレッシュできる環境
- ・手に職をつけたいと思っている人はいると思うが、一生の仕事として生活し、家族を養っていきけるだけの収入があると良いと思う。それに伴い、今以上責任は出て来るが、今後の課題として、責任も増すが、給料面での考慮をして欲しい
- ・人手不足の解消 ・若い世代がのびのびと仕事できる職場
- ・介護に対しての考え方、行うものの姿勢にバラツキがあるので一定の所までもっていきけるようなシステムを作ってほしい
- ・おもてなしの精神は世界でも注目されているため日本の医療・福祉分野がグローバルな活躍ができたなら良いなと思います。そのためには国の手厚いサポートが必要です。福祉サービスを必要としている人、福祉、医療、介護に関わる労働者が安心できる政策を希望します
- ・福祉で働いている仲間同士、生活や環境の変化などで辞めていくのはとても辛いです。もっと多種多様な働き方、雇用形態、時間形態など皆が少しでも長く一つのチームでいられるような業界になればいいなと思います
- ・人材が増え、ギリギリの人数ではなく、ゆとりのある介護をするには人手がやはり必要だと思ってしまいます。どうしてもコールを待たせてしまうことがあるからです。 ・お金のかかる福祉機器は取り入れるのが難しいけれど利用者の快適な生活の為、少しずつでも取り入れられたらなと思います。CWの負担軽減にもつながる。
- ・施設へ入所しても、もっと面会や協力的なご家族が増えればいいなと思います
- ・頑張っている職員に対し評価する。という事を早急に行わなければ、職員の質の向上はのぞめないとします
- ・栄養ケアマネジメントに疑問を感じる。ケアプランが必要になった。認知症等の高齢者、介護が必要な高齢者の寿命をさらに伸ばそうと考えるのはなぜか？給料をあげて欲しい
- ・自分にとってプラスになることが多く、日々の生活の中でたくさんのやりがいを感じられる職業だと思ふ。その一方で、労働条件がきつく、賃金体制の見直しをしてほしい
- ・現状3対1の介護だがそれでは本当の利用者本位の介護が出来ず利用者が遠慮している部分がある。今後利用者が遠慮が我慢しない様職員の人員が増えもっと手厚い介護をしたい
- ・これから高齢者がどんどん増えていく、ということは多くの方が理解していると思いますが、介護に対しては皆どこか人事のような気がします。もっと身近に感じてもらえるようになれば嬉しいです。また、若い世代の中には介護に対してマイナスなイメージを持った人が多いです。仕事内容もそうですが、給与や福利厚生の方でも見直していただければと思います
- ・福祉関係の資格が増え、そして取得しやすく、介護職に携わる人が増えることが望ましいです。介護職は精神的・身体的負担が大きくそれに見合った給与が受けられることも重要な要素だと思います
- ・国が違うから仕方ありませんが、もう少しヨーロッパ並みの自由に利用者がのびのび生活出来る様にしていけたら…今はマンパワーも足りず、何も対応出来ず日々の業務に追われているのが現状…どこの施設でも同じです。人が足りずのサービス残業に休日出勤、他の企業と比べると休みも少ない長期が取りにくいそんな仕事を人にすすめられません。どうしたら良いでしょうか？

- ・東京は優遇されている方だと思いますが給料が上がると良いです
- ・介護業界、人手不足が目立ちます。とてもやりがいのある仕事ですが、賃金の面に関しても、もっとやりがいを感じれるようになって欲しいです。そうすれば、人手不足も改善されていくのかなと思います
- ・前記にも記入しましたが、やりがいはあるものの、体力、仕事面で所得が低いと思う。今後、高齢者社会になり、福祉の職員が今以上に必要になる。その為何らかの策を出さないと福祉の仕事をする人がいなくなると思います
- ・たくさん職員がいて、バタバタしないで利用者様と接したり介助にあたらせてもらったりできたらいいなと思います
- ・9に関しては、6に記載している通り、大ざっぱですが職員が働き易く利用者が過ごしやすい環境が出来たらと思います。その為に人材の確保が必須なのです
- ・移乗介助の為にロボットがあれば良いなと思います。(腰痛める人が多いので)
- ・人が増える
- ・給料が増える。
- ・社会の大勢から意見を聴き、とり入れる
- ・施設が増えたり人手不足がなくなるといいと思います
- ・人が増え、お金があがったらいいなと思います
- ・労働環境や賃金などの諸問題が改善され“介護をしたい”と思ってくれる人が増えれば良いと思います。職員が増えればゆとりを持ってより優しい気持ちで利用者の方々に介護が提供できると考えます
- ・今後、高齢者の方が増加していくと、特別養護老人ホームのようにこの場で最期を迎えられる方が増加していくと考えられます。しかし、最期の時に、どこで迎えたいのかは、ご本人の意向や、思いを大切にすべき時だと考えています。看取りに関して、ご自宅でなかったとしても、特別養護老人ホームではない、その中間のご家族と、高齢者の方が一緒に憩うことができるものが、今後の介護の現場には必要になってくるのではないかと感じました
- ・賃金、待遇の改善をお願いしたいです。福祉業界の人員不足は深刻だと思います
- ・低所得の高齢者に優しい福祉。中高所得の高齢者はサービスをある程度選択できますが低所得の高齢者の選択肢が限られている現状です。特に個室、ユニット型特長のありかた、多床室特長の新設について見直してほしいと思います。今後の高齢者人口の増加、それに伴う待機者問題への改善がなされることを期待しています
- ・男性が多くなってきたので生活出来る（家族を養える）給料をもらえたらと思います。年齢、職歴で変化するのではなく、実力のある人にはどんどん給料をあげて、やる気を持って仕事出来るようになったら良いなと思います
- ・介護の現場が、ゆっくり、のんびりな環境で仕事が出来て、笑顔で溢れているのが最終の理想形だと思っています。その為にも、給料が上がってほしいし、職員の定数が増えてほしいです
- ・私は男性ですが、報酬を気にせず、介護の仕事が出来る様になればいいと思います。そうすれば、職員はもっと安心出来ます

- ・ 8と同じ(安心して働ける環境を早くととのえて下さい。)多くの人が働けるようになってほしい。
- ・ 人手不足だと長い間騒いでいるのに雇用の条件等が一向に変わらないのには疑問を覚えますが、やりがいを感じられる仕事なのでできる限り続けていきたいです
- ・ 待機入居者のない社会
- ・ 施設、職員、利用者、ともに満足できる様なシステムを一からつくりなおしてほしい
- ・ 夜勤の職員を増やせる形だとうれしいです
- ・ ゆったり介護をしたり、話をもっと聞く時間があればいいと思う
- ・ 気軽に散歩に行ったり出かけたりする職員の人数だったらいいと思います
- ・ 機械浴などといった、介護する側に合わせてつくられたものが、介護する側でなく、介護される側に合った介護用品に変わっていくと良いなと思った。私の働いている施設でも今後は昔ながらの“ひのき風呂”へ移行していこうとしていますが、「あたり前」なこと、「基本的」なことがもっと介護現場で広まっていくといいなと思っています。目指すは、「あたり前」(→肩までつかれる風呂に入りたい、美味しいものがたべたい、好きなところへ行きたいなど。)が、少しでも多くある環境を提供できる介護施設です
- ・ 人材不足の解消。しかし、誰でも簡単にとれる資格にもしてほしくはない
- ・ 人員の確保、業務優先でなくゆとりのある介護
- ・ ボランティアさんの参加
- ・ コミュニケーションを多く取れる
- ・ 給与面での改善。
- ・ 人員の確保、ゆとりある職場になると良いと思いました。職員の相談窓口があるのは良いことだと思いました
- ・ 保育園、小学校、中学校、高校等と同じ敷地内に老人の施設があり、自由に行き来ができる環境、又、個別ケアが可能な様に職員の数を増やしてほしい。利用者に対してぎりぎりの人員配置で個別ケア、質の高いサービスは、できないことが多い
- ・ やはり、家庭を持っている男性が、共稼ぎではなくても、十分に生活がしていける位の報酬が欲しい所です。施設の介護だけではなく、在宅介護、特に家族の介護の為に、仕事を辞めなければならなくなっている人達にも、国や自治体、業界全体で、バックアップ出来て、「介護をしている為に無職」という何とも不条理な状況がゼロになれば良いと思います。また、今後は、若い世代の力も必要になって来るはずなので、そういう、世代のパワーに期待しています
- ・ 賃金が上がり若い世代の方が「やりたい」と思える職業になってほしい
- ・ やりがいはあるが、体力的には大変な事も多く、その割りにいわゆる“低賃金”なのが辛い。漠然と一生続けられる仕事ではないと考えているので(体力的に等)、将来に不安はあります。(身体的、金銭的に…)
- ・ これからは、もっと重度の介護者が増えると思う。そんな中、日々の介護に追われるのではなく、ゆとりのある介護が出来ると良いと思う。・ 施設に暮らす高齢者のケアにおいて「個別ケア」という言葉が使われるようになって久しいが、現状では数百名が暮らす施設内で、画一的なケアにならぬように努めることだけでも大変であることは間違いない。一人一人の高齢者の意志や尊厳を

守りながら充実した日々を送っていただけるような、施設の取り組み、が今も、そしてこれからも大事だと思います

- ・世間での待遇をもっと改善して欲しい。今後、なくてはなりたたない仕事なので、賃金面や社会面でも優遇されて良いと思う
- ・現場のワーカーの処遇が改善され、ワーカーがもっと増えればより良い介護が行えると思います。機械の導入を進めていくのも結構なことですが、介護は人間と人間が向き合っていくものです。ワーカーの質・量共に向上していくことを望みます
- ・職員が増え、時間に追われてマニュアル通りの日々が過ぎるより、日々のんびりと老後を過ごせる様にしてあげたい
- ・現状のままでは、この仕事に希望をもつことは難しいと思います。低賃金、人手不足。まずはこの修整が重要だと思われる。若い世代の方たちが、やりたいと思える魅力がなければ、人員不足はさらに深刻なものになる。もっとゆとりをもって介護することができるようになれば良いと思います
- ・もう少し楽しみを増やしてあげたいです。介護をする人も定着しないので時間に追われています。ゆとりがあればレクなどもしてあげられる。退屈そうなのは見ていて辛いです。
- ・賃金が上がる事。これがないと、いくら志があっても、好きでも、生活の為につづけていく事ができない。多くの退職理由の一つがこれ
- ・理想としてはもっと1人に関わられる時間をとれるようになると良いと思います。現在は、人手、時間の問題で理想のサービスの半分も提供できていないのではないのでしょうか。また、もっとご利用者の自由を増やしてあげたいと思います。様々な点から仕方がないのかもしれませんが自由がなさすぎると思います。介護の仕事が人生の最後を楽しむ事のお手伝いになる事が私の理想です
- ・肉体的にも精神的にも負担が多い為、働ける年数にも限界があると思うので賃金を上げて欲しい。やり甲斐がもてない
- ・求人が多いからこの仕事につくって方もいるかもしれませんが、そんなに甘くありません。だから離職率が高いのではないですか？やる事が多いわりに求められることが多く、ゆっくり入居者と向き合う時間がほしいです。
- ・離職者が他の仕事で高額納税者になれば、直接介護の仕事をするよりも福祉や介護に貢献することになるかもしれないが、単純にきびしいので離職者がへると良いと思う。超高齢社会の強みを活かして、介護に関するシステム、サービス、教育等を、車や電化製品のように海外へ輸出できるほどの産業に成長させ、日本が世界に誇れるものの1つになれば良いと思う。
- ・職員不足な所があるので、もっと人手が増え、一人一人の利用者様にていねいな支援をしていきたい
- ・若い世代の方が、将来の保障も含め、安心して長く働くことができるようになり、人材が増えることにより、有給休暇を取りやすい環境になることを望みます
- ・介護をする人がもっとたくさん増えて、手厚い支援をできるようになったらいいなと思います。・入居者が今までしていた生活に近い生活が送れるよう、自立支援に力を入れていけるよ

うにしたいです

- ・サービス残業があたりまえ、という風潮が法人側にも就労者側にもあるように思います。労基法の指導も強化する必要があると感じます。 ・人手不足のため、あらゆる人材を確保しますが、その後の教育が大変重要だと思います。 ・「介護」=大変、というイメージがありますが、お世話をしたり、お世話されたり、は、ごく普通の事で特別な事ではない、と思える社会になってほしいです
- ・これから更に必要になってくる仕事なのでそれに伴って給料ももっと多くもらえる仕事になるといいと思います
- ・機械等をもっと導入して、介助負担を減らせたなら嬉しい。介護業界全体的に賃金が低いと思う。もう少し改善されると良いと思う。きつい、汚い、臭いというイメージが強いので介護をやりたいたいという人が少ないと思うので、払拭出来るような働きかけを社会ですて頂きたい
- ・賃金が増えれば人材も確保できると思う
- ・私の周りで介護士をやっている方々の中にももらえるお金が少なく退職される方がいます。仕事は好きなのに生活や今後のことを考えやむ得ずやめていってしまうのはとてももったいないと思うことがあります そのなことがないよう今後改善されていったらいいな、と思ってしまうことがあります
- ・基本的な知識・土台があまりないので、論理的なことは考えられませんが…。利用者の楽しみを作る活動に現場の私たちがもっとかかわれたりいいなと思います。普段の業務もあるので中々集中して本腰入れて考えることが、あまり出来ていない様に思います。業務時間内に、というのは不可能で休みの日とかに色々を構想をねって試してみても…という風に今はやっています。施設の設備とか、色々な事情であまり自由な事はできない時もあります。だから、もっと人間的にも成長して、まわりの事も考えられる様になって、それでいて利用者が本当に「たのしい！うれしい！」と思える様な時間を作りたいなと思いました

【交流、学び、教育】

- ・上記のこと（毎日やってあげたい事の半分程度しかサービス提供出来ず、また介助以外の事をする時間がほぼ無い為サービス残業になってしまう。基本的な人数を増やして欲しい。）が改善され、当たり前のサービス残業が無くなってくれば良いと思う。もっとゆとりを持って様々なサービスを提供してあげたい。もっと色々な勉強や、新人教育ができる時間があって、一人一人のスキルがアップし、給料もアップしていけば良いと思う。まだまだ世間からの理解が足りない（施設の外に出ると）感じるので、認知症の方にも温かい視線を向けてくれる人が増えれば良いと思う
- ・1日3回の食事を1回へらしていいから、スタッフとおしゃべりしたい、外出したい。何もしてくれなくていいから、そばにいてほしい。そんな思いも、かなえてさしあげられるようになったらいいなと思います。小規模だからいい。家だからいい。…きっとそうでなく、どんな人たちに囲まれているかだと思うので、その人の気持ちを大切にできるスタッフを育てられるような仕組みがつくっていただけたいなと思います

- ・学校や、駅の中でも介護ができるようになれば家族が楽になると思う
- ・より介護・福祉に携わる人が増えてほしいです。介護業界に限らず、教育現場（小・中・高・大）でも、もっと、福祉についての理解を深める為の学びを増やしてほしい
- ・地域とのつながりを増やしていけたら良いと思う
- ・職員を育てるシステム作りをすることで、もっと働きやすく、また人材確保も出来ていくと思います。 ①新人や下の子に教えるトレーナーの育成を行う。トレーナーはロールモデルである人を選出。 ②トレーナーはもっと新人や下の子に目を向ける。フィードバックをかかさない。（ほめること重要） ③トレーナーへのフィードバックをする人もつくり、全員がもっと成長出来るようにする。 尊敬出来る人、支えてくれる人が多くいればいるほど、職員の定着率も上がり、前向きにもっと向上しようと思う人が増えると思いました
- ・介護職についている職員のスキルアップに行政ももっと積極的に取り組んで欲しい
- ・高齢者福祉に関して色々な取組や、受け皿となる多様な施設が多くできていると思います。在宅での生活を送られながら多様なサービスを受けて生活を送られる方、在宅生活が困難なため施設や病院で生活を送られる方、多種多様に皆様生活を送っていると思われます。高齢者の皆様のとりまく環境も様々で家庭の環境も色々あると思います。高齢の皆様が行き場がなく、個立した生活を送られたり、十分なサービスを受けられないといった事がなくなるよう、また、家族の皆様も安心して自分の生活を送れるよう介護現場の質の向上ができていけばと思います
- ・現場の現状に疑問を感じる事が多いですが しかし、現在の介護の質、サービス、ケア、をあげていかなければ自分達が老いた頃、良い老後がおくれなにかと思います。今以上に介護の質、生活の質の改善が必要かと思います
- ・小中高などで若い時に今まで以上に職場体験や見学を行う事でもっと身近に感じてもらう
- ・待遇が良くなれば、良い人材が確保でき、職業として魅力が高まり、人材不足がなくなり、生活にも余裕ができるのではないか
- ・住み慣れた地域で終末を迎える事が出来るように、地域包括システムがもっと進んだらいいと、思っています。それには、地域に暮らす高齢者の方たちが社会参加出来る場所（高齢者事業団等）、世代間交流が出来る場所（コミュニティーカフェ等）や介護予防の集いなどが、もっと活発に必要だと考えます。増える高齢者の地域参加出来る社会、そこで介護の専門家として、私達がどう活躍していくかが、今後の課題と考えます
- ・人の命を預かる仕事ですので規制があってもよいと思うが、もう少し看護師と協力して医療的なことにもふみこめたらと思う
- ・施設内だけでなく、研修に参加していきたいです。外部や他施設などの取り組みなどを知る機会が増えると嬉しいです
- ・今はハローワークでも資格取得者増加の為（他にも理由さまざまありますが）活動しているので身内にも2名そこで取得し1名は介護の仕事につきました。全員がこの仕事につくとは限りませんが、興味を持ってもらえるきっかけとなり今では大切な仲間が増えてとても感謝しています。低賃金、重労働に加わり腰や身体を悪くする方を多いですが…予防を覚え対抗すれば回避できることもあります。オムツ交換も含めそういったことは「出来ない」と思い遠ざけてしまう方も多

いのですがその抵抗を少しでも減らせるイメージアップか「実際やってみるとたいしたことなかった」という意見もあるので体験（疑似でも）する場を設けるのも向き不向きがわかる材料になって、資格をとってみよう！！と思えるきっかけづくりの取り組みがあってもいいのかなと思います。高齢者が増加していく中、介護者が少ない状況が改善していけたら、よりよい援助の現状に繋がり安心した最後を迎えられるのかと思います

- ・虐待のニュースを見るたび、大変心苦しくなります。福祉サービスの多様化に伴い、介護業界全体の能力向上を目指し、誰しものが安全で安心出来る生活を営むようになればと思います
- ・介護の仕事を作り始めて思った事は、介護技術や介護士知識だけではなく、人と関わる事、相手の立場となって考える事を教わりました。介護の仕事は、相手が人であり、時に悩む事もありますが、介護職員も悩める事を、吐き出せる場所があり、少しでも心を軽くして、介護の仕事に取り組める環境が増えるといいなと思います
- ・介護職が育つために研修をもっと参加しやすい状況となればよいと思います。人材が不足している施設ですと、なかなか参加しにくい部分もあり発展していかない環境となります。多くの人が良い知識を持ち、それを実践できるようなシステムになればと思います
- ・友人などに“今介護の仕事をしている”と伝えると“偉いね”“凄いね”という言葉が返ってくるが、私としては“偉い”とも“凄い”とも思いません。そのような言葉ではなく、他のお仕事のように“どんな仕事をするの？”“俺でも・私でも出来るのかな？”といった身近になるものであってほしいと思います
- ・「介護」というフレーズで大変、辛いというイメージを持たれる方が多いが、その中でも、働き甲斐があったりこの仕事をしていて良かったと感じれる事があるので介護職の興味がある人が増えてほしいと思う
- ・人材が増え、もう少しレベルアップを目指す業界になると良いと思います
- ・家族参加型 ボランティアでも良いので 家族と入居者 職員がチームとして成り立つ
- ・施設は孤立していて、近寄り難いものという印象が根付いている中で、「地域包括ケアシステム」とうたわれているように、地域に対して、何かを発信したり、地域に根付いた活動がどんどん広がるといいと感じます。特に養護老人ホームは地域では生活が難しい方が多いため、地域の方々との交流など刺激になると思います。地域の方にとってもプラスになるような活動も同時に行っていけたらいいと思いますし、やっていかなければならないと感じています

【仕事としての安定】

- ・スケジュールをささえるのではなく、当たり前な生活をささえていける仕事になればと思います
- ・話には聞いた事あるが、肉体的にも精神的にも重労働である。しかしながら賃金は、それに見合っていない。(低賃金) やる人がいないのも納得できる。社会的に貢献してやりがいを感じても、本人の生活が安定しないのでは、やる人は出て来ないのでは？
- ・給料をあげてもらいたい
- ・今の現実でいうとやはり医療の方が意見が強くどうしても介護が下に見られがちですが、今後は

『医療＝介護』が同等の立場になってくれればと思います。そして介護側が医療の手伝い（医療行為）をもう少し出来るようになればと感じます

- ・もう少し仕事としても評価されても良いのではないかとと思う
- ・介護の地位が低いと思います。特に女性は、出産をしたら、なかなか復帰できないですし。（妊娠中もなかなか仕事が難しいと思います。）
- ・社会的に認められ、性別問わず、働き続けられる職業になれば良いと思います
- ・介護福祉士の上級資格である認定介護福祉士や、キャリア段位制度等で、介護職の専門性が高まり、社会的地位の向上や職員のやる気につながれば良いと思います
- ・看護師は業務独占地位が確立されている。介護士にはそれがない。誰でも出来る、というイメージがあるせいか、地位が低い。気持ち的には、自分はプロである、という意識を持って仕事に就く様にしているが、世間一般に介護士がプロであるという業務地位が確立されることを望む
- ・介護士個人の名前で仕事を請け負い、報酬がいただける時代になってほしい
- ・介護職への門戸を広げようという動きがみられるがただそれだけでは人材不足解消にはつながらないと思います。同じ国家資格なのに看護師や理学療法士との差を感じています。もう少し介護福祉士の地位を向上させより専門性を持った資格になれば良いと思います。あとはやはり給与が安過ぎると思います
- ・社会的な地位を確立し一人ひとりが誇りを持って仕事出来る様にノーマライゼーションが当たり前となり唱える事が普通ではない様になりたい
- ・もっともっと専門職意識をもち、資格がなければ、この仕事につけないようハードルを、少し高くし、給料をあげてもらいたい。 ・もっともっと、国にお金を出してもらい、高齢者、障害者、認知症の方でも、豊かに元気に生きれる、国を作ってもらいたい
- ・社会的地位が低いのもっと地位が向上すれば良いと思う。（介福よりもっと専門的な知識が必要な資格を作る。）
- ・介護福祉士の養成校では定員割れが多い現状と聞きます。実習を受け入れていて、「この人が介護福祉士になって良いのか？」とってしまう学生も年々増えてきているように感じます。介護福祉士の地位や賃金が上がり、目指す人が増えてくれば、選ぶことができ、質はある程度高くなるのではないのでしょうか？『介護の仕事をしている人が一生懸命勉強する事で、やっと介護福祉士になれ、その介護福祉士になれたなら地位、賃金ばかりか、もっと大きな仕事が任されるようになる。』というような形になっていったら良いなと思います
- ・看護と同等に扱われるべき。（給料や待遇など。）介護の仕事が今後、社会的に認められ地位が確立されたい。皆がなりたい職業になったらいい
- ・賃金アップや、世間に認められる職種になっていったらと思います
- ・自分が考えていた以上に若い世代が介護という仕事に定着できません。給料や拘束時間等色々考えることがありますが、プロ意識を高めることが必要だと考えます。そのための資格と義務の整備を行って頂ければ幸いです

【その他】

- ・個人の尊厳が守られているか。施設という環境においては利用者の生活がどうしても職員本位になりがちではある。(リズム、時間) 利用者と職員の立場は対等であるべきだが、難しい…という考えることがあります
- ・若手は、勉強して資格、昇進をめざしがちだけれど、介護の現場は力仕事、重労働、若い力が重要です。「楽」してお金もうけをするな！相談員・ケアマネは、現場10年最低働いてほしい。困っている人の為に身を惜しむなら介護職を選ぶな！おそらく10～15年後の介護の形は今より、より「個」を大切にしていく施設が必要とされるでしょう
- ・認知症がなおる事
- ・今後福祉サービスは今以上に増加していくが格差も全体的に生じるため有料もそうだが一般的なボーダーラインを定め老後に問題なく生活していければ
- ・いずれ介護保険制度や日本の財政破綻が危惧されているのだから、医療費や保険料税金を上げるのではなく、抜本的な制度改革 国のしくみを変えなければならないと思う
- ・極力、自宅で過ごせるようになれば良いと思います
- ・リスク(転倒など)ある点を家族が理解した上で何か良い方法(新しいもの)を生み出せればと思います
- ・介護という物がなくなれば良いと思う
- ・自分の子供に自信を持って「介護の仕事につきなさい。」と言えればいいのですが、現状では無理です
- ・今はまだ良くわからない
- ・豊かになればいいと思う
- ・介護現場が抱えている問題を改善していただきたい

東京都高齢者福祉施設協議会
特養・養護・軽費分科会 会員各位

平成26年10月10日

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会
東京都高齢者福祉施設協議会 会長 西岡 修
利用者支援検討委員会 委員長 平林 ちよ子

職員のやり甲斐アンケートについてご協力のお願い

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、今、高齢者施設では人材の確保・育成・定着が大きな課題となっております。

平成25年度の介護労働実態調査結果では、介護の仕事を選んだ理由として54%の方が「働き甲斐のある仕事だから」と答えており、「職員の意欲＝介護サービスの質＝利用者へのケアの向上」といった関係のように、職員がどんなやり甲斐を感じて日々の仕事に取り組んでいるのかを知ることが、大きな鍵を握っているのではないのでしょうか。

そのため、今回利用者支援検討委員会では、介護職として現場の最前線で働いている方を対象に、介護の仕事にどんなやり甲斐を感じていて、どんなことを考え、頑張っているのかをお聞きし、介護職全体のイメージ向上につなげられたらと思い、上記アンケートを実施する運びとなりました。アンケート結果は冊子にまとめるなど介護の仕事イメージアップに活用したいと考えております。

各施設長様におかれましては、お忙しいなか大変恐縮ではございますが、当アンケート実施にご高配賜りますようお願い申し上げます。尚、調査については目的以外に使用しない旨申し添え致します。

記

- ・アンケート実施期間 **平成26年10月10日～平成26年10月31日(ㄹ切)**
- ・アンケート対象 貴職下の介護職員 ※経験は問いません
- ・アンケート回答人数 施設の判断で1名～3名
※複数名提出の場合はお手数ではございますが、コピーをしてご回答くださいますようお願い致します
- ・アンケート内容 **別紙参照**
- ・アンケート回答送付先 **東社協 福祉部高齢担当 FAX 03-3268-0635**

本件に関する問い合わせ先

東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当 (矢巻)

TEL: 03-3268-7172

FAX: 03-3268-0635

4、普段の仕事で大切にしていることはありますか。 YES NO

コメント 　　どんなことですか。

()

5、職場で人間関係を円滑にするために工夫していることがありますか。 YES NO

コメント 　　どんなことですか。

()

6、将来の目標がありましたら、教えてください。

()

7、高齢者福祉に興味を持っている若い世代への一言をお願いします。

()

8、国・東京都・東社協への意見・要望をお書き下さい。

()

9、自由記述 ※介護の仕事が今後こうなったらいい等の意見がありましたらお書きください。

回答期限：平成26年10月31日（金）まで

—ご協力ありがとうございました。—

東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会
平成26年度 利用者支援検討委員会 名簿

任期：平成26年4月1日～平成27年3月31日

No.	選出区分	役職	所属	氏名
1	委員長	委員長	浄風園	平林 ちよ子
2	養護		檜の里	浜脇 晴美
3	中央		渋谷区あやめの苑・代々木	関藤 賢司
4			原町ホーム	佐々木 末廣
5	城北		シオンとしま	内藤 仁
6			みどりの苑	金澤 香
7	城東	副委員長	扇	小和瀬 孝雄
8			癒しの里・亀有	吉井 靖貴
9	墨東		小岩ホーム	市川 浩
10			カメラア	久保 豊彦
11	城西		浄風園(再掲)	平林 ちよ子(再掲)
12			やすらぎミラージュ	平野 修司
13	城南	副委員長	さつき荘	橋本 睦子
14			いずみえん	渡貫 宏
15	八王子		マザー・ベル	久保田 房太郎
16			多摩特養老人ホーム	内藤 昭彦
17	南多摩		杏林荘	青柳 薫
18			合掌苑桂寮	加藤 千恵子
19	北南		あさひ苑	市川 美智子
20			もくせいの苑	和泉 克郎
21	北北		清雅苑	小滝 一幸
22			多摩済生園	中村 与人
23	青梅		第二青梅園	神田 泉
24			今井苑	藤本 厚子
25	秋川		第3サンシャインビル	中川 祥子
26			五日市ホーム	桂 邦子
27	担当副会長		文京大塚みどりの郷	奈良 高志

東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会
平成27年度 利用者支援検討委員会 名簿

任期：平成27年4月1日～平成29年3月31日

No.	選出区分	役職	所属	氏名
1	委員長	委員長	浄風園	平林 ちよ子
2	養護		檜の里	浜脇 晴美
3	中央		渋谷区あやめの苑・代々木	遠藤 正
4			中央区立特別養護老人ホーム マイホームはるみ	井上 彰三
5	城北		シオンとしま	内藤 仁
6			みどりの苑	金澤 香
7	城東	副委員長	扇	小和瀬 孝雄
8			特別養護老人ホーム 癒しの里・青戸	石井 百合子
9	墨東		小岩ホーム	市川 浩
10			カメラア	高橋 利明
11	城西		浄風園(再掲)	平林 ちよ子(再掲)
12			やすらぎミラージュ	平野 修司
13	城南	副委員長	等々力共愛ホームズ	橋本 睦子
14			いずみえん	渡貫 宏
15	八王子		マザー・ベル	久保田 房太郎
16			多摩特養老人ホーム	内藤 昭彦
17	南多摩		合掌苑桂寮	加藤 千恵子
18			第二清風園	黒田 和安
19	北南		もくせい苑	和泉 克郎
20			府中市特別養護老人ホームあさひ苑	市川 美智子
21	北北		清雅苑	小滝 一幸
22			多摩済生園	中村 与人
23	青梅		青梅白寿園	浅岡ひろ子
24			聖明園寿荘	酒井 久江
25	秋川		第3サンシャインビル	中川 祥子
26			五日市ホーム	桂 邦子
27	担当副会長		文京大塚みどりの郷	奈良 高志

職員のやり甲斐アンケート 報告書

～介護職員302名のメッセージ～

平成27年7月

発行 社会福祉法人 東京都社会福祉協議会
東京都高齢者福祉施設協議会 利用者支援検討委員会

〒162-8953 東京都新宿区神楽河岸1-1
社会福祉法人 東京都社会福祉協議会（福祉部 高齢担当）
TEL 03-3268-7172 FAX 03-3268-0635
U R L <http://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei/index.html>

印刷 株式会社美巧社